

「第 5 次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方（素案）」  
 についての公聴会及び意見募集の意見

全体

通し 番号	性別	年齢 層	該 当 数	ご意見内容
001	女	30 代		委員会の男女比が半々ではないのがおかしいです！男女の平等は女性を主体的に進めてほしいです
002	男	20 代		一言で言うと、努力目標を述べているだけでは、遅々として改革は進まないだろうと言うことです。 多くの文面において、「～を図る」や、「～に努める」とありますが、努力目標では民間各人のそれぞれ思う範囲の努力しかなされないでしょう。 人の意識、特に古くから染み付いた思想を変えようと言うのは、生半可なものでは達成されないものです。そのため、どのような状態があるべき姿なのか、明言し、いつまでにそれを達成するのか、罰則規定を含めつつ、強いトップダウンの指令を出すようにしなければ、来期以後も「遅れを取っている」と言うことになると思います。 迅速な意識改革を行うために、どちらかと言うと、一旦女性優遇と言えるレベルまで、振り切った政策をした後、ちょうど良い均衡を探すような方策をするのも一つの手だと考えます。むしろ、そうでしないと、めったに方針を変えにくい政策においては、事態の改善は牛歩のごとく進まないと思います。
003	男	10 代 以 下		男女と言いながら女性への支援ばかり目を向けるのはおかしい。 女性差別だけでなく自殺者・過労死・男性へのセクハラその他男性差別にも取り組むべきである。 特に自殺者では圧倒的に男性が多い。 仕事に男性ばかりプレッシャーがかかっている状況を無くすべきである。 女性に対する暴力だけでなく「男性に対する暴力」にも取り組むべき。 諸外国と比較しているが具体的にどの国なのか。ヨーロッパやアメリカ、中東ではそれぞれ違うだろう。 諸外国が必ずしも日本の先を行っているのか。その前提から考え直すべきである。 氏名記入が必須なのはどういう意味があるのか。
004	男	30 代		(全体として同意します。真の男女共同参画の実現にむけて、応援しますし、民として行動します。) 良い内容なだけに、SNS (Tw, YT) で拡散されやすいような形式も準備されると、レバレッジが効くように感じました。
005	男	40 代	5, 6	[要旨] 自閉症の発達障害者を配慮した男女共同参画基本計画の策定をお願い申し上げます。

[該当箇所]

参考資料 参考5, 6

[詳細]

第5次基本計画策定専門委員会の委員名簿とワーキンググループ構成員につきまして、高機能自閉症の傾向のある方を、加えていただけますようお願い申し上げます。

[理由]

私は、生まれつき高機能自閉症(Autism)の発達障害がございます。

自閉症になる男女比は4 : 1でございます。

私は、社会生活で困っております。

具体的には、以下1~3の症状で困っております。

1. 聴覚過敏でございます。

職場で、近くで女性が大きな声をあげると、心臓のあたりが一日中いたくなります。産業医に検査結果を提出して配慮をお願いしております。あまり環境は変わりません。これにより症状2と3がひどくなります。

2. 容姿が、常に緊張しており不機嫌で疲れております。

公共窓口や店舗、医療機関にて、差別的な対応を受けます。

具体的には、他の利用者でやらないような、消極的対応や叱責を受けます。

3. コミュニケーションにそごが発生します。

職場、結婚、友達の間人間関係を築くことができません。

公共窓口や店舗、医療機関にて、トラブルに発展することがございます。

これらの症状は、内部障害であるため、誤解されやすいです。

特に、自閉症になる男女比は4 : 1であるため、

女性から誤解を受ける障害者差別を受けます。

ところで、欧米では、科学技術者の自閉症の適性について、多くの研究がなされております。

そして、自閉症の発達障害者の活用が行われております。

なぜなら、イノベーションを成し遂げて公益を得た科学技術者に、自閉症の傾向がある人がいるからでございます。

			<p>国民の所得はその国の科学技術のレベルによって決まります。 国際的な技術競争が厳しいです。</p> <p>現状の豊かな生活を維持するために、 私は、技術士として、自立して生活しながら、我が国の技術を支えていこうと考えております。</p> <p>そこで、自閉症の発達障害のご理解をお願い申し上げます。</p> <p>最後に私見を申し上げることで、私に不利益を被らないよう、 ご配慮をお願い申し上げます。敬具</p>
006	女	20代	<p>現在日本では多くの外国人が住んでおり、本件に携わる人も多いかと思えます。 その状況下で、日本語でのみ配信することに疑問を抱きます。 概要部分だけでも英語・中国語・韓国語を用意すべきではないでしょうか。</p>
007	男	40代	<p>全体的に「男女共同参画」が目標であるのに、男性の問題が殆どなく「女性の」「女性が」ばかりです。男性の自殺率やホームレス率の高さなどはどうでもよいのでしょうか。女性社会進出促進とも繰り返されますが、何をもちて社会進出とするのか、また専業主婦（主夫）といった人達を社会進出を望まない人とするのかといった点に疑問を感じます。また、よく取りざたされるジェンダーギャップ下位問題ですが、上位の国は政情不安で内戦状態の国まであり、参考になるのか疑問です。</p>
008	男	20代	<p>具体的な面で言えば、 最終目標で言えば「女性の役員が〇〇%を占める」というような数字の設定がなくとも女性がバイアスなく評価される社会だが、現状それは難しいのでやはりそういった目標の設定はなされるべきであると感じる。 また性教育に関しては今すぐにでも改善すべきところであろう。実際に性教育をする現場の教師からの声を聞き問題を一つずつ潰してまずは性教育をしっかりと行うことのできる環境を作るべきであろう。 女性に対する支援も必要なところで、手厚く行なっていくべきだ。（同和政策の際は、部落民差別はなくなったとして支援を打ちやめていたが、これに関しては社会のことが何も見えていないと言わざるを得ない。一体給料を貰って何をしているのだろうか。国民を守らずして何を守るのか。女性への支援に対しては同じような悲劇が繰り返されないことを望む）</p>
009	—	20代	<p>女性側の問題として、女性側にのみ(男性側に求められない)努力を押し付けられる、脅される。女性雇用にも制度的にも現実的にも文化的にも不利に働くような事実があることを認める。それを認めた上で初めて効果的な対策が行われます。してください。</p>
010	—	20代	<p>女性が活躍できるように男性にプレッシャーをかける。女性は「頑張りがたくない」と言っているのではない。頑張っても社会的、文化的な性差別という大きな壁があるから、頑張っても得られるものが極端な少ない。あるいはない。また、女性が“頑張らなければ得られない”ものが、女性でなければ頑張らなくても得られているという事実がある。</p>

011	女	30代	<p>男女共同参画の前に意識改革が必要だと思います。</p> <p>がんばってなんで上から目線なんだよって言いたいです。</p> <p>女性が活躍できるように、おじさんが頑張ってください。</p> <p>男性優位社会反対</p>
012	女	50代	<p>「男女共同参画」ではなく「男女平等」にしてください。</p> <p>また、ジェンダーに関する説明文をしっかりと記載し、基本計画に記載する「男女平等」は「ジェンダー平等」を意味していると明記するようお願いします。</p>
013	女	20代	<p>女性として、生きていける社会を作ろうとするならば 専業主婦の道も残して欲しい</p> <p>持病があり、小さい子がおり働けないにも関わらず男女平等に共働きをせよ 共働きは70%を超えていると煽るのではなく</p> <p>男性最前でも構わないから男性一人で家族を養える収入（家族手当を増やす等）が欲しい</p>
014	—	20代	<p>女性に努力を求める等、これまでの方法には反対です。社会構造そのものが女性に不利にできており、男性に下駄を履かせる作用を持っているからです。したがって、社会構造自体を改善できる内容にしてください。</p>
015	団体	団体	<p>「第5次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方（素案）」を読んで大体どのような方向性へ向かっているかは分かるけど、目標の数字が入っていなかったり、具体案が明確化されてない。また、この素案がどのようなインパクトを実際に与えるのかがよくわからない。</p>
016	女	80代以上	<p>「表記について」</p> <p>(1)元号と西暦年号の併記 基本計画では、年号が重要です。たとえば、第5次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方（素案）の表紙は、「令和2年7月」と表記されていますが、是非、西暦年号を併記してください。本編では、かなり併記が行われていますが、そうでない箇所もあります。また、資料「第4次男女共同参画基本計画における成果目標の動向」でも、成果目標（期限）、計画設定時の数値、最新値がいずれも元号のみで表示されており、比較も困難です。計画のすべての事項について西暦年号の併記をお願いします。</p> <p>(2)「女子」という表現は、「女・子ども」を表します。Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Womenは、「女性差別撤廃条約」と表記していただきたいと思います。</p> <p>(3)女性差別撤廃委員会のConcluding observationsを政府は「最終見解」としていますが、英語の意味からも「総括所見」と表記していただきたいと思います。</p>
017	女	70代	<p>コロナ対策で、特別給付金が各家庭の「世帯主」（ほとんどか男性）に振り込まれました。</p> <p>DVの被害を受けている女性や子どもたち、給付金が本当に必要としている人たちに届かなか</p>

			<p>った例が多くあったと聞いています。共働きの女性からは「税金は個々に支払っているのに、なんで給付金は夫に振り込みなの？納得できない」という声が多数でした。女性は一個人として、考えられていなくて、子どもと同じ目線で見られてるのだと実感しました。男女共同参画とは、女性も個人として尊重される、という視点が欠かせません。基本計画には、ぜひこの視点を大切に策定して欲しいです。</p>
018	女	20代	<p>○男女二元論で語られている旨は変更できないものなのか。「男性も女性も」と明記しているところがあれば「あらゆる性別の人が」「すべての人が」といった明記もある。前者はトランスジェンダー等のセクシュアルマイノリティを含めない表現に当たると思うが、後者は含まれると考える。この差は何であろうか。</p> <p>○努力目標が多く、従来通りの変化スピードでは目標は達成できず、他の先進国あるいは急進・発展途上国よりも遅れた状況になるのではないかと</p> <p>以上2点が気になった。</p>
019	—	30代	<p>男女という視点が男性女性を区分けしていると考えられます。</p> <p>SDGSにはジェンダー平等という言葉があり 男性・女性という表現は存在しません。 生物学的な男性・女性がありますが、 内面は、また多様です。</p> <p>男性らしさ、女性らしさというものは存在せず、 その考え方が役割を押し付け「こうあるべき」という 一部の人達には合致するものを 無理にそれ以外に「規範」として押し付ける現状では 社会はいびつに歪みます。</p> <p>無理に合わない規範に合わせるととその人の個性・能力が 生かされないということが生じます。</p> <p>男女ではなく、いかなる性も、 つまり、ジェンダー平等、という考え方です。</p> <p>この基本がなされない限り、 日本の男女平等という考え方は、 今の世界の状況に追いついていませんが、 参考となるSDGSの掲げる「ジェンダー平等」 この表現にいずれたどりつくと思われま。</p> <p>ぜひ、男女共同参画ではなく、 ジェンダー平等という概念、 男女という区分けは、生物学的な区分けに過ぎず、 ふさわしい役割や社会的立場、</p>

			能力や個性を生かせる状況は 生物学的な男女は関係なく 多様であることを記すべきだと思います。
020	女	30代	パブリックコメントについては、男女共同参画会議が今後内閣総理大臣に提出する答申案を対象に実施しているが、本来パブリックコメントは国の行政機関が政令や省令等を定めようとする際に、事前に広く一般から意見を募り、その意見を考慮する制度であり、男女共同参画会議の答申を踏まえ政府が作成した案に対して意見を募るべきである。次回以降の男女共同参画基本計画では、閣議決定前の政府案に対しパブリックコメントを実施することを希望する。
021	男	30代	今回の素案で「ジェンダーの平等」が多用されていたのは良かった。それに加えて、その実現を支える土台（教職課程でのジェンダー教育の強化など）をしっかりと、課題を達成する。SDGsも絡んでくるので効果的な目標だと思います。
022	女	30代	・今回はなぜ「（計画の）評価」がないのでしょうか。これまではずっと評価があり、4次計画の「基本的考え方」では、「評価」が書かれていました。計画を立てるにあたって、前回の反省と評価をすることは必要不可欠だと思いますが、なぜ今回はないのかが疑問です。 ・「20203」を引き伸ばす、という屈辱的な決定をしたにも関わらず、その実現に向けた統括、分析、反省、そこから組み立てられる次に向けてのアクションが皆無です。本当に実行する気がないとしか思えず、とても残念な気持ちで読みました。
023	女	60代	・数値目標について、積極的な成果目標にしてほしい。
024	女	40代	みなさんのパブコメの内容を是非WEBで公開してください。
025	女	40代	障害者権利条約のスローガン（Nothing about us without us）と同様、意思決定者に当事者が相応の割合で含まれることがなければ、これに限らず、多様性の問題は解消されないと思います。同じような属性の人ばかりでは、それとは違う価値感に基づく考え方に共感しづらいですし、そこで得られるとされることについて、実感がなく、価値を認めにくいということがあると思います。これは、当事者参加以外にはなかなか超えられない問題であると思います。 例えば、就職活動で、子どもの世話はどうする？とか聞かれますが、男性には聞きません。このおかしさに、採用担当の男性は気づかないのです。このようなことは枚挙に暇がありません。
026	女	60代	毎年発表されるジェンダーギャップ指数は、いつも日本は低く、特に国会議員の女性比率は193か国中166位という低位です。長い間の家父長制、戸主制度等々の中で前近代的な意識を引きずり女性の平等を求める声を阻止してきた結果だと思います。政治家や、社会の指導的立場にある人たち（特に男性）の意識変革が、まず必要です。あらゆる場面で男女が平等に扱われるよう、第5次男女共同参画基本計画の策定を期待します。 また、ハラスメント禁止条約の批准や、女性議員を増やすためのクォータ制の導入について

			て、選択制夫婦別姓について、早期に実現するようお取り組み頂きたく、切にお願いいたします。
027			ジェンダーギャップ指数の日本の順位は低迷するばかりですが、今回の骨子案を見てもどうやって共同参画を推進していこうと考えているのか、伝わりません。
028			今では日本よりもかなり進んでいるヨーロッパ各国も、30年、40年前は日本と大差なかったのではないかと思います。政治、行政が本気になったかどうかの違いではないでしょうか。女性活躍が進んできたと政府はよく言いますが、世界各国と比べ、こんなに差がついてしまっていることについて、もっと謙虚になっていただきたいです。新しい計画が国際的な水準を意識したものになることを期待します。
029			政府が策定した「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和2年3月28日、令和2年5月25日変更）は、男女共同参画の視点に立った取組について、ほとんど明記していない。したがって、第5次計画において、男女共同参画の視点に立って「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」をどのように実施していくのかについてのより具体的な方針を別途作成することを明記してはどうか。
030			今回の素案で数値目標を出さなかったのは、失礼な言い方かもしれませんが、基本計画の名に値せず問題だと思えます。202030を達成できなかったので数字を出すのをやめたのだろうと推察いたしますが、数字がなければたとえモニタリングをしてもその効果は非常に薄れてしまいます。GGI121位をなんとか改善したいと本気で思うのであれば、数値目標は掲載すべきだと思います。
031			様々な数値目標を掲げても、その数値について簡潔にわかりやすくインパクトを持って計画書にまとめないとただでさえ国際社会から非常に遅れているにもかかわらず、今後推進されると思えません。ぜひインパクトを持って未達成状況の見える化・見せる化を推進してください。
032			女性が活躍するためには男性の意識や働き方、生活スタイルなどを変えていく必要があると考えます。しかし素案では男性を対象とした取り組みが少ないことを懸念しています。第三次計画で掲げられていた男性も対象とする相談体制の充実や男性相談員支援を第五次計画に盛り込んでいただくようお願いいたします。
033			全体を通じて、「経済成長のための女性活躍」という印象が強いです。性差別の撤廃、男女平等、性別に拠らない生き方の推進と人権擁護を明確にした内容にしてほしい。
034			コロナ対策において私の地方の本部体制では「あて職」で構成されています。〇〇部長とかになっており、女性の登用が極めて少ない職であり、withコロナの施策に女性の意見は反映されているのでしょうか？
035	女	60代	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 女性差別撤廃条約選択議定書の批准と</li> <li>(2) 選択的夫婦別姓制度の導入をクリアして</li> <li>(3) SDGsのNO5 ジェンダー平等の推進に努める。</li> <li>(4) 学習指導要綱の改訂は10年に1度ではなく、毎年男女共同参画の暴力防止については追加して、バージョンアップする。</li> <li>(5) 女性に対して、日々の暮らしの中で人格の否定などの人権に対する差別をやめ尊重する。</li> </ul>

036	女	30代	この国では生まれた時に助産師さんから「男の子ですよ」と言われた時点でリアル人生ゲームが10万点の加算状態から始まります。その後も成長、進学、受験、就職、昇進と何かにつけて「男の子」は優遇されており、加算ポイントがどういいうけが多くなります。これが今の日本です。わたしは女性です。祖父母にとっては初孫でしたが「女の子だから」という理由だけで家を継ぐこともできず、戻っておいでも言われませんでした。家は従兄弟が継ぐことになりましたが、家を建てるための土地は祖父母が準備していました。こういう不公平が日本中でたくさん起きていると思います。男性は無意識のうちに「おれは男だから」という見えないかさ上げの部分にあぐらをかいていると思える対応が社会の中に多すぎると感じています。全ての男性の意識を変えなければ、名前はなくなっても家父長制はまだ残っています。男の意識を変えることを重大な課題として考えてください。
037			第4次では目指す社会にもあり第1分野であった男性中心型労働慣行が削除されたのはなぜですか
038			第4次計画で1丁目1番地だった「男性中心型労働慣行等の変革」の柱が無くなっているのはなぜか。今回の第2分野の3の「施策の基本的方向」に内容の一部が表現されてはいるが、それ以降の「具体的な取組」には反映されていないように思われる。「男性中心型労働慣行」の打破が第2分野や計画全体にとって不可欠であるのに、このキーワードを入れず、骨抜き状態になっているのは残念だ。
039			1、「男性中心型労働慣行（男性稼ぎ主モデル）」が未だ根強いことが、ジェンダー平等、202040の実現を阻んでいる。この考えに基づいた税制、社会保障制度が、女性の活躍を阻んでいる。「男性中心型労働慣行の是正」の記述は必須である。
040	女	60代 23	第4次の第1・2・3分野が整理されたのはよかったです。しかし、第4次の第1分野のテーマ「男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍」の文言復活を強く希望します。車の両輪のようなキーワードがあり、スローガンとしてわかりやすく、男性も男女共同参画を自分ごととして考えてもらえるきっかけになるからです。内容としては第2分野ですが、第4次のように第1分野に据え全体を貫く考え方としてほしいです。 まず、男女共同参画基本計画を手本として全国の自治体がそれぞれの基本計画を策定していますが、女性活躍推進法施行により、同法に基づく推進計画と男女共同参画の基本計画を切り離して考えることは難しく、多くは一体化した計画を作っているようです。ここでも、女性活躍のことはキーワードとしてほしいと考えます。次に、女性活躍だけでなく男女共同参画ということばでさえ「男性には関係ない、女性のことばかり、女性優遇」と言われる側面があり、ここに「男性型働き方を見直そう」という考え方を加えることで、男性にも深く関わっていることを大きくうたってほしいと考えます。組織にも、また男性だけでなく女性の心の中にも、昔型の働き方を是とする考えは根強く残っています。「働きたい人が性別に関わりなく活躍できる」と範囲を拡大したということですが、「誰もが」と言われると誰も自分のこととは考えないと思います。
041	男	20代	男女共同参画社会という理念については当然実現されるべきであり、反対するつもりはありません。  しかし同時に他の人権についても同じように配慮されるべきであり、どちらか一方を守るためにどちらか一方を軽視する、ということは決してあってはならないと考えます。

			そのために「この書き方では誤解されたり後から意図した方向とは違う方向へ解釈を歪められてしまう可能性はないのか」「国としてやるべきことなのか・民間でやるべきことなのか」など、様々な観点から議論した上で進めていってほしいと願います。
042	男	30代	性の多様性(性的指向と性自認、LGBT)について、積極的かつ肯定的に記載してください。
043	女	50代	第5次基本計画にアンコンシャス・バイアスが言及されていて、男女平等を阻む具体的な理由が明確になりました。企業や団体が取り組むべきテーマがわかり、非常にありがたいことです。
044	女	20代	<p>素案内では「男」「女」といったシスジェンダーの人たちばかりが言及されていて、トランスジェンダーなどの「男」「女」の枠組みに属さない人たちについての言及がほとんど見られない。東京都渋谷区が同性カップルに対して「結婚に相当する関係」を認める証明書を発行する条例を2015年4月に施行したのをきっかけに、同性愛者に対する権利を積極的に認める動きが自治体などで増えつつあるものの、未だに日本の多くの地域ではそのような権利は認められず、多くのLGBTの人たちが息苦しい思いをしながら生活している。</p> <p>このまま少数の自治体しか同性愛者を認めないのだったら、彼らはいつまでも性的マイノリティとみなされるだけなので、自治体の条例レベルではなく国家レベルで同性婚を合法化して「男」「女」の枠組みに属さない人たちにも異性愛者と同様の権利を与えて共生していくべきであると思う。</p>
045	男	10代以下	政策作成過程で男女同比率で委員を選定することで、より広い視野(女性の視点を取り入れ)で考えることでより多くの人に配慮された政策を策定できる。誰も取り残されるわけにはいかない。また、女性議員の向上にも務めて欲しい。古くからの考えは捨て、より新たな価値観に転換していく必要があります。性別で物事は判断せずに、平等な視点で教育、政治、ビジネス、生活が行えるよう、意識啓発や教育体制も整えていってほしいです。
046	女	30代	「女性」「男性」と区切ることで自体がナンセンス。LGBTQに関する言及が一つもないことがそもそも時代遅れの政策・方針であると感じた。
047	団体	団体	男女共同参画基本計画全体において「男女だけではなく多様な性」を対象として設定し、「男女だけではなく多様な性を含めたすべての人が尊重され、参画できる社会をめざす」計画にするべきである。
048	団体	団体	新型コロナウイルス感染拡大を受けて、新たな生活様式への移行やさらなる働き方改革が必要とされている状況を踏まえ、男女共同参画に関する施策を推進するべきである。
049	女	20代	<p>▼夫婦別姓について</p> <p>素案自体に言及がないことに疑問がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性のキャリア形成において結婚によって苗字か?変わることで被る不利益は大きく、それか?男性に強いられていない現状そのものがジェンダー間の不平等をもたらしていると言える。</li> <li>・内閣には保守的な声をあげる方々が多いと察するが、古い家制度を踏襲したような今の制</li> </ul>

		<p>度は現在の女性のライフスタイルや、この男女共同参画基本計画にそぐうものではないと強く感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性が当たり前のように結婚により苗字を変えなければならない、ということが何を意味するのか、せめてより多くの国民による議論の場を増やすことにメディアも巻き込んでより積極的になってほしい。</li> </ul> <p>▼同性婚について</p> <p>こちらも言及がないことにも疑問を呈する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ごとに存在しているパートナーシップ制度と籍を入れることは社会的に得られる扶助の面からみても違いが明らかである。</li> <li>・誰を愛するかを意味する「性的指向」は同性に限られるべきものではなく、真の意味での平等を目指すにはぜひこの部分に対してもより積極的に国民をコミュニケーションをとっていただきたいと切に願う。</li> </ul> <p>▼より多様な性に対する理解を</p> <p>素案第6分野 p62 に「性的指向・性自認」に対する言及があるが、男女共同参画基本計画そのものが性的アイデンティティが男か女かの2極化されている前提であることに疑問を呈する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の多様な生き方をバックアップするなら、まずそもそも多様な性に関する理解も必要なのではないか。</li> <li>・素案の内容はこの点に関して網羅されていなく、具体的な対策も示されていない。</li> <li>・より多くの国民が社会から押し付けられた性的価値観や指向にとらわれず生きることができるような仕組み作りを積極的に求める。</li> </ul>
050	団体 団体	<p>当団体は、「第5次男女共同参画基本計画」基本的な考え方について賛同するとともに、第5次男女共同参画基本計画に以下の事項について、盛り込むことを強く要望します。なお、これらは当団体が実施した調査に寄せられた全国的女子高校生や女子大学生からの意見を元にしています。</p> <p>&lt;意見&gt;各項で既に意見としてお伝えしていることも含まれますが、計画全体に影響すると思うことを以下にお伝えします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各分野に記載されていることに差があるように感じます。 例えば、ある分野にのみロールモデルを示すとあります。他分野においても必要だと思う項目があります。また、このような計画に関しては、対象者年齢も明確に記載することにより実現できる目標になると思います。</li> <li>2. 連携先も明確に記載してください。 分野によっては関係省庁名や他団体名の記載がありますが、漠然としている項目もあるように見受けられます。</li> </ol>

			<p>3. 啓発などの言葉が随所にあります。具体的にどのようなことが明記してください。例えば、「啓発、支援、見える化の推進、好事例」などのキーワードがあるときには、どのような啓発なのか、どのような支援なのかなどを明らかにしておく必要があると思います</p> <p>4. 関係省庁と連携が必要な場合は、どことの連携なのかを明記し、実現可能なものとしてください。</p> <p>5. 閣議決定後、スピードを持って全国の地方公共団体で取り組めるようスケジュールを固め、周知徹底をお願いします。</p> <p>6. 省庁や地方公共団体が関係する計画部分については、決定後、すみやかに計画し、目標の提出を義務付け、それを内閣府で責任を持って、モニタリングしてください。また、その進捗状況はウェブページで進捗が確認できるよう、内閣府のページ内に公開してください。</p>
051	女	30代	<p>全体を通して、経済中心（効率性、生産性など）の考え方ではなく、ジェンダー平等の視点で計画を立てていただきたい。</p> <p>また、これまでの取り組みで達成できなかった点については、具体的な理由・分析を明記し、新たな目標に向けた具体的な計画を書いていただきたい。</p> <p>男女共同参画基本法や第5次基本計画についての認知度が低いと感じる。広く若い世代にも理解を促進するための取り組み、地域・自治体レベルでの広報なども力を入れていただきたい。</p>
052	女	50代	<p>ジェンダー平等をすすめてください。</p> <p>「ジェンダー主流化」が掲げられていますが、どのように実現するのか、具体的に示してください。</p> <p>国連の「女性差別撤廃条約」批准国としての責務を果たしてください。国連の勧告に真摯に向き合ってください。</p> <p>子どもたちが家庭の中で見ている暴力が、子どもたちに与える影響は甚大です。精神的な暴力もまた子どもに大きな影響を与えています。</p> <p>女性の地位向上、賃金格差の是正など、ジェンダー平等を進めてください。ジェンダー平等をすすめない企業への罰則を科すことも考慮してください。</p>
053	男	20代	<p>日本社会は学校の教室状態です。男女戦争は日本の風習、伝統芸能であり、このような戦争は遅くとも小学生の時点で目の当たりにします。成人女性は男性に対して好戦的なので、クラスメイトの女子と全く同じなのです。</p> <p>実際、女子の言動は「ちょっと男子〇〇〇〇しなさいよ————！！！！」が中心で、女性の命令に背けば無条件で痴漢かセクハラ、女性の命令が全て通らなければ男女平等とは認めない、自分に男性を葬る権利を与えろ、男性を葬っても無罪で済む法律を施行しろ、女性の悪事は人殺しを含めて全て無罪にしろと言わんばかりで女子の悪事を正当化しているかのようです。年老いても成人女性の振る舞いと言動はクラスメイトの女子に通じるものがあります。</p> <p>このような学校の教室状態は大人社会にも持ち込まれ、会社等の職場も学校の教室状態にな</p>

				りますので、教室にいても銃声は延々と響くし、大人社会に進出しても職場で銃声が延々と響きます。
054	女	70代	80	<p>「男女の多様な選択を可能とする育児、介護等を支援」する上でその前提となるのが、家事、育児、介護等の無償労働を主に女性が担っている日本の現状をジェンダー統計により明確に把握し、男女の無償労働の顕著な偏りを是正するための各種制度等の整備のための基本認識とすることである。</p> <p>北京行動綱領では、女性の無償労働の量的把握が重要とのグローバルな指針が示され、日本でも社会生活基本調査の生活時間データを基にその測定が継続的に行われてきた。しかしこれまで、それらのデータは男女共同参画政策に十分活かされていない（3つのRの実施）。この現状を改善し、男女共同参画の視点に立つ各種制度等の整備に最大限活かす必要がある。第5次計画においては、女性差別撤廃委員会一般勧告16号、17号（1991年）の内容に沿って、各分野の政策実施においてこの視点を堅持する必要がある。家事、育児、介護などの無償労働はSDGsでも重要な位置を占める。日本は男女格差が先進国中最大で、これが男女の収入格差や少子化の大きな要因の一つとなっている。女性の無償労働は女性に対する搾取の一形態（さまざまなケア労働、エセンシャル・ワークにおける「やりがいの搾取」など）であり、コロナ危機のなかで、その問題点が顕在化している。シングルマザーへの各種支援の充実や家族経営への支援、社会保障制度の充実が、今後5年間の男女共同参画・女性活躍政策の要である。</p>
055	女	60代	all	男女共同参画社会基本法に基づくポジティブ・アクション（積極的改善措置）について、労働・雇用分野だけではなく、あらゆる分野での、具体例を公表してください。なお、女性差別撤廃条約第4条でも、「差別とならない特別措置」を規定しています。
056	女	60代	all	SDGsだけではなく、国際人権条約である女性差別撤廃条約を、まず、一番目に取り上げるべきです。全体的に、「人権」が弱いです。
057	女	20代		第3次分野で書いてあった、男性子供にとっての男女共同参画という欄がとてもよかったので、第5次でも採用してほしい
058	女	50代	129	<p>「成果目標の動向」で設定されている「成果目標」が低すぎます。それさえ達成できていないという由々しき状況はありますが、達成目標が低くても、各分野における「具体的な取組」も、自ずと志が低いものになってしまうと思います。</p> <p>是非、国際的にも遜色がない成果目標を設定してください。</p>
059	女	30代		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に、「具体的な取組」と書かれている部分において、具体性に欠けているので、実際の目標数値・実施主体・実施方法・モニタリング及び到達確認方法を明記してほしい。</li> <li>・公聴会がオンラインで実施されたため、より参加しやすく、意見を伝える場が増えた。今後も、このようなイベントを開催する場合、オンラインでの実施を継続していただきたい。</li> </ul>
060	—	20代		全ての国民において性別（だけでなく身体的理由等）を理由とした社会的不条理に晒されない為の取り組みとして、男女共同参画社会の実現は不可欠だ。更なる共同参画実現の為にもこれまで以上の改革が必要ではあるが、「男女共同参画」を実現するにあたって土台でもある「平等や基本的人権」等の権利と競合する場合には十分に配慮し、多用に解釈可能で歪曲される可能性がある曖昧な表現は是正されるべきである。

		<p>しかしながら本素案では、「(男性を恋愛対象とする大多数の)女性」についての問題についての課題解決について中心に扱っている。「全ての人」が生きやすい為の意思決定を目的としている以上、「子ども」や「若者」。そして、「男性」や「セクシャルマイノリティ(LGBT)」についても詳しく扱うべきである。</p> <p>同様に、本パブリックコメントにおける性別欄が多用に存在していることに関しては評価したいものの、「男女」の性が固定化されやすい氏名に関しても書かなければならない仕様に関しては改善されることを望む。</p> <p>トランスジェンダー当事者として、氏名を書かなければ意見出来ない。というのは率直な意見としては苦痛である。</p> <p>また、「夫婦別姓」の問題も存在している。それらの一つの解決策として、本名が変わらなくても「マイナンバー」を活用することでいわゆる「通名」のように、「ペンネームのような通称」を公共機関でもその名前で保障される第2の氏名を公的に名乗れるような方法があるのではないだろうか？</p> <p>「男女共同参画」の立場からも「マイナンバーに紐づけた通名利用」に関して検討して頂ければ幸いです。</p> <p>また、「男女共同参画」における「男女」という語句や、素案の文面には、非常に重要な理由や根拠が無い、個別の表現として「女性」という表現よりも、「全ての性」や「全ての人」。そして「ジェンダー」のような表現に置き換わることを強く望む。</p>
061	— 20代	<p>「LGBTs」を念頭に置いた語句:「男・女」の修正について</p> <p>男女共同参画を目指すにあたっては、女性差別の解消は勿論のこと、「男・女」という「ジェンダー(性)」を超えた意識の改革が必要であると考えます。</p> <p>よって、「LGBTs」を含めた「男女共同参画(局)」の名称が「ジェンダー」のような表現に置き換わることを強く望む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画局のウェブサイトは「gender.go.jp」であるものの、「ジェンダー」の翻訳として「男女」は、不適切な語彙表現になる。よって、第五次となる今回からは、『男女』という文言を外すことでセクシャルマイノリティを含めた女性だけでなく、「男女」の枠を超えた「全ての国民の参画、活躍を阻害されず推進する」という基本的立ち位置に立つべきではないだろうか？</li> <li>・特に本提案書からは「LGBTs」も対象になるにも関わらず「女性」(同性愛者等ではないシスジェンダーを指していると思われる)を中心とした表現・方針であり、男性のみならず、「トランスジェンダー」等へは殆ど触れていなかったのは、一人の当事者として大変残念であった。</li> <li>・社会的な問題点の是正には「女性」が中心になるものの、「男性」の差別だけでなく「セクシャルマイノリティ」における差別解消は非常に重要な課題である。</li> <li>・市川市の男女共同参画(ウィズ)では以下のような文面を用いている。</li> </ul>

			<p>『男女共同参画センター（愛称 ウィズ）は、性別にかかわらず対等な立場であらゆる活動に参画し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会の実現を目指すための拠点施設です。』</p> <p>繰り返しになるが、「男女共同参画」における「男女」という語句や、素案の文面には、非常に重要な理由や根拠が無い、個別の表現として「女性」という表現よりも、「全ての性」や「全ての人」。そして「ジェンダー」のような表現に置き換わることを強く望む。</p>
062	女	40代	<p>男女共同参画社会は、 あったらいいね、できたらいいね、ではなく 実現しなければ結果として国が滅びる問題と認識して取り組んでいただきたいです。</p>
063	男	30代	<p>素案で「女性」と検索すると 1146 件ありましたが、「男性」と検索すると 150 件しか無いようです。女性の権利だけを主張しているという証左になるはずで、男性も困っていることではないのか？という視点が非常にかけているように見受けられます。本当に男女共同、すなわち男女平等になっているか？男尊女卑ならぬ女尊男卑の様な文章になっていないか？を再確認なされてみたら、どうでしょう？「男性」という単語で拾い読みしましたが…「必死に働け！」・「子育ても怠るな！」・「男は暴力的な人間ばかりだ！」という掛け声以外見受けられないのですが…。</p>
064	団体	団体	<p>第5次計画を本当に実効あるものにするために、まず第4次計画のうち何が進み、何ができなかったかをしっかり検証してください。202030 が達成できず、ジェンダー・ギャップ指数が 153 か国中 121 位とは、男女共同参画を着実に進めてこれなかった結果であると謙虚に受け止め、今後の数値目標をはっきり打ち出し、女性の社会参画を阻む、労働慣行の変革、税制や社会保障制度の見直しのための具体策を提示してください。女性の雇用の非正規化が進んだため、益々拡大してしまった男女間の賃金格差の解消への具体策はなにか、性別役割意識をなくしていくためにいったい何をするのか、防止措置義務だけではなくならない女性に対するセクハラ防止はどうするのかなどの他、先進諸国と比べると遅れていると言わざるをえないDV加害者対策などについても、 20年もの間「調査・研究する」から一歩も出なかったことから脱却し、おもいきった施策を立てて実行してください。 なお、内閣府は各省より一段高い立場から、国政上の重要な政策について企画立案・総合調整等を行うところのはずです。建前だけではないことを望みます。 第5次計画では、SDG5の「ジェンダー平等」とその他すべての目標を達成するための手段として「ジェンダー主流化」が掲げられていますが、ジェンダー主流化をどのように実現するのか、もっと具体的に示してください。また国連の「女性差別撤廃条約」を批准している以上、批准国としての責務を果たしてください。長年国連から繰り返されている勧告に向き合い、取り組む姿勢を明確に見せてください。</p>
065	女	30代	<p>2030 が達成されないまま、先送りになったことは大変残念で、日本の先行きは暗いと思わざるを得ません。 リーダー、意思決定に関わる人、経済力を持つ人が男性に偏っている状態は、これらの人々を人口の半分から選抜している状態、能力ではなく属性で選ばれた人々が社会を動かしてい</p>

			<p>る状態と言えます。</p> <p>このことだけでも、国際競争に耐えられない可能性が高くなります。さらに、多様性を欠いた組織はイノベーションを起こしにくく、硬直しがちであるといった問題もあります。資源がなく、知識と民主主義的基盤の上に発展していかなければならない国にとって、女性を事実上意思決定から排除していることは、大きな損失になっていると考えます。</p> <p>女性が安定した雇用形態で当然働き続けられるよう、結婚や出産がキャリアのハンデにならないようにする必要があります。また、理系進学者・研究者、政治家、企業の役員など、とくに女性が少ない分野については、今度こそ数値目標を達成するため大胆な政策をとり、女性比率を増やすべきです。</p> <p>他国で女性が意思決定に関わる場合が増えている中で、日本は人口の半分からしかリーダーを選抜していないということの損失をもっと深刻に捉えるべきであると考えます。</p>
066	女	20代	<p>全体的に「男女」と性を区切ってしまっていることが気になります。女性の参画拡大はもちろんですが、LGBTQの方のことも考えた政策が欲しいと思いました。また、女性と特定の性を挙げていることに関して、女性は社会的に地位が低いというのを、この取り上げ方により、より意味合いを強めてしまっているのではないかと違和感を持ちます。</p>
067	女	40代	<p>男女共同参画社会基本法には次のように書かれている。</p> <p>「第四条 男女共同参画社会の形成に当たっては、社会における制度又は慣行が、性別による固定的な役割分担等を反映して、男女の社会における活動の選択に対して中立でない影響を及ぼすことにより、男女共同参画社会の形成を阻害する要因となるおそれがあることにかんがみ、社会における制度又は慣行が男女の社会における活動の選択に対して及ぼす影響をできる限り中立なものとするように配慮されなければならない。」</p> <p>現状で、こうした制度・慣行の見直しが進んでいないことがもっとも大きな問題だ。制度が個人単位となっておらず、世帯単位になっていることも、過去の計画で問題が指摘されながら、変わってきていない。そのため、今年行われたコロナの給付金でも、問題が起きた。</p> <p>人々の意識は制度や慣行を変えることで変わっていく。この間、日本がジェンダー平等についてここまで国際的にみて後進国となっている現状をはっきり認識し、まず制度・慣行を変えろという点を打ち出してもらいたい。</p> <p>大学でジェンダー平等について教えていると、若い学生から、将来を憂える声（就職が怖いといった声も）、なぜもっと早くこうした問題について学ぶ機会がなかったのか、もっと早く知りたかった、現状を変えていきたい、202030すら実行できないことに怒りを覚えるという声を本当にたくさんたくさん聞いてきた。心強いと同時に大きな責任を感じる。若い学生たちが将来に希望を持ち、当たり前、安心して、働き、望む人は子どもを育て、また一人でも安心して暮らしていける社会をつくる必要がある。現状でそうならないということに悲しみを覚える。本気で男女共同参画を進めていくためにも国が、将来に希望をもてる計画をたて実行して欲しい。</p>

068	女	70代	<p>9月6日の朝日新聞記事で、男性が「男社会の価値観、変えねば」と言っています。「男性社会の価値軸のまま数値目標を達成しても、同じ軸に添った女性が増えるだけで多様性にはつながらない。例えば長時間働けることや、短期的な売り上げに貢献できることだけではない価値軸をもつことで、もっと柔軟性や強さのある社会になれると思っています。」は、たしかにそう思います。そこで、男社会の価値観を変えるために意識だけでなく、制度をつくることを進めてください。意識を変えるためにも制度のありかたが大事だと思います。</p>
069	女	70代	<p>20年前、「男女共同参画会議」がスタートした頃、次のような話があったそうです。「非常に苦しんでいる女の人たち、特に暴力の被害者などの方々は戸籍があるから困る、健康保険証で困る、税金で困る、年金のことで困る。つまり、今、私たちの国の仕掛けが全部困る原因になっている。要するに夫の暴力から逃げ出した場合に、いろいろ現行の事務上のことでがんじがらめにされていて、結局は暴力夫の下に戻っていかざるを得ないという現実がございます。」</p> <p>それから20年経ちましたが、制度を変えるという根本的な対応が行われていません。だから今回、特別定額給付金のことで問題が起きたわけです。もう放置するのはやめにしませんか？</p> <p>男女共同参画社会基本法4条は、「男女共同参画社会の形成に当たっては、社会における制度又は慣行が、性別による固定的な役割分担等を反映して、男女の社会における活動の選択に対して中立でない影響を及ぼすことにより、男女共同参画社会の形成を阻害する要因となるおそれがあることにかんがみ、社会における制度又は慣行が男女の社会における活動の選択に対して及ぼす影響をできる限り中立なものとするように配慮されなければならない。」と言っています。</p> <p>制度または慣行を変えなさいよと言ってるわけです。なのに、「第5次計画」では、「意識」を変えようとしています。そもそもそこが間違っていないですか。そこを認めて違う方向に転換しないといけないのではありませんか。20年の反省ってそれでなければならないのでは？</p>
070	女	50代	<p>第4次男女共同参画基本計画の達成に関する評価・分析を略さず掲載してほしい。また、第5次で目指す指標について、数値で明確に示してほしい。このままでは、5年後にも具体的施策が実行されたかどうかの判別がつかず、GGGIの順位を下げ続けている我が国の男女共同参画の推進は再びポーズだけに終わりかねない。よりよい社会づくりのみならず、国の存続に関わる経済成長のためにも、男女共同参画推進は必定の取組であることから、ぜひ具体的な数値評価のできる基本計画としてほしい。</p>
071	女	60代	<p>202030が実現しなかったことに本当に怒りを感じています。そして、その怒りが、政府全体のものでも社会全体のものでもないことに、深く、日本のジェンダー平等の遅れを痛感します。第5次計画を実効あるものとなるよう、内閣府男女共同参画局の皆さんが決意を新たにされ、政府全体の取り組みが強化されることを心から期待します。</p>

072	女	50代	75	<p>「基本認識」において、社会制度や慣行が実質的に男女に与える影響を常に検討し、その影響が中立的でない場合、制度・慣行の転換の必要性が指摘されています。これは重点事項にしたいです。また、具体的取組を明示していただきたいと思います。諸制度・慣行が性差に関する偏見を助長し、性別役割分担を固定化している現在、アンコンシャスバイアスを深めるものになっていないかの検証が必要です。</p> <p>日本の旧態依然とした現行の社会制度や法及び慣行・慣習は、「男女平等」という意識の次世代への浸透、再生産を招き、国際社会においてもジェンダー平等が立ち遅れてきた要因となっています。早急な見直し、改正が今すぐ必要だと思えます。</p>
073	女	50代	76	<p>男性優位の婚姻観・家族観を根深く固定させてきた現行の次の3点の法律の見直し・改正の必要があることを該当箇所に明記してください。</p> <p>1、祭祀承継者に「慣習による」としている民法第897条本文。 2、出生時に「嫡出子」か否かの選り分けることを定めた戸籍法49条第2項1号。</p> <p>祭祀承継者の決定は慣習によるとされることで、旧来からの姉妹・兄弟間で男子への優先意識が助長され、家業や農林畜産業の継承・相続から女性が排除される慣習が続く要因となっています。また、法律婚による優位性を保持させるために「嫡出子」の権利が優位とされ、婚外子への差別が民法・戸籍法において長年にわたり是認されてきました。相続での婚外子差別は違憲との最高裁判断でようやく2013年に民法が改正されたにもかかわらず、戸籍法による出生の差別がいまだに残されたままです。そのため、生まれながらの人権や婚姻形態の自由が尊重されず、出産の選択にも影響を与えています。出産の主体である女性にとって「子どもはすべて嫡出子」です。国際社会の一員として男子優先、男系優位の固定的な意識を変革するための根本的で積極的な取組みが日本ではぜひとも必要です。</p>
074	女	50代		<p>202030が達成できず、ジェンダー・ギャップ指数が153か国中121位とは、男女共同参画を着実に進めてこれなかった結果であると謙虚に受け止め、今後の数値目標をはっきり打ち出し、</p> <p>女性の社会参画を阻む、労働慣行の変革、税制や社会保障制度の見直しのための具体策を提示してください。</p> <p>第5次計画では、SDG5の「ジェンダー平等」とその他すべての目標を達成するための手段として「ジェンダー主流化」が掲げられていますが、ジェンダー主流化をどのように実現するのか、もっと具体的に示してください。また国連の「女性差別撤廃条約」を批准している以上、批准国としての責務を果たしてください。</p> <p>企業に対する措置義務だけではセクハラはなくなりません。 女性差別がセクハラやDVの元凶です。「差別禁止法」を制定し、違反者は取り締まり、罰則と更生義務を科す仕組みを求めます。</p>
075	男	40代		<p>男女共同参画基本計画を巡って、いくつかの記事がインターネットニュースに寄稿されました。</p>

			<p>残念ながら男女共同参画や基本計画について理解が乏しく、我田引水のような寄稿だったと思います。</p> <p>男女共同参画に携わるものとして残念だったと共に、発信の不足を痛感しました。</p> <p>国の基本計画は地方公共団体の基本計画に影響を及ぼします。</p> <p>計画策定段階からの、効果的な情報発信をお願いいたします。</p>
076	男	40代	<p>第一に全体的な疑問点の一つとして、それぞれが女性に対してのみ言及される問題ではないということ。</p> <p>男性も女性上司からひどいパワハラや嫌がらせを受け、鬱病に追い込まれたり失職する問題も見かけている。</p> <p>メディアの番組でも、夫の持ち物を勝手に売り払い、それを笑いものにする企画など男性軽視、侮辱の表現も少なくない。</p> <p>女性のみを対処にした問題ではなく、男性に対してもこれらの暴力は否という姿勢を内包して頂きたい。</p> <p>第1部 基本的な方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備</li> </ul> <p>女性が安心して暮らせるための環境整備が、他者の人権を制限、踏みにじるような施策であってはならず</p> <p>他の女性層を無視した特定女性層の不快感や嫌悪感、価値観などを理由にしたものとは切り離して考えるべきである</p> <p>(例：この本を書店の陳列に並べるな等)</p> <p>環境整備は犯罪や暴力的な直接的、人権侵害となるものから守る等の施策であるべきである。</p> <p>第4分野 科学技術・学術における男女共同参画の推進</p> <p>&lt;2 男女共同参画と性差の視点を踏まえた研究の促進&gt;</p> <p>学術や研究に性差の視点があるとし、それらに対し女性の視点を取り入れると義務づけることこそジェンダーバイアスそのものと感じる。</p> <p>学術や研究は普遍的な真理を前提とするもので、そこに性差を組み込もうとすることは学術や研究の目的そのものすら歪める横よりでしかないと思う。</p> <p>またこれらに性差を組み込もうとする理由に、不都合な真実を押さえ込み、ある特定層の独善を押し込もうとする意図さえ疑ってしまう。</p> <p>「女性に必ずしも当てはまらず」ではなくある特定女性層には不都合な真実であるから、その研究結果を排除するという悪用につながりうる問題性が強い。</p> <p>学術、研究に性差を取り込もうとする施策は逆に日本の学術、研究の水準、品質を貶める可能性すらある間違った施策であると思う。</p> <p>学術・研究は悪意を持ったものに悪用されないように真理のみを第一とすべきで、そこに性差を組み込もうとする取組こそ</p> <p>ジェンダーバイアスかつ、ジェンダーの政治的悪用とすら感じる。</p>

077	男	30代	<p>まず、全般として男女共同参画に関しては基本的には賛成の立場であるが、インターネット上の「フェミニスト」に対しては、「フェミニズム版ネット右翼」と呼んでよいような、「女性という属性」に根ざした一種のナショナリズム、端的に言えば「女尊男卑」「女性優遇主義」というべき主張をしている者が多く見られる。</p> <p>私は、「女性優遇主義」は男女平等の趣旨に反すると考える。</p> <p>以下、いくつかの分野に関して簡潔に述べる。</p> <p>第1分野に関して、クォータ制の導入は男女分断を生じさせ良くない。一方、特に地方では男尊女卑の文化が残っている所が有ると思われ、「女性が首長や議員になってもおかしくない事」を啓発すべき。また、女性も含めた低所得の人の被選挙権を実質的に制限している供託金については、廃止するか、大幅に引き下げるべき。</p> <p>第2分野に関して、我が国では男性が仕事、女性が家事・育児を担当するのが、特に幼稚園入園前の乳幼児では慣例であると思われ、仕事を一旦辞めた場合、経歴がリセットされ、これが年功序列がある程度残る我が国において、女性に不利に働く場合があると思われる。年功序列は終身雇用と結びついており、完全な廃止は相当とは言えない。よって、少子化の対策も兼ねて育児休暇の制度の拡張、そして育児休暇中も会社の社員としての勤続年数にカウントするという制度を検討してはどうかと思われる。</p> <p>また、選択的夫婦別姓については、「選択的」である限りは反対する理由は乏しく、許容しても問題ない。</p> <p>第5分野に関して、性暴力の根絶、前歴者の再犯防止にはいずれも総論としては賛成だが、仮釈放中のGPS装着義務の導入に関しては、他の人にGPS機器が見える場合が少なからずあるなど更生をかえって阻害する場合があると思われる為、現時点では反対せざるを得ない。代案の1つとして、仮釈放中の遵守事項に精神科の診断を受けさせた上で、措置入院や心神喪失者等医療観察法を拡張する方向の検討をも行うべきと考える。</p> <p>第10分野に関して、特に前述の「フェミニズム版ネット右翼」を中心として、近年、特に「萌え系」や「男性・女性らしさ」を出す広告に対して過剰なバッシングが行われている。多数の人に支持されない表現を守る為にも表現の自由は必要である。よって、国は上記バッシングに加担・助長すべきではない。</p> <p>以上</p>
078	女	20代	<p>次にデザインや広告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画のCMを流す(ACジャパンのような)</li> <li>・性別のステレオタイプがはっきりと分かれた子供のおもちゃやデザインが多過ぎないように法則を設ける。(1企業に5つまでしか女子向けにピンク色、男子向けに青色の商品を生産してはいけないなど)</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品化するに当たって女子(男子)に人気や女性(男性)におすすめなどのコピーを付けてはいけない</li> <li>・女性を客体化したポスターなどを貼った企業に罰則をつける・男女両方に人気の商品を作れば爆発的に売れるのだから性別で分けてデザインしないように審査を入れる。</li> </ul>
079	女	20代	3 <p>最後、暴力について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性蔑視によって事件が起きた場合は無差別殺人と報道しないように決める(福岡の事件など)</li> <li>・テレビの報道ニュースで女性に関するニュースを必ず1つ以上取り入れる</li> <li>・レイプに無罪はありえない。早急に刑法改正を</li> <li>・薬局でピルを買えるようにする</li> <li>・警察によるセカンドレイプを無くすため、警察にも性差別を教育させたり女性蔑視を無くす取り組みをする</li> <li>・女性警察官を積極的に取り入れて女性被害者に寄り添った専門の課を作る</li> </ul>
080	女	20代	<p>「2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%程度」という政府目標を達成するのは絶望的とされ、目標を断念、「できるだけ早く達成する」という目標が変わったのが記憶に新しいです。「できるだけ早く」というような曖昧なものではなく、年度目標を設定し、達成のために具体的かつ有効な施策を実施していただきたいです。</p> <p>就職してから女性の先輩の少なさを目の当たりにしています。管理職になるとさらに少ないと感じます。女性は男性より、妊娠・出産などのイベントにキャリアへの影響を受けやすいと思います。生物的に男性が妊娠・出産をするのは無理ですが、その差を埋めるのが政治の役割ではないでしょうか。私も女性ですが、今の日本ではキャリアも結婚も出産も難しいなと感じてしまいます。まだ20代ですが、半ば諦めているところがあります。</p> <p>どうか、女性が自分自身のキャリアを諦めずに済むような社会にしていっていただきたいです。</p>
081	女	20代	80 <p>初等教育において、男女共同参画のみならず女性差別の存在とその改善の歴史を教育してください。なぜ「差別があること」を教えてくれなかったのかと疑問です。教えてくれれば戦えたと思いつきシーン(親や先生による女性差別、試験、痴漢、採用面接、恋人の態度)がたくさんあります。先進的な国になるには、差別の存在を認識させることがとても重要だと思います。</p>
082	女	40代	<p>○202030の未達を反省分析して、着実に「203050」となる「計画」にする。</p>
083	女	50代	<p>男女共同参画社会になるために、とても大切な計画だと思います。ジェンダー平等に賛成なので、国連の勧告に真摯に答え、男女共同参画をより進めていってほしいと願っています。</p>
084	女	50代	<p>5次計画では、「ジェンダー主流化」を前面に掲げて欲しい。そしてその際の主要なターゲットとして「男性中心型労働慣行」の他、税制、社会保障制度などを特定し、その是正を求めて欲しい。</p>
085	女	50代	<p>第4次計画の結果、なぜ202030が達成できなかったのかを分析反省した上で、第5次計画を策定して欲しい。分析とその改善点が第5次計画の中では、示されていないように感じる。</p>
086	—	40代	<p>この国には「男」と「女」しかない前提で書かれている。</p> <p>意見募集の性別欄には「その他」という選択肢があるのにもかかわらず、「第5次男?共同</p>

			<p>参画基本計画策定に当たっての基本的な考え方（素案）」では、「男女」とされている。ジェンダー平等を目指すのであるのならば、「男」と「女」ではなく、「すべての人」又は「性別等や性自認にかかわらず」とするなど、性自認に配慮された表現にしてほしい。</p> <p>「男女」に限定した表記は、男性と女性のみの性別にとらわれており、それ以外の性自認の人は排除（差別）されているように感じるため。</p>
087	女	10代以下	<p>ジェンダー平等や結婚について、男女どちらの性別でもない人や性同一性障害の人、同性カップルについても共同参画を当てはめるべきではないのだろうか。男と女という明確な性差がある人間への法の支援は手厚いが、そうでない人間に関しては法の擁護がまだまだ足りない。男女共同参画も大切だが、いい加減こういったものも含めた施策を講じるべきではないのだろうか。</p> <p>別に個別に回答はしなくてもいいが、我々の意見を積極的に反映してほしいと思う。見て見ぬふりなど言語同断。現在の政府は行動が遅い。現状把握に積極的に努め、地方の末端でもそこから上がる声を無視してほしくない。</p> <p>政治に疎い自分の拙い意見ではあるが、政治を理解していない国民の言葉を蔑ろにしないでほしい。</p> <p>どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
088	女	30代	<p>欧米で広がりを見せているような、性自認だけで性別を変えられる制度（いわゆるセルフ ID 制度）を日本に導入するのは反対です。</p> <p>2年ほど前から SNS（Twitter）でトランスライツアクティビスト（TRA）達は、性自認だけで自分の性別は決められるのだから、女湯も女子トイレもどこでも入れる、と主張しています。そして、怖がるのは差別だ、と糾弾し、性被害に遭って男性を恐れている女性達を、アカウントを消させるまで追い詰めてきました。</p> <p>GID 治療の保険適用化や特例法の非婚・子なし要件撤廃には賛成ですが、生殖不能要件・外観要件はなくすべきではありません。</p> <p>射精できる人が女湯・女子トイレに堂々と入れるようになってしまったら、恐怖でしかありません。</p> <p>最も被害に遭うのは、判断力の未熟な女兒です。</p> <p>性別はグラデーションやスペクトラムではなく、生物学的な雌雄だけです。</p> <p>それ以外を認めるべきではないと思います。</p> <p>ジェンダーは社会的虚構であり、時代や地域によっても変わる曖昧なものです。</p> <p>そして、なくすべきものです。</p> <p>そのジェンダーに拘るトランスジェンダリズムは受け入れられません。</p> <p>フェミニズムも female（身体的女性）のためのものです。</p> <p>トランスジェンダーの方達の人権も最大限尊重されるべきであり、呼称などはなるべく本人</p>

			<p>の望むようにしてあげれば良いと思います。</p> <p>でも、身体的性別で分けられているはずのエリアは守られなければならないと思います。シェルターの役割もありますので。</p> <p>ペドフィリアを公言しているトランス当事者も複数います。</p> <p>私にも娘がいるのでとても怖いです。</p> <p>実際、海外でもそうした事件が後を絶ちません。</p> <p>そうした性暴力の問題だけでなく、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女子スポーツで上位を独占</li> <li>・政党のパリテの崩壊</li> <li>・統計が意味をなさなくなる</li> <li>・犯罪が別の性別でカウントされてしまう</li> <li>・医療の混乱</li> <li>・女性が「生理のある人」「子宮のある人」という失礼な呼び方をされる（男性はなぜか男性のまま）</li> </ul> <p>…といった問題が噴出しています。</p> <p>男女共同参画基本計画策定にあたり、考慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>
089	女	60代	<p>・県や市のパブコメは広報で把握できますが、政府等のパブコメは、通常目にするのが少ないので、お知らせ方法および資料等を、自治体経由（広報誌）などで考えてほしいです。・日本国憲法のいきる社会・SDGsの達成めざす内容にしてください。</p>
090	女	30代	<p>男女共同参画を実現するためには、環境の整備も大切だが、クォータ制度の活用などにより女性の参画を増やし、女性がいるのが当たり前というように各人の常識をアップデートすることが重要だと思う。</p> <p>男女ともにステレオタイプに当てはめられることや、無意識のバイアスを感じる事が非常に多いため日本は暮らしづらいと感じる。優秀な女性が海外に逃げないようにするためにも早急な対策が必要。</p>
091	女	40代	<p>44</p> <p>医療・行政・地域に、性暴力の何の救いもない中、信仰（お詣り）やその学びを支えにしてきました。「日本の太陽は女性」をテーマに、日本女子大学（青鞥）、高野山大学（理趣経など仏教典）、今の大学では、古事記の天岩戸開きについて、修論に取り組んでいます。</p> <p>生まれた市を離れて、見知らぬ地で、信仰を頼りに生きてきました。2-3年程前に、奇跡的に、トラウマ専門治療に繋がりました。トラウマや回復（寛解）について、少しずつ学んでいます。</p> <p>信仰しか頼れるところがなかった...そのような中で、宗教に於ける力関係、地位関係性やその中での性暴力、暴力、その泣き寝入りという問題にも、関わるがありました。</p> <p>1) 私自身も、被害にあいましたが、その時は、ワンストップセンター、警察も、割と被害</p>

			<p>者に寄り添った対応をしてくれたと思います。</p> <p>法で裁くまでのところには至りませんでした。警察署まで来て対応してくれたり、その女性警察官の方との相談で、自分で出来るだけのことをして、宗教関係内での対応はされました。</p> <p>周囲の対応によって、救われ方がずい分、違うように思います。* 勿論、刑法自体は、見直されるべき課題です。</p> <p>2) 近所で自死者が出るような、地域社会全体が救いようなくいると思います。</p> <p>また、地域社会の人達も、性について、どう触れて良いのか、考えて対応すれば良いのか、そのトラウマの深刻さや対応も含めて、今までの、性のタブー視、穢れ観・貞操観などもあり、触れ難く、分からないでいるように思いました。</p> <p>* どの地域にも共通に言えることだと思います。</p> <p>この点について、宗教的、慣習的にある男尊女卑、力関係に向かい合って考え、対応してゆく必要があると思います。</p>	
092	女	40代	44	<p>性暴力に伴ってある、死の問題も深刻です。その視点も持って欲しく願います。</p> <p>私の性暴力の加害者達は、早くに不幸な死に方をしました。私は、加害者達の死のトラウマにも苦しみました。</p> <p>性暴力の加害者が、血縁・親族、特に、父親、親などの場合、その人達の死でもなお、苦しまれます。</p> <p>知らない第三者には時々、「死んで良かったね」と言われますが、死んでも付き纏うように、苦しみは増します。死んで良かった、には、容易にはならないのです。</p> <p>子供は特に、性暴力だけでなく、加害者達の事故死、病死さえも、自分の責任だと思って、自分を責めてしまいます。自分もそうでした。</p> <p>墮胎も同様に、生命に関わることですが、その責任を、女性だけに負わせています。墮胎罪はなくすべきです。法で責任を問うなら、女性だけでなく、少なくとも半分の責任を負う男性にも、問われるべきです。そうでないと、男性が、生命の重要性を、理解出来ず、無責任なままと思います。</p>
093	女	50代	33	<p>アンコンシャス・バイアスの説明が”無意識の思い込み”となっていますが、”無意識の偏見”の方が正しく理解できますので修正をお願いします。</p>

094	女	50代	<p>全体を通して、女性差別を是正し人権を重視する方向でなく、女性を活用し経済政策に利用しようとしていこうとするような素案になっていて、これではいつまでもジェンダー平等が成されないような計画だ。</p> <p>ジェンダー平等を社会変革として諸外国の水準を目標とし「女性差別撤廃条約」の実施を監視をするための「女性差別撤廃条約専門調査会」を設置するべきである。</p> <p>ジェンダーギャップ指数にも示される通り、女性に対する差別があるのだから、差別をなくすことを目的とした具体的な政策を示し、それにかかる調査を行い統計を開示し、明確な数値目標を示してほしい。</p> <p>202030 がなぜ達成されなかったのかの総括がない。これは本来すでに達成されていなければならないはずなのに、先送りにされ、喫緊に達成しなければならないという問題意識が5次計画に欠落している。国会議員にはクオータ制を導入し企業の管理職、医師の人数なども、一定割合（本来男女半々で丁度よいのだ）は女性が就くことができる具体的な制度を設けいつまでに達成するかを明確に示してほしい。</p> <p>エッセンシャルワーカー（ケア労働従事者）の男性の参画が必要。労働条件を改善しきちんとした待遇で賃金を得られるよう目標を示して実施できる具体的な政策を示すべきである。</p> <p>セクシュアルハラスメントに対しての法を設けることをしめしてほしい。</p> <p>低年金・無年金者の調査を実施し、ジェンダー統計をきちんと示してほしい。</p> <p>教育分野とメディア分野が一緒にされているのはおかしいのではないかとくに教育は単独で一分野必要くらい重要な項目であるのに蔑ろにされている。</p> <p>地方自治体が性差別を助長するような広報を行っていたりする現状からもメディアに対する具体的な取り組みを示すべきだ。</p> <p>5次計画素案ではアンコンシャス・バイアスという言葉が多用されているが、意識の先をいく制度が設置施行されるほうが急務ではないだろうか。</p>
095	女	40代	<p>「女性活用を推進する」などの漠然とした目標ではなく、しっかりと数字を定めてください。</p> <p>全体的に「具体的な数字」が不足していると感じました。</p> <p>日本独自の方法を国内で考えず、台湾など他国の成功例を参考にしてください。</p> <p>積極的に外国へ教えを乞うてください。</p> <p>上手くいっていない日本国内だけで考えても、上手い対策が出来上がるはずがありません。</p> <p>「男女間の性差別問題」と「セクシャルマイノリティの問題」は峻別してください。</p> <p>セクシャルマイノリティ団体は男性の声ばかりが大きく、決して女性の声が反映されているとは言えません。</p> <p>「社会的性(ジェンダー)」と「生物的性(セックス)」は峻別してください。</p> <p>この二つを繋げる考えや、啓蒙する団体が世界に広がっていますが、同時に看過できないレベルの問題も多発しています。</p> <p>他国の問題を繰り返すべきではありません。</p>

			<p>議員がセクハラで辞職した例がありますので、政治決定の現場から性差別問題を解消してください。</p> <p>実践する姿を国民に示すべきです。</p>
096	女	50代	<p>周知・啓発や促進などの文言が多いが、より具体策をしっかりと出してほしい。また、調査だけに終わらせることなく。調査結果をきちんと把握し、問題点を明らかにし、具体策を出してほしい。</p> <p>また、「検討する」となっている部分も、しっかりと検討し、そこで終わることなく、方向性を出してほしい。</p>
097	女	60代	<p>第一分野で女性の参画をもっと促せるように、具体的な方法や方針が必要と思われます。クオータ制がきちんと実施できるように。例えば1年ごとの計画と評価など。また特に政府機関や公的な機関では、チェックして実施率などを公にし、常に市民に公開をしてその是非を問うようにしたらどうか？ただ書いただけで終わらずに、かならず実施できるように。第二分野ですが、非正規雇用の多い女性に対する雇用の不平等と男女賃金格差の是正をこちらも具体的な支援策など速やかに実施してほしい。特に介護については、これは男性にとっても大きな課題であると思われる。また保育に携わるケア労働をきちんと評価し格差を是正する。同時に第三分野ですが、男性の育児参加を促せるような仕組みづくり。企業評価になるようなかたちにもなるといいので、強く進めてほしい。</p> <p>第五分野のDVや性被害を無くす取り組みを強化してほしい。またその二つは、男女ともに真の性教育の充実によるものが多いと思います。いまだに、性教育実施が行われない所も多いので、義務教育の中に入れていくのが望ましい。低学年から年齢に応じたものであるといい。</p> <p>第七分野ですが 少子化対策に偏らない、全ての女性の生き方を支援する様な健康支援を必要と考えます。性教育と女性の健康を扱うヘルスセンターの設置など、リプロダクティブ・ヘルス/ライツにたった視点からの女性の生涯にわたる健康についてしっかりとしたプランをお願いします。</p> <p>第八分野ですが 防災に女性の視点が少ないと感じています。実際、NPOの市民活動に参画していますが、行政と一緒にいる防災の部分はメンバーは全て男性です。各地の自治体に対してジェンダーの視点を取り入れるよう促すことが必要と考えます。</p> <p>第11分野ですが、以下2点が実施できていないことが理解できない。ぜひお願いします。 女子差別撤廃条約の完全実施 女性差別撤廃条約選択議定書の批准</p>
098	女	60代	<p>本当に進むのでしょうか？あまりにも遅い日本の姿に失望をしています。</p> <p>女性の人材育成が課題かもしれませんが、社会の影響により家庭や、学校、子ども達も影響されます。メディアによる影響も強い。社会がジェンダーの視点をもって取り組まないといつまでも変わらない気がします。そのためにも国はしっかりと方針を打ち立て具体的に目標と計画をもって確実に進めていただきたい。</p> <p>企業の責任も大きい。教育委員会の古さもネックの様な気がします。</p>

099	女	40代	<p>男性の家庭参画についての該当箇所を見つけることができませんでした。女性の社会進出についての KPI だけではなく、男性の家庭進出についての KPI を設定し、数値目標を掲げ、実現のための強い推進体制を持つことを要望します。女性の社会進出のために必要なのは、女性に対する支援だけではなく、男性の家庭進出ではないでしょうか。私は市の男女平等推進審議会の市民委員をさせていただいていますが、女性の家事参画に対して、男性の圧倒的に短い家事・家庭参画の数値に憤りを感じました。家事、育児、教育、介護、地域社会といった現状では女性が主に担う分野を男性がせめて同レベルに担わなければ、女性が社会進出をするための時間もつくることができません。家事、育児、教育、介護、地域社会といった分野にどの程度男性が指導的役割を担っているのかといった、KPI の設定を強く希望します。</p>
100	女	30代	<p>色々な記事や勉強会にも出席しましたが、内容を理解することがすごく難しいなと感じました。</p> <p>これでは、政治に関心のない人や文章を読む能力がない人にとって、パブリックコメントを送るといふことのハードルがとても高いのではないかと思います。</p> <p>しかし、日常で女性差別を受けている、そしてそれを認識している人は多くいるわけで、そういった人たちが男女共同参画とはなにか、もっと小学生でもわかるような方法はないものではないでしょうか。</p> <p>行政の HP も、行政の作る文章も、私のような素人ではとても理解が追いつきません。(内容がわからない、という意味ではなく、何を言っているのかがわかりません。)</p> <p>日常で本を読んだり、そういった能力とはまた別のような気がします。</p> <p>日本に住む全ての人ができるような仕組み作りをぜひお願いしたいです。</p> <p>男女共同参画の存在自体、知らない人がまだとても多いのです。</p> <p>よろしくお願い致します。</p>
101	男	50代	是非とも積極的に推進してください。
102	男	50代	是非とも積極的に推進してください。
103	男	50代	是非とも積極的に推進してください。
104	—	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世帯主規定をなくしてください。</li> <li>・選択的夫婦別姓制度の実現を</li> <li>・あらゆる書類の性別欄を撤廃してください。</li> <li>・男女賃金格差をなくしてください。同一価値労働同一賃金を原則として実施してください。</li> </ul>

105	女	50代	<p>○3次計画の時の3分野「男性・子どもにとっての男女共同参画」が4次計画ではなくなっていました。5次計画にもありません。男女共同参画計画を進めるには、男性にとって、子どもにとってなぜ男女共同参画が必要か、がはっきりと示されなければ、『男女共同参画は、女性のためだけにある』という間違った認識を持つ人が私の周りにはまだまだいます。</p> <p>5次計画でも第1部基本的な方針の3 5次計画策定における基本的な視点と取り組むべき事項等(1)基本的な視点及び取り組むべき事項3男女共同参画は、男性にとっても重要(男性がより暮らしやすくなるもの)であり、男女が共に進めていくものである。と書かれています。</p> <p>全ての人にとって、男女共同参画が必要だと共通認識ができるように、3次計画時のように「男性・子どもにとっての男女共同参画」という分野が必要だと思いますので、要望します。</p>
106	女	60代	<p>1、誰でも理解できるように、基本計画の政策に係る国際法、国内法等を該当箇所の文章内に記載するのみでなく、資料として一覧を作成し、基本計画の添付していただきたい。</p> <p>2、認知度の低い言葉等は上記と同様に資料をして添付していただきたい。</p> <p>1, 2は広報として周知徹底する意味合いもある。</p>
107	女	30代	<p>コロナ禍でだされた対策は、ジェンダー視点に欠けているものが多かったと思います。一斉休校も女性が仕事を休まざるをえなくなり、シングルマザーで非正規の方は収入が減ったり、一人10万円の給付金は受け取りが世帯主だから、受け取れない女性がいたり。医療現場で働く女性の賃金は低いのに感染リスクは大きいなど。対策でのジェンダー視点や、対策で漏れてしまった人々へのさらなる対策をできるような体制を組んでいただきたいです。</p>
108	女	50代	<p>用語のことで2点要望があります。</p> <p>1. 国連のCEDAWを、「女子差別撤廃条約」と訳されていますが、多くの女性団体が意図的に変えて使っているように、「女性差別撤廃条約」の訳を公式なものとしてください。</p> <p>2. 婦人保護施設、婦人相談所、婦人相談員など、公的な名称に「婦人」が残っているものに関して、「女性」に変更していただきたいと願います。(多くの地方のセンターや国立NVECも「女性」に変更したので、理由について改めて書く必要はないと思い、割愛します。</p> <p>以上</p>
109	女	50代	<p>4次計画では、1分野目に「男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍」と明記されていました。男性中心型労働慣行等を変革しない限り、女性が活躍することはありえない、という考え方があったからだと思われます。ところが、5次計画には、この分野がなくなっています。4次計画もしくは4次計画期間中に、十分に男性中心型労働慣行等の変革が行われ、日本が男性中心型労働慣行等が亡くなったのであれば、なくしてもいいと思いますが、現実はず変わらずコロナ禍で私の周りの働く女性たちの中にも、男性中心型労働慣行等が残っているからこそ苦しい状況になったということがあり、なくなっていないと感じています。</p> <p>5次計画では、分野としてはなくなり、しかもこの男性中心型労働慣行等の中での課題の1つである長時間労働についての言及が5か所程度しかないままです。このままで、長時間労働は是正されるのでしょうか？疑問です。</p>

			<p>2016年に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」には、『同一労働同一賃金?の実現など非正規雇用（我が国労働者の約4割）の待遇改善は、待ったなしの課題。ガイドラインの策定等を通じ、不合理な待遇差として是正すべきものを明示。また、その是正が円滑に行われるよう、関連法案を国会に提出。</p> <p>長時間労働は、仕事と子育ての両立を困難にし、女性のキャリア形成を阻む原因。法規制の執行を強化するとともに、労働基準法については、いわゆる36（サブロク）協定の在り方について、再検討を開始。』（以上、出典は「ニッポン一億総活躍プラン概要より。」）と書かれています。ニッポン一億総活躍プランで示しているだけにせず、この5次計画の中でも、ニッポン一億総活躍プランに示している文言をしっかりと入れたものを加筆して欲しいと要望します。</p>
110	女	70代 1	<p>1 男女共同参画基本計画の目指すべき社会として(1)～(4)が提示されている。</p> <p>(4)については国連はSDGsの実現に向けてジェンダー平等と女性のエンパワーメントが不可欠であると明確に主張している。SDGsを計画全体に、具体的に取り組む政策を明記することを求めます。</p> <p>202030の取組みについても、達成できなかったことについての説明もなく、評価もない。このようなことでは、必然的に国際社会の推進状況に遅れをとることは明らかである。この計画では、全ての分野にジェンダー平等の視点を入れると明示してあるので、着実な取組みを求めます。</p> <p>ジェンダー平等の取組みにおいては政治分野、経済分野においてクォータ制導入を進めていくことが重要である。法律で積極的な取組みを明記することで国民の意識もあがり、ジェンダー・ギャップ指数に反映すると考えます。</p>
111	女	70代 1	<p>2 社会情勢の現状及び課題</p> <p>「・SDGsにおいて、政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保することが掲げられており・・・。その要因は・・・社会全体においては固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの存在等が考えられる」とある。</p> <p>これについて(2)において、固定的な役割分担意識や性差に関する偏見の解消及び固定的観念の打破に取組みことが求められている。」とある。</p> <p>第5次男女共同参画基本計画では、これまで進めてきている意識改革だけでなく、制度や法律の見直し、改正に取組みが必要である。</p> <p>新型コロナウイルス感染の数か月の間に、女性たちは働く場においても、一斉休校での家庭内での育児、介護、またテレワークの働き方においても、男性たちよりも一日の多くの時間を費やしているデータが出ている。これは、今までの社会活動が、男性主導型の働き方の考えであったり、家事・育児・介護は女性の役割として考えられたりしていたからである。さらにはDV/子どもへの虐待のデータが増えているのは、すぐに見直しする必要がある。全て社会の脆弱性につながる「固定的な役割分担意識や性差に関する偏見」が原因である。法律に関しては民法、戸籍法の見直し、改正を求めます。</p>

112	女	50代	<p>・ジェンダー平等は、世界標準に合わせる事が目的なのではなく、男性も含め多様性を持つ全ての人々が尊重され、その人らしく生活し、社会全体が活力に満ちたものとするためのベースとなるものである。ジェンダー平等を具体的に推進していくための指標として、国がその計画を明確に示していく必要がある。特に男女格差が大きい地方においても確実に実行していけるよう、この基本計画を国が示すことは重要なことであり、必須のことと考える。</p> <p>・公聴会やパブコメ募集について、障害女性が参画しづらい状況がある。先日の公聴会では手話通訳のみで文字通訳がなかったが、中途失聴者や難聴者には手話がわからない人もいる。またパブコメのための資料が、pdf ファイルか、郵送のみとなっていて、視覚障害者にアクセシブルなものとなっていない。テキストデータや点字データの提供も行うようにしてもらいたい。</p> <p>障害女性が参画できない基本計画では、いくら『「持続可能かつ国際社会の調和した経済社会の実現に不可欠な、一人一人の尊重、能力発揮、意思決定への参画」として、個人にとっては、「性別にとらわれることなく自らの選択によって長い人生を設計することができる環境の整備』と謳っていても絵にかいた餅でしかない。</p>
113	団体	団体	<p>1、今、日本社会はコロナ禍で転換点を迎えており、第5次男女共同参画基本計画への期待と注目はかつてなく大きい。真っ先に職を失う女性の非正規労働者、医療や保育などで働く女性の劣悪な待遇、子育てや介護の負担集中、性暴力の多発など、日本の女性施策の遅れがあぶりだされている。第5次計画では、ジェンダー平等の「周回遅れ」「自主性任せ」から脱却する大胆な目標設定と抜本策を示すべきである。「30%目標先送り」への批判は強く、2003年以來17年かけて達成できなかったのはなぜか、原因の深い分析を明記すべきである。それなしには世界121位からさらなる後退を招きかねない。内閣府は、コロナ禍の調査をふまえて「社会変革の契機」とし、根強く残る性別役割分担意識の改革、政府・企業は女性登用の大胆な目標設定の中間報告を出している。政府が2015年の国連女性の地位委員会で合意した「2030年までに指導的立場の半分を女性に」（「203050」）目標を掲げ、実効ある具体策を明記するよう求める。</p> <p>2、第5次計画が、日本国憲法や女性差別撤廃条約などの国際規範や勧告、国際合意に基づくものであるとの姿勢が前回に続き弱い。その上にジェンダー平等を据えたSDGsなどに「世界的な潮流」がある。国連女性差別撤廃委員会が繰り返し勧告し、第9回定期報告への質問事項でもある民法改正、女性差別撤廃条約の選択議定書批准、所得税法56条改正について、期限を決めた実施計画を盛り込むべきである。</p> <p>3、第11分野の標題に「平等・開発・平和」を復活することを求める。第2次、第3次計画まで掲げてきたのが、安倍政権下で前回から消え、平和分野が著しく後退している。日本の女性はアジアへの侵略戦争の加害国、唯一の戦争被爆国の女性として、「平和なくして平等なし、平等なくして平和なし」と運動してきた。憲法9条擁護と核兵器廃絶は日本女性の国際的責務である。</p>
114	団体	団体	<p>4、ジェンダー平等への障害となっている新自由主義や復古的政策からの転換が必要である。第1部10頁中、「社会情勢」が7頁を占めるのは異様である。どんな情勢下でも「男女共同参画社会の実現を21世紀の我が国社会を決定する最重要課題」とした男女共同参画社会基本法に基づき、課題の推進が計画の本来の趣旨である。これまでに強調された「職場における性差別解消」が背景に押しやられ、「雇用によらない働き方」などが新たに持ち込</p>

			<p>まれ、前回に続いて性教育が欠落しているなど、改めるべきである。</p> <p>5、前回計画からこの5年間の女性のエンパワーメントは著しい。パブコメや公聴会をこれまでのように形ばかりのものとしないうことを強く求める。女性たちは、#MeToo#WithYou、性暴力やセクハラなくせと社会を動かし、コロナ禍で新婦人も全国で運動し、妊婦のPCR検査や里帰り出産の検診、DV被害相談の充実、コロナ対策本部への女性参加などを実現している。女性の実態と声、運動を反映したジェンダー平等計画とすべきである。</p> <p>6、国連への提出文書などで「gender equality」としながら、国内向けへの発信では「男女共同参画」と使い分けるのをやめ、「ジェンダー平等」とすべきである。</p>
115	男	30代	<p>憲法にも謳われている基本的人権の尊重や、SDGsでジェンダー平等が掲げられていることを踏まえても、女性と男性の間の不平等や差別、暴力についてなくす方向性を定める、男女共同参画基本計画は重要です。政府が充実した男女共同参画基本計画を策定し、これに真摯に取り組むことは必要であり、その基本的な意義に賛同します。</p>
116	女	70代	<p>・なぜ17年経っても「202030」が実現できなかったのかの原因をはっきりすべきである。計画の実現には、明確な施策が必要であり、目標とタイムラインが必要。そして毎年の進捗をチェックすることが必要。・ジェンダー平等の社会の実現にむけた政府の本気度が問われている。このままではジェンダーギャップ指数は下がるばかりであり、世界から日本は取り残される！・現状ではジェンダー統計がまだまだ不十分。あらゆる統計にジェンダーの視点を入れてほしい。</p>
117	—	30代	<p>成果目標について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の取り組みについて、現状30%であり成果も30%以上というのは意味がわからない</li> <li>・50%となっているのであれば、現状と目標が同じであることは問題がないが、30%ということは「女性が少ない」わけであり、40%や50%という目標にする必要がある</li> <li>・もし30%でいいと思っているのであれば、男女平等を推進する気がないと捉えられても仕方がない目標設定であると考えられる</li> </ul>
118	—	40代	<p>遅れている男女格差解消の是正を早急に推進する必要性がある。大規模なPRで推進してほしい。</p> <p>分かりやすい情報伝達をしてほしい。</p> <p>文字情報だけに偏ることなく視覚、聴覚を通して理解しやすさを追求してほしい。</p> <p>公正な情報となっているのか、男女関係なく様々な階層の、年代の、できる限り多くの人からレビューを受けたうえで策定してほしい。</p> <p>あたりまえのことなので、男性を褒めるなど、これ以上高い下駄をはかせるようなことはしないでほしい。当たり前のことなので、女性にこれ以上負担を強いて睡眠時間を削らせるようなことにならないか熟慮してほしい。新生児の遺棄、子どもの虐待や性被害など今すぐ解決すべき問題と密接なかわりあいがあるのだ。これは女性の問題ではないのだ。このような事件が起こることに国と社会と法律が責任をもって情熱をもって問題解決にあたる必要があるのだと国民全体に訴えてほしい。</p>
119	男	70代	<p>(1)「共同参画」には平等という概念は含まれないので、計画を始め、すべてを英語表記と同じ「ジェンダー平等」に変更すべきである。</p>

			<p>(2) 計画内容の説明の根拠を示すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状資料（時系列資料を含む）（例：GenderGapIndex）</li> <li>・問題点及びその原因の分析</li> <li>・他国（特にジェンダー平等が進んでいる各国）との比較、及び、その差が生じている原因の分析</li> </ul> <p>(3) 女性差別に留まらず、様々な複合差別にも触れたことは評価する。これは女性差別撤廃条約の審査結果（最終見解）を反映したものだと思われる。</p> <p>審査結果で指摘されている下記は今回が初めてではないので、遅くとも年度内に実現すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内人権機構の設立（最終見解 14 項）</li> <li>・選択議定書（個人通報制度）批准（最終見解 50 項、原案 11 分野（2）具体的取組イ 2）</li> <li>・包括的差別禁止法の制定（最終見解 13 項(e)）</li> </ul> <p>(4) 女性に対して個人としての尊厳を認めることを明記する。</p> <p>現状は、自立した個人の確立が無視され、家族や組織などの所属としての立場が優先されている。これは女性に限った問題ではない。</p> <p>(5) SDGs についての考え方を示すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の基本となる基準なので、国の計画だけでなく、自治体の計画、各種の規定、審議会などでの検討、具体的な事業、などすべての点に反映させねばならない。</li> <li>・目標分野 17、ターゲット 169 は分かれて規定されているが互いに関連しているので、直接関係する項目だけを満たせばよいのではないことは理解の基本である。特に基本目標である「誰も取り残さない」を常に認識する必要がある。</li> <li>・SDGs に関連が深い、ESD、CSR、ESG 投資、ビジネスと人権に関する指導原則、ILO の条約や規定、赤道原則、などへの理解も進める必要がある。</li> </ul>
120	男	70代	<p>(6) 国際社会は一貫して人権を重視する方向で動いてきた。女性の人権についても例外ではない。</p> <p>世界人権宣言、人権の諸条約（難民条約、無国籍に関する条約、ILO の諸条約と勧告、などを含む）、国際会議での決定、国際裁判所の設置や拡充、など多岐にわたり、女性差別撤廃条約の審査もそれらを踏まえて実施されてきた。SDGs もすべてが人権に関連している。</p> <p>日本国憲法は世界人権宣言より前に制定され、第 3 章の多くは人権に関する規定であるが、現時点では国際社会の動向に合わせるために改正する必要は無く、憲法の範囲内で対応可能と思われる。</p> <p>しかし、自治体などが人権施策の根拠としている「人権教育啓発計画」は全く対応できておらず、人権侵害の根拠とさえなりかねない内容なので、直ちに廃止し、国際基準などを直接の根拠とするように変えるべきである。</p>
121	女	40代	<p>今回の計画の中に 202030 への言及がないのはなぜか。</p> <p>202030 についての総括、評価分析、課題の抽出と、今後どうするのか、きちんと記述すべきである。</p> <p>また、できもしないキャッチフレーズ的な計画は、新味もなくうんざりである。誰のための、誰に向けての計画なのか。</p>

			地道に社会変革を進めていかれるような、省庁や自治体が、男女共同参画を推進していくときに励みになり、盾となり、力となるような、地道で具体的かつ実現性のある計画としてほしい。
122	男	20代	骨子案は包括的なものになっており、また最近になってわかってきた問題も含まれているという点で評価できると思います。問題はこれらの方向性をどう実装するかです。実効力がある形で実装していただけるようお願いします。
123	男	20代	<p>全体的に「対象となっているグループ」に不備、不適だと感じる部分が散見されました。以下に自分が気づいた箇所を挙げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ p36 イ 5 項目「男女別のトイレ」→LGBTQ を始めとしたマイノリティにも配慮した文言に差し替えてほしいです。</li> <li>・ p51 5 項目「とりわけ若年層に対する予防 啓発・教育を推進」→ストーカーの加害者は若年層に限らず、中高年でもいます。加害者に対する「教育」も必須であることが反映されると良いと思います。</li> <li>・ p52 (1) 最後「国籍や性別に関わらず」とありますが、その後の具体的な取組では国籍に関わらずセクシュアルハラスメントについて相談出来る体制の整備について触れられていないので、盛り込んで欲しいです。</li> <li>・ p62 下から 3 行目「学校における性的指向・性自認に係る児童生徒等への適切な対応」とありますが、「性的指向・性自認への適切な対応」は学校に限らず他のありとあらゆる場所で必要です。是非他の項目でも触れてほしいです。</li> <li>・ p66 イ (ア) 1 項目第 1 行「若年層に対して～」→若年層は勿論ですが、全世代認識すべきことだと思います。(若年層のライフデザインは周辺の人々の作用の寄与が大きい!) 特に、若年層以外の方がこの項目にある事に対して誤った理解や偏見を抱き、それによって若年層へ悪影響を及ぼしている事が少なくないように感じます。是非、「全世代へ」伝えた上で、若年層が個々人のライフデザインを自由に描けるよう、また周囲がそれを支えてあげるようにしてほしいと思います。</li> <li>・ p73 2 (1) 二項目「女性と男性の安全・安心 の確保」→LGBTQ を始めとしたマイノリティにも配慮した文言に差し替えてほしいです。</li> </ul> <p>特に、「性別」に関する文言にて「男性」と「女性」しか反映されていない箇所が上で指摘した箇所以外でも散見されました。是非「全ての人」が反映された文言になってほしいと思います。</p>
124	女	70代	安倍政権では、女性の活躍推進を政策の一つに掲げてきていますが、閣僚への女性の起用も、国会議員に占める女性比率も諸外国に比べ低いのが現状です。誰もが暮らしやすい社会をつくるためには、女性の視点も大事です。政治家や社会の中で指導的立場にある人たちの意識の変革が求められます。「男性でなければ」ではなく、男女平等に、女性の人権を尊重して物事を決定してほしいです。
125	女	60代	<p>固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスという言葉が多数用いられ、様々な問題の原因とされている (p 3、33、70、79)</p> <p>第 5 次基本計画は原因について述べるだけでなく、アンコンシャス・バイアスを無くするため</p>

			<p>の取組やアンコンシャス・バイアスを反映した制度を改めるための具体的な施策を提起するものではないか。</p> <p>ところが、アンコンシャス・バイアスを無くすための施策は、第一部 10 頁に以下の記述があり、また第二部では「第 10 分野 教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革、理解の促進」に限定されている。</p> <p>このような言葉の使い方は改めてほしい。</p> <p>第一部</p> <p>「アンコンシャス・バイアスが男女どちらかに不利に働かないよう。メディアとも連携しながら幼少期から大人までを対象に広報啓発などに取り組む」 (p10)</p>
126	女	60代	<p>男女共同参画社会基本法 4 条では、「第四条 男女共同参画社会の形成に当たっては、社会における制度又は慣行が、性別による固定的な役割分担等を反映して、男女の社会における活動の選択に対して中立でない影響を及ぼすことにより、男女共同参画社会の形成を阻害する要因となるおそれがあることにかんがみ、社会における制度又は慣行が男女の社会における活動の選択に対して及ぼす影響をできる限り中立なものとするように配慮されなければならない。」とある。</p> <p>基本法が出来て 20 年経っても、諸外国に比べて、男女共同参画が進まないのは、まさに意識や慣行を変える努力ではなく、制度を変える努力を怠ってきたからではないか。</p>
127	女	40代	<p>「すべての人々の人権を実現し、ジェンダー平等とすべての女性と女児のエンパワーメントを達成することを目指す」とありますが、ジェンダー平等が女性と女児を害するものにならないよう、細心の注意を払っていただくようお願いします。</p> <p>野党の一部は、「性自認による差別に反対」と主張していますが、この「性自認」というものとジェンダーの取り扱いによっては、ジェンダー平等は女性差別の強化につながってしまうからです。</p> <p>「性自認」という曖昧な概念で性別を決定できるとした国々では、既に多くの問題が起こっています。</p> <p>自認で性別を変更した結果、男性が起こしたレイプ事件が女性の犯罪として記録されています。</p> <p>性犯罪で逮捕された男性が自分の性自認は女性だと主張して女子刑務所に入り、受刑者や看守をレイプしています。</p> <p>男女共同トイレでの嫌がらせのために、女子生徒が学校に通えなくなっています。</p> <p>政党の候補者の男女同数制度や企業従業員の割合は「女性だと自認した男性」によって崩され、統計は意味をなさなくなっています。</p> <p>(素案) の 4 推進体制の整備・強化、2 男女共同参画の視点を取り込んだ政策の企画立案及び実施等の推進、(1) 施策の基本的方向に、「国際連合統計部は、各種統計の作成過程でジェンダーに関する視点を取り込むことの重要性を指摘しており、ジェンダー統計の充実の観点から男女別データの把握等に努めることが求められる。」と記載されておりましたが、この「男女別データ」が身体的(もしくは戸籍上の)男女によって把握されるのであれば、統計として意味をなさないものになってしまいます。</p>

			<p>性を自認で変えられるという考え方は女性差別解消に反するものです。</p> <p>身体の特長、妊孕性によって、女性は差別されてきました。妊娠するからと不当に成績を下げられ、入学を拒否され、入社を拒否され、昇進を見送られてきました。それらは「性自認」によって消し去ることができるものではありません。</p> <p>ジェンダー秩序は家父長制を維持するために男性優位社会が作り上げてきた偏見の集大成です。ジェンダー秩序に縛られることがなくなれば、身体ではなく心に基づく性自認もなくなります。</p> <p>女性差別解消のためには、ジェンダー秩序の解消は必須です。目指すべき社会はジェンダー秩序に縛られない社会であって、既存のジェンダー秩序を維持しようとする思想は、性差別解消とは対極にあるものです。</p>
128	女	50代	<p>基本認識、施策の基本的方向と具体的な取組が各分野ごとに記載されておりわかりやすいのですが、サイロ化につながるという弊害もあります。たとえば、防災・復興に関する課題が、第5分野・女性への暴力、第7分野・健康では全く言及されていません。政策・方針決定やマニュアル作成、あるいは実践に備える際に、全分野を通して吟味せず、自身の専門分野のみを考慮する場合も少なくないのではないのでしょうか。その場合、災害時の性に基づく暴力への対応、災害時のヘルスケアの課題等が考慮されないこととなります。</p> <p>サイロ化を是正し、他の重要政策分野に、防災・復興に関する視点や課題を記載してください。</p> <p>たとえば、第5分野に、災害時の性に基づく暴力の防止や対応策について、第7分野に災害時のヘルスケア、特に人権・ジェンダー平等の視点に基づいたヘルスケア（身体的、精神的、およびりプロダクティブ・ライツ・ジャスティス〈性と生殖に関する健康〉を含む）について、言及してください。</p> <p>また、SDGsに加えて、Social Determinants 社会的決定要因という枠組みも不公平・格差を解消するための政策の策定に有効です。一般的に使われている健康の社会的決定要因 Social Determinants of Health という概念に加えて、不公平・格差の社会的決定要因 Social Determinants of Inequity/Disparities という視点から社会的決定要因にはたらかける取組を政策課題にすることが重要だと思います。</p>
129	女	50代	<p>1、「第4次計画の達成状況」(p.93~)は、「達成状況」の記述ではなく、この間に実施した施策を並べただけである。「第4次男女共同参画基本計画における成果目標の動向」も、各項目の最新値を掲載しただけで、なぜ達成できなかったのかの説明がない。すべての計画は、実現させるためのものであるのであって、「PDCA」サイクルの「PD」だけあって「CA」（評価と改善）、とりわけ「C」がなければ計画は「立てっぱなし」で終わってしまう。</p> <p>「202030」を含め、第4次計画で掲げた目標が達成できなかった理由の分析が必須であるが、本素案はその部分が欠落している。目標が達成できなかった理由の分析は各省庁にとっては楽しい作業ではないだろうが、それなしには計画だけ立てても無意味である。理由を完全に解明することではなく理由を分析する努力を続けることが次の成果につながる。政府のその努力が見えることが、国民の参加を促すことにもつながる。有効性の不明な施策を続けるのではなくより効果的な施策を模索することで効率性の向上にもつながる。</p>

			<p>2、第5次計画においても第4次なみの成果目標を書き込むべきである。達成できないことは恥ずかしいことではなく、常に目標を明確にし続けることが必要である。成果目標を書掲げずに、実現に向かっていくかどうかをどう判断するのか疑問である。</p>
130	男	50代	<p>「指導的地位の女性比率は30%以上に達していないといけないのに、日本はあらゆる分野で『遅れており』このままでは国際的に恥ずかしい」という空気がこの案に流れていますが、男女の性差、得意不得意などは当然あり、一律に女性比率30%以上（あるいは半々）を目指すなどというのは疑問です。この数字に遅れているも進んでいるもありません。</p> <p>「機会」は均等にしなければなりません、結果の数字がどうなるかは、性差ではなく個人差です。差があっても当然です。結果の数字目標は一律にすべきでない（あるいは、分野や内容によって女性比率指標が0~100まで幅広くあるべき）と考えています。</p>
131	団体	団体	<p>計画の基本的な方針に、「これからの男女共同参画に係る課題を、社会全体にとっては、「持続可能かつ国際社会の調和した経済社会の実現に不可欠な、一人一人の尊重、能力発揮、意思決定への参画」として、個人にとっては、「性別にとらわれることなく自らの選択によって長い人生を設計することができる環境の整備」として、2つに要約することができる（8p）」と書かれている。ここに障害のある女性の存在も含まれていると言えるだろうか。障害がある女性が、一人ひとり尊重され、力が発揮でき、意思決定に参画するためには、現状で、様々な壁がある。コロナ禍でもそうした課題がより一層見えてきている。そうした壁を取り除く、制度・政策を本気で進めてもらいたい。障害がある女性の権利の実現こそが、ジェンダー平等の実現につながる鍵となる。</p> <p>そのためには、まず、4次計画の政策評価が不可欠だ。それがいないために、4次計画の文言がそのまま繰り返されている箇所が見られる。障害者に関わる基本的な統計に関するジェンダー統計の整備も、4次計画でも示されながら、この間、進んでこなかった。障害者に関わる統計にジェンダー統計が示されないのは、障害者のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツの権利が保障されていないこととも関わっている。4次計画が実施されている間、旧優生保護法に関する国家賠償請求裁判が起こされ、社会的にも大きなニュースとなった。また、そうした流れを受け、強制不妊手術等の被害者への一時金支給法も作られた。障害をもつ女性たちのセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツの課題は男女共同参画の実現にとって不可欠の課題であり、今回作られる計画には、こうした歴史の振り返りや反省も書き込むべきだ。</p>
132	女	30代	<p>「ジェンダー平等」という言葉を使っていることを評価したいと思います。</p> <p>ジェンダー平等とは何か、 現状では男性優位社会で差別・抑圧されている女性及び性的少数者の権利を拡大することで成し遂げられるものと考えます。</p> <p>つまり女性の地位向上です。</p> <p>女性の給料を男性並みに上げ、女性議員を男性議員並みに増やし、女子児童、生徒が伸び伸びと学び、遊べるように防犯対策を徹底すること。女性と子どもの安全を脅かすポルノ業者に対して厳しく対処していくこともその一環と考えます。</p> <p>しかし今更ながら、「男女共同参画」というネーミングには疑問を持たざるを得ません。</p>

			<p>地方自治体の中にはこのネーミングから内容を誤解し、女性のための施設を男性にも開放している所すらあると聞きます。</p> <p>あくまで女性のために働きかけることがジェンダー平等への道ではないでしょうか。誤解を生む表現はぜひとも改めていただきたい。「ジェンダー平等」と題していただきたい。</p> <p>今「男性のために」すべきことは、先進国にふさわしいジェンダー感覚アップデートのための教育、啓蒙であると考えます。メディアを通して伝わる日本の男性有名人の女性蔑視発言、有名企業の性差別的なCM等には目を覆うばかりです。ぜひ男性向けにはジェンダー平等啓蒙を徹底し、世界に恥じない日本男性を育てていただきたいと思います。</p>
133	女	50代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第5次男女共同参画基本計画の策定を歓迎します。同時に、実効性のある計画になるように、施策の策定時に、数値目標や目標年限が設定されることを期待します。</li> <li>・ 男女共同参画社会基本法を、ジェンダー平等社会基本法に改正し、性的指向・性自認(SOGI)を含む基本計画を策定できるようにして下さい。</li> <li>・ 施策のモニタリング及び評価を、定期的に、行う専門調査会を設置して下さい。</li> <li>・ 基本計画策定のための専門調査会を始め各種専門調査会に、若者が一定数、参加し、若者の考え方が計画に反映されることを期待します。</li> <li>・ 素案のパブコメは歓迎しますが、計画そのものについても、パブコメを募集し、意見を言える場を作って下さい。</li> </ul>
134	男	80代以上	<p>私は現在82歳となり、子供時代の戦争の匂いも残っている身でこれ迄の日々を振り返り、今にして思うことを一言記してみたい。本案の具体的方針についてのわが愚考は省略する。男女共同参画という観点からは其の基本として、この社会は動物としての雌雄の特徴を必要とする場面を除いてはどんな分野場面でも男女半々で構成される機構により運営されるのが当然という”理念”を持つことである。このような”理念”の下にこれからの社会を考えて行くことが大事であろう。そもそも社会或いは各集団の中での女性の数の比を云々という考えや発想は捨てるべきである。数を挙げていては何時迄経っても本当の男女共同参画の日は来ないであろう。数は恣意的に何とでもなるものである。差し当たっての数合わせは現実として一見分かり易いであろうが、”理念”を理解する教育が根幹になければならない。この理念の理解は左程難しいことではない。幼児でも分かることである。私は長年に亘り医学生や医学系専門分野の学生教育に携わったが、学生達の内容に性差はなく、学生各個の違いであるということを改めて認識した。尚、蛇足ながら一点付言するならば、各方面に女性の参加が増せば戦争は起こらなくなるであろうというしばしば人々の口の端に上る幻想は捨てるべきで、平和を保つのはどういう構成であれ性差を問わず個々の人々の思い如何であると知るべきある。</p>
135	女	30代	<p>委員会が男女共同参画に必要なだと認識し(トラックしている)ている指標や統計を全てまとめて公開して欲しい。下落し続けるジェンダーギャップ関連指標を国内でより一層詳細に収集し分析、政策に反映する動きが全く見えない。政府にやる気が無いからであり、メディアコントロールで民意も押さえつける、そんな”正解”がまかり通る社会がこのまま続くことに暗澹たる気分である。国外逃亡するしか幸せへの道筋がない社会に子どもは産みたくない。</p>

136	女	80代以上	<p>1. ジェンダー統計は全ての政策立案及び施策実施の評価の根拠となることを強調します。この徹底によりジェンダー予算に実現も可能になるはずです。</p> <p>2. 本素案ではアンコンシャス・バイアスのみが協調されていますが、個人の差別意識が無意識に形成される背景には社会規範、制度、社会慣習など文化的な仕組みがあります。これまでの基本計画でも制度・社会慣習は柱の一つとして取り上げられましたが、今年のコロナ禍の下、リモート・ワークなど働き方の変化も身近になりつつあります。それでも働き方慣習の変化の影響にはジェンダー・ギャップが出てきました。個人の意識改革だけでは根幹は変わりません。アンコンシャス・バイアスと共に制度的変革の側面を両輪として強調すべきだと思います。</p> <p>3. コロナ禍の影響にジェンダー・ギャップがあることは世界的に検証されつつあるので、少なくともジェンダー統計をきっちり取り、開示することを計画の中に位置づけることを提案します。災害同様、パンデミックも中長期的影響を個人の人生に与える事象ですので、保健・健康分野に閉じ込めることなく、職業など他の分野との関係も含め、ケア・ジェンダーとケア・ワークを事実に基づき検証していくことはグローバル課題として多方面で共有されると思われます。</p>
137	女	50代	<p>○2020年までに指導的地位に女性が占める割合が少なくとも30%にという目標が達成できなかったことについて、社会全体で十分共有されなかったとされていますが、問題はそこにあるのでしょうか、「なぜ目標達成できなかったのか」という自己検討を求めます。</p> <p>○共働き家庭が約7割といわれる中でも、まだまだ性別役割分業の意識が根強いもと、家事・子育て・介護などの負担が女性に重くのしかかっています。男女ともに仕事と家庭生活を両立できるよう労働時間短縮など実効ある法整備を求めます。</p> <p>○コロナ対策もジェンダー視点に基づいてすすめてください。</p> <p>○選択的夫婦別姓を認める民法改正など、女性の権利を国際水準に見合うようにひきあげてください。</p>
138	—	30代	<p>全体を通して、多様な性に関する視点がかかなり少ないように思われます。</p> <p>この素案はいわゆる「女性」（法律上の性別・身体的性別が女性で、異性愛である人）の事が中心になっており、もちろんそれもととも重要ですが、トランスジェンダー女性や、レズビアン女性などがあることも忘れてはいけません。</p> <p>多様な女性、あるいは多様な人々がそのまま尊重されることは、典型的な女性や男性、そしてすべての人が生きやすい社会につながるでしょう。</p> <p>何かの計画を策定するとき、トランスジェンダーにとってはどう見えるか、同性愛者や無性愛者など、婚姻ができない人や婚姻を必要としない人にはどう映るか、という視点を持つことが重要かと思えます。ですので、この計画も、その視点をもって見直すことで、よりよい内容となるかと思えます。</p>
139	女	30代	<p>具体的な施策を見ると、全体的にリーフレットでの啓蒙や相談窓口の設置多いように見えました。</p> <p>社会全体を啓蒙し当事者を相談窓口でサポートすることは重要ではありますが、対象者が自</p>

				<p>主的に利用する施策になっていては展開に時間がかかりすぎるように思います。</p> <p>現在のように世界的に出遅れている状況では、罰則も含めたクォータ制などでの法整備や業界団体による自主規制促進にもっと取り組んでいただきたいです。</p>
140	女	30代	117	<p>以下の文章自体が男女共同参画に反しているように思います。</p> <p>「また、シルバー人材センター事業において、女性にも馴染みやすい介護、育児等の現役世代を支える分野や、サービス業等の人手不足分野の就業機会を拡大する取組を実施。（厚生労働省）」</p> <p>「女性にも馴染みやすい介護」と女性に限定した記述にする必要性が理解できませんでした。</p> <p>厚生労働省の認識不足が露呈しているため、その認識を是正しその報告を求めます。</p>
141	女	60代	1	<p>全体に関わること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的な共通語 gender equality に日本語訳として、一括してジェンダー平等を使うべきだと考えます。男女共同参画や女性活躍という言葉は今後使うべきではないです。</li> </ul> <p>女性活躍推進法で使う女性活躍という言葉自体が女性差別を温存しつつ、女性に対して突然おだてているような印象がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性差別撤廃条約を遵守し、国民にもっと広報して知らせるべきです。政府は知らせる役割を長年怠けているように見えます。</li> <li>・女性差別撤廃条約の選択議定書を早急に批准すべきです。</li> </ul>
142	—	20代		<p>セクシュアルマイノリティについての記載が少なすぎると感じます。</p> <p>同性パートナーシップのことは男女共同参画の視点で全国で取り組みが始まっていますのでその点も言及して欲しい。</p>
143	女	20代		<p>この度の男女共同参画基本計画策定について、反対意見も多く寄せられると聞いたので、応援する気持ちをこめてご意見を申し上げることにしました。</p> <p>私は、女性が「女性である」ことを理由に不利益をうけることのない社会を作りたいです。私は今までの人生で、女性が女性であることが原因で自分の行動を制限したり、暴力をうけたりする姿をたくさん見てきましたし、自分でも経験してきました。</p> <p>駅で制服姿の私を確認してわざとぶつかってくる人もいましたし、レストランで暴言を浴びせてくるおじさんもいました。彼らは相手を見てやっています。大学の男友達がみんな居酒屋やバーで友達と楽しくすごしているのに、私がそれを友達としようとしたら変な大人の男性に声をかけられて怖い思いをし、二度と女だけで夜で歩いたりしないようになりました。高校では校長先生から「スカートが短いから痴漢されるんだ」と言われ、まるで自分が悪いんだという気持ちにさせられました。それ以降は好きな服で街を歩けなくなりました。私が所属していた大学の部活では、40年以上の歴史があるにも関わらずいまだかつて一度も女性が部長になったことはありません。ツイッターでも、ツイートしているのが女だとわかると説教してきたり誹謗中傷をあびせてくる人がいます。</p> <p>これらはみんな、私が女性であるということだけが原因で起こったものです。なぜ性別で行動を制限されたり、いやな思いをしたり、暴力を受けたりしなければならないのでしょうか</p>

			<p>か。これは、しょうがないことなんでしょうか。</p> <p>私は全くそうは思いません。社会はもっと良くなるといえます。女性が女性であっても損することはない社会を私たちはつくるべきです。なぜなら、それは女性の権利を守るからだからです。いわゆるフェミニズムのような活動を、女性がもっと「輝く」ためにやっていることだと思っている人もいますが、これは贅沢でもなんでもなく、人権という基本的な権利を主張しているだけの活動です。</p> <p>ですから、この度の男女共同参画基本計画についても、私は当然やるべきことだと思っています。私はこれから社会に出て働きますが、セクハラも差別も受けず、自分らしく働いてやりたいことをきちんと達成することはできるのでしょうか。私や、私と同じ女性のみなさんの未来をどうか守ってください。</p>
144	女	30代	<p>○そもそも男女共同参画基本計画という名称、基本方針を見ても男女、男女と記載がある。男性を前に記載する名称からして男性先導である印象を与える。両性、性差別撤廃、女性差別の根絶など、男性メインでない単語を使用すべきである。○非常時の避難所の女性保護。女性、子供専用のスペースを作る、プライバシーが保てる広さとテントや仕切りなどの環境を確保する。性犯罪の二次被害を防ぐための警備スタッフ、専門知識を持つ相談スタッフを配置する。○男性の育休について、取得率のみでなく、期間や質についても調査し、質の充実も目標値を設定するべきである。男性の妊娠出産への理解、新生児期からの育児参加のために、幼少期からの性教育を充実させ、生命の誕生の母体へのリスク、命がけの出産、女性のホルモンバランスの仕組みの複雑さと月経に伴う困難さ、新生児を育てる尊さや大変さを命の大切さと共に教育すべきである。これらの教育は産前、産後の育児参加のみならず、月経の大変さを抱えて仕事をする女性への社会的な理解をも助けることとなり、平等な働き方にも繋がる。</p>
145	女	60代	<p>とりまとめの大変な作業に携わられたみなさんのご苦勞とご尽力に敬意を表します</p> <p>ご関係各位のご苦勞をしのびつつ、次の点について、ご検討いただけますと幸いです</p> <p>素案においても 成果目標の現状を仮情報で掲載していただきたい</p> <p>今回、2019年11月開催の調査会の配布資料から情報を抜き出して参照したが、過去5年間の最新結果は仮（何年時点の情報など）でも構わないので掲載することが望ましい</p>
146	女	30代	<p>子どもを大切に育むために、周囲の愛情を子どもを育てる大人が感じていることが大切ではないかと考えています。</p>
147	女	60代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画が世界から見て遅れてしまっていることの記述はあるが、原因、理由について分析した結果は書かれていない。</li> <li>・第4次基本計画の総括がなされていない。</li> <li>・202030が達成できなかったことについての分析が不十分（分析した結果、こういうことが原因。なので、具体的な取り組み等が明示されていない）。</li> <li>・意識を変えようとするのではなく、あらゆる分野に女性が30%以上参画する景色を目の当たりにして、初めて意識が変わるのである（景色を変えて、意識を変える）。法的な強制力</li> </ul>

			なくして体制が変わることは難しい。先進国がしたように、議員、国および地方自治体職員、大企業でのクォータ制の導入等、具体的な法整備に踏み込んでほしい。
148	女	30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性差による採用の可否、賃金の格差をなくして欲しい</li> <li>・ ジェンダー平等に関する教育の業務化</li> <li>・ 緊急避妊薬が薬局、ドラッグストアで購入できる</li> <li>・ 避妊法の拡充（埋め込み式、シールなどの認可）</li> <li>・ 性犯罪者が教職等に就かない</li> <li>・ 避難所での生理用品等の確実な分配、授乳場所の確保、レイプなどの性犯罪の防止</li> </ul>
149	男	30代	<p>「男女共同参画」と言いつつ、男性を無視した表現が多く見られるのが気にかかります。例えば76ページ『（2）具体的な取組』アの「働きたい女性が就業調整を意識しなくて済む仕組み等を～」という記述。</p> <p>それから、83ページ『メディア分野等と連携した積極的な情報発信』の「女性の人権を尊重した表現の推進をはじめ～」という記述など。</p> <p>これらの記述の「女性」という部分は、すべて「男女」に置き換えるべき箇所です。</p> <p>「偏見・固定観念は女性にも男性にもある」と書いている部分があるにもかかわらず、全体的には「女性さえ尊重されればそれでいい」とでも言いたげな記述があまりにも目立ちすぎています。これでは男性からの共感は得られません。早急に書き直していただきたい。</p>
150	女	50代	<p>この「素案」においては、第4次男女共同参画基本計画（以下「現行計画」）の達成状況についての「評価」が行われていません。これまで、男女共同参画基本計画の履行状況については、2001年に「男女共同参画会議における監視の実施方針」が決定され、当初「苦情処理・監視専門調査会」が監視の任務を担い、数次にわたり報告を行っています。その後も男女共同参画会議は監視活動を続け、2008年、2次計画から2年を経過した時点で行われたフォローアップ結果についても意見を決定しています。3次計画の策定時には、早い時期からフォローアップ作業を行い、「基本的考え方」では、第1部のIIIにおいて「基本法施行後10年間の反省」を述べ、各分野の冒頭では、「これまでの施策の効果と、『男性にとっての男女共同参画』が十分に進まなかった理由」（第3分野）といったかたちで、施行後10年に相応しく、過去を振り返りながら、政策を前進させようとししました。現行計画策定時も、「基本的考え方」には、「達成状況」に「＜評価と問題点＞」がつけられていました。そうしたことからするならば、「評価」を書かない今回の素案から策定される次期計画は、「過去を最も振り返らない、反省に基づかない非論理的な計画」となることは明らかです。今からでも遅くありません。「達成状況」に対する「＜評価と問題点＞」を記し、反省に基づいた計画策定を行うことを求めます。</p>
151	女	50代	<p>今回の「素案」では、現行計画に置かれていた第1分野「男性中心型雇用慣行等の変革と女性の活躍」が丸ごと削除されています。この計画にも様々な問題はありますが、この第1分野は、＜基本的考え方＞の末尾で、「このように、男性中心型労働慣行等を見直すことによって、女性の活躍を推進していくことを目指す」と述べ、「女性の活躍」の障害となっているのは「男性中心型労働慣行等」であることを明示し、強いメッセージを発信していたと思います。このことは、昨年12月に改定された女性活躍推進法の基本方針にも、記述され続けています（「長時間労働を前提とした現在の働き方は、家事・育児等の家庭生活を営みつ</p>

			<p>つ、職業生活において評価され活躍することを困難にするものであり、結果として、女性に職業生活か家庭生活かの二者択一を迫る大きな原因となっている」p.6)。男女共同参画社会基本法4条は、「社会における制度又は慣行についての配慮」を言っていますが、「勤続年数を重視しがちな年功的な処遇の下、長時間勤務や転勤が当然とされている男性中心の働き方等を前提とする労働慣行」としての「男性中心型労働慣行」（現行計画 p.6）は、「性別による固定的な役割分担等を反映して、男女の社会における活動の選択に対して中立でない影響を及ぼすことにより、男女共同参画社会の形成を阻害する要因」となっている慣行なのであり、これを名指しし、変革を求めるこのタイトル、分野は、放棄されるべきではなく、再び、世帯単位の税制や社会保障制度をも含めて、明確にその「変革」を主張し、担当府省にそれを指示するものとなるべきと考えます。</p>
152	女	60代	<p>202030が実現できなかった原因は何か。真剣に議論すべきであり、政府の本気度が足らなかったことは大いに反省すべき点です。今回の資料には、これまでの政策の羅列だけで評価が出ていないのは問題であると思う。</p> <p>1995年の北京会議以降、各国はクォータ制などのポジティブ・アクションを導入して、政治分野における男女平等を実現してきた。日本においてそれをやらなかったことが現在の状況を招いていると思う。夫婦別姓は実現せず、税制における専業主婦優遇策は、女性が自立して働くことを阻んでいるし、いつまでこういった制度を温存していくのか。</p> <p>もっとしっかりと政府として、政治分野における男女平等を実現するためのクォータ制の実施と、民法の見直し・税制の見直しを行うと宣言するような第5次の計画にすべきである。</p>
153	女	50代	<p>男女共同参画基本計画は人類社会全体で進めているジェンダー平等をめざす社会改革の一環であり、日本政府も批准している女性差別撤廃条約や1995年の北京会議綱領を基盤としている。にもかかわらず、本素案には女性差別撤廃条約への言及がほとんどなく、かろうじて第11分野に言及されているにすぎない。計画全体が女性差別撤廃条約に基づく女性差別撤廃委員会の総括所見（2016年）への応答を織り込まれている必要がある。そうであってこそ、進むべき方向のガイドラインと進捗状況の確認を行うことができる。</p> <p>なお、同条約の外務省訳は「女子差別撤廃条約」であるが、いまだに「女子」の名称を公的文書に使うのは時代錯誤というほかない。条約の訳文もすべて「女子」「男子」となっている。「子」は未成年に対して使うならともかく、政府の公的文書で成人も含めて「子」を用いるのは、国民は政府の庇護のもとにあり、政府による施策は国民に対して「恩恵」として与えられるものというニュアンスをもっている。女性差別撤廃条約だけでなくあらゆる公的文書や条約の訳文を精査して、「女子」「男子」という言葉を「女性」「男性」と変更すべきである。</p>
154	女	40代	<p>まだまだ女性は差別を受けています。</p> <p>最近は見えなくなっていますし、女性の中での格差もあります。また育児を経験した女性だけが女性というみなされ方をしており、子なし、未婚は女性として見てもらえません。</p> <p>女性の参画が進むことで、育児期女性の声だけでなく、様々な境遇の女性たちの声が施策に反映されることを願います。</p> <p>ひいては障害者や外国人、高齢者の声も反映されることになると思います。</p>

155	女	20代	男女という区切りだけでなく幅広く様々なジェンダー、性的指向を考慮してほしい
156	団体	団体	<p>(1) 国連の CEDAW を、「女子差別撤廃条約」と訳されていますが、多くの女性団体が意図的に変えて使っているように、「女性差別撤廃条約」の訳を公式なものとしてください。</p> <p>(2) 婦人保護施設、婦人相談所、婦人相談員など、公的な名称に「婦人」が残っているものに関して、「女性」に変更していただきたいと願います。（多くの地方のセンターや国立 NVEC も「女性」に変更したので、理由について改めて書く必要はないと思い、割愛します。</p>
157	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女子力というと、家事全般を完璧にこなせて、美しい見た目、大人しくしている様子を指すが、キャッチーな言葉で女の人の生き方を縛りつけていると思う。</li> <li>女の人が家事ができず、器量が悪く、主体的だと、否定をされる。</li> <li>女子力という言葉を持ち上げているのはメディアが主だと思うが、国として、「女性だからといってこうあるべきだ」という考えはおかしい」と声明を出してほしい。</li> <li>・女性であるだけで、生きることに金がかかる。</li> <li>化粧や脱毛をしていないと人間として扱われず、生理は毎月来るのでナプキンや鎮痛剤を買い、生理や PMS がひどい人は高いピルなどを買い…</li> <li>化粧・脱毛に関しては、しなくても人間扱いされたい。</li> <li>生理・PMS にかかる費用は、生物学的に女性ならば誰も出費するので保険などで国がいくらか持って欲しい。</li> <li>特にナプキンに関しては、生理の血は出したくて出しているわけではないので、もっと安く買えるようにしてほしい。</li> <li>トイレトペーパーなどと同じように。</li> <li>・男女で賃金の差があることは、絶対に根絶してほしい。</li> <li>女性というだけで、男性の何倍も頑張らないといけないのは納得いかない。</li> <li>・子育て＝女はおかしい。</li> <li>・政府の人は全員フェミニズムを正しく学ぶべき。失言や女性蔑視などをした人は即引き摺り下ろされるべき。</li> <li>・女性のことを決めるときは女性が過半数いるべき。</li> <li>・「女性の活躍応援！」みたいなときに安直にピンク色ばかり使うのは全く分かっていない。女性＝●●という考えは捨ててほしい。女性は男性と同じ人間です。</li> <li>・女性の権利を主張している人を 1 人にしないで欲しい。</li> </ul> <p>その人だけを矢面に立たせることは絶対しないでほしい。国として、寄り添ってほしい。</p>
158	女	60代	<p>このたびの第 5 次男女共同参画基本計画に向けての素案は全く不十分であり、憤りと遺憾の念を表明いたします。</p> <p>第 4 次男女共同参画基本計画の総括では、日本の立ち遅れが記載されているだけで、立ち遅れた原因・理由についての記載がありません。</p> <p>第 4 次では「指導的地位に女性が占める割合を 30%程度とする」と、衆参議員の候補者の女性割合を 2020 年までに 30%とする目標（「202030」）などの記載があります。しかし、この目標を含め、あらゆる分野において「202030」が達成できなかった原因・理由について何ら示されていません。</p>

			<p>男女共同参画政策を遂行する第一義的責務は、政府にあります。政府が、過去の政策を総括して、未達成政策の原因を明らかにしたうえで、原因除去のためにはこうするという具体策がなければ、次の計画を策定しても、また計画倒れに陥るだけでしょう。</p> <p>本年3月、国連女性差別撤廃委員会は、日本政府への「第9回日本定期報告への事前質問事項」において、para.7「男女間の事実上の平等を加速するために第4次男女共同参画基本計画において設定された数値目標の影響と成果に関する情報」「条約第4条第1項及び委員会の暫定的特別措置に関する一般勧告第25号（2004）に従い、法令によるクオータ制を採用する取り組み」「第5次男女共同参画基本計画において女性の地位向上に特定して設定された目標と指標について詳しく」と、求めています。</p> <p>同委員会は、日本政府に、過去何回かにわたって同様の要求をしてきたが、素案には、これに対する政府の積極的な対応策は見えません。これでは、35年前に日本が批准した女性差別撤廃条約の遂行責務を、同条約推進の主たる責務を負う政府自らが怠っているとしか表現しようがありません。</p> <p>世界標準となっている「2030年までに50%」という目標を明確にし、それを実現するための具体的な計画とすべきです。</p>
159	団体	0	<p>男女共同参画社会の実現については、当然目指すべき方向であり、理念には強く賛同する。しかしながら、「男女共同参画」という理念に対しては、さらに上位におかれなくてはならない理念（一例として平和、平等、基本的人権など）が存在し、それらと調和し、他の権利と競合する場合には、合理的かつ平等な解決をうながすものでなくてはならない。あいまいな箇所や歪曲して解釈される余地が存在することで、一方的に「男女共同参画社会の実現」のみが重視されるような状態であってはならない。</p>
160	女	40代	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本におけるジェンダー不平等の現状について、国際基準のジェンダーギャップ指数が、安倍政権の「女性が輝く」などの政策にもかかわらず年々下がり続けていることへの分析が見当たりませんので、加えてください。</li> <li>●「女性差別撤廃条約」実施を監視するための「女性差別撤廃条約専門調査会」を設置すべきだと思いますが、それに関する記載が見当たりませんでした。</li> <li>●女性への人権侵害に対して、独立した人権救済機関の設置の検討をお願いします。</li> <li>●女性差別撤廃条約選択議定書の批准をお願いします。</li> </ul>
161	女	60代	85 <p>CEDAWの日本語訳を、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」「女子差別撤廃条約」から「女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」「女性差別撤廃条約」に早く変えるべきだと思います。「女子」という用語が現在、女性一般を指す時に使わないのは、この素案を読み返しても明らかです。女子学生という言葉と条約名、条約機関名くらいしか「女子」が出てきません。現在、「女子」ということが表す語感「まだ大人になってない女性」だと言えます。</p>
162	男	20代	<p>男女共同参画社会は当然実現させるべきであり、理念に対して異議はありません。しかし、それらの理念と社会の実現には平和、平等、基本的人権など、更に上位に置かれなければならない理念が存在することを理解していただくこと、更にそれを理解いただいたう</p>

			<p>えで他の権利との衝突があった場合にも合理的かつ平等な形で物事の解決を促せるように、調和、構成していくことが必要であることをご理解いただきたく存じます。</p> <p>また、行政が男女共同参画社会の実現に向けて取り組むにしても、行政という立場上、民間の取り組みに対して行政が過度に干渉するようなことはあってはならない、憲法及び社会に対しても弊害が大きいことから、安易な行政の介入を絶対に避けるべきであり行政の立場から何を行う必要があるか、何を行うことを避けるかを冷静に見極めたうえで実現に向けて取り組んでいただくことを強く要望します。</p> <p>曖昧な箇所や歪曲して解釈される余地、大まかすぎる定義が存在することによって一方的に「男女共同参画社会の実現」のみが重要視されるような状態ではあってはなりません。</p> <p>形だけの実現を意味してしまい、真の問題解決には繋がらないようなことにならないためにも、その点についてもきちんとご理解いただく必要があります。</p> <p>計画案内では女性の人権を守ることを中心とした内容になっているように、女性が現在の社会において不利があり、不当に扱われたり何かしらの被害を受けたりなどの問題が多く発生していることを深刻視なされていることを伺えます。</p> <p>一方でパターンやケースこそ違えど不遇な状況に置かれている状態にある男性が存在することも少なくありません。</p> <p>男女共同参画社会の実現を目指すからこそ、男性が抱えている問題、女性が抱えている問題、男女が共通で抱えている問題、それぞれの問題を把握したうえで問題の解決となる計画案となるように議論を重ねて構成していただきたく思います。</p>
163	女	40代 129	<p>129 ページ以降は第4次計画の成果目標が掲載されている。4次計画の成果目標の中には、政府の政策方針と合致しない低すぎる成果目標値がかえって足を引っ張ったものや、進捗管理や結果評価に最も役立つ成果指標が選ばれていないものもいくつかある。たとえば「国家公務員採用総合職試験からの採用者に占める女性の割合」は、計画策定時の値が34.3%だったのに成果目標値が202030を目指す政府にふさわしくない低い水準の「30%以上（毎年）」だったため、5年で1ポイント程度しか伸びず、国家公務員の各役職段階の女性割合の目標達成がさらに遠ざかる結果を招いた。また、「週労働時間60時間以上の雇用者の割合」は男女計5%が5次計画の成果目標値だったが、この割合は男女差が大きく、雇用者の女性割合が高まれば何もしなくても改善してしまうため、男女共同参画の取組の成果指標としては適切でない。男女計ではなく、このような長時間労働をする男性雇用者の割合についての成果目標値を定めれば、計画の進捗管理や結果評価をより適切に進められるはずである。</p> <p>このように、低すぎる成果目標値や、最善のものではない成果目標の内容となっていないか、5次計画作成にあたり再点検を行い、男女共同参画の加速という目的により適した水準の、最も役立つ成果目標（値）のもとで、5次計画を進めていけるようにしてほしい。</p>
164	女	20代	<p>今まで日本社会では、女性に男性と同じ待遇を与えること、子育てをしやすい社会にすることに注力されてきたように思います。</p> <p>しかし、全ての女性が子供や結婚を望むわけでもなく、同じ待遇が用意されてもそこまで辿り着く道が用意されていないことも多々あります。</p>

			<p>私たちに人生を選ぶ権利と、同じ地位をください。私一人では何も変えられないから、国が変えてください。私たちに希望を与えてほしいです。</p>
165	女	50代	<p>長年、男女共同参画に関心があり、意識してきた。しかしながら、常に微かな違和感があった。それは、目立った行動や、金銭に換算されるものだけが評価される、という根底にある発想である。</p> <p>女性もその価値で評価される土俵、往々にして男性生理に適合した競争原理の世界であるが、そこに上がらなければ、無価値であるので、参入させよというところに違和感があったようだ。</p> <p>目に見えないものの代表である教育ですら、分かりやすい点数で表しやすいものだけに重点をおいている。</p> <p>しかしながら、人の生きる力を支えるのは、まず見えない自己肯定感であり、レジリエンスである。心理学界、教育学界では危機感をもって、その増進に取り組んでいる。それは、幼児期の人間関係に大きく影響される。女性の役割は見えないが重大であり、それに気がついた先人は、国づくりのために、女子の教育機関を多く設立した。</p> <p>昨今の新型コロナウイルス災禍で認識できたのだから、目に見えていた価値が崩れる時、人を支えるのは、見えない人間力である。</p> <p>人を育む力を高く評価し、体現する価値観を、今の表面的な価値観に替えて、まずは目立って社会的影響力のある男性、男子に教育し、見えない世界を担当している人材(いまのところ主に女性)が、評価され快活に生活できる環境を整えていただきたい。</p>
166	—	30代	<p>資料の作成に携わった方々、お疲れ様でした。</p> <p>すでに2020年ですが、とっくに気付かれてそして改善されて然るべき問題、人間として最低限であろう事がまだ、こんなにも残されているんだと愕然としました。</p> <p>“女性”が存在しなかった頃などないのに。また、現在この国を挙げて推し進められている“自己責任”(というなんとも恥ずべき“責任逃れ”)によって、“女性”であるという人生ひとつひとつが歪められて良いはずがないというのに。</p> <p>こちらの資料に挙げられたすべての問題、また、「性的少数者やあらゆる出自の者がそれに関わらず生きていける仕組みを整えることは、やがて女性の生きやすさにも繋がる」という点(ここでは前後関係が逆なのではとも思いますが)から目を逸らす隙を一切持たず取り組み続けることでしか、積年の汚泥は払えないと思います。</p> <p>すべてが問題だしすべてを解決すべきです。</p>
167	女	70代	<p>世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数をみてもわかるように、日本の男女平等への取り組みが非常に遅れています。</p> <p>未だに、社会的立場にある男性や国会議員の中にある「女に何ができる。女は前に出ず、男を支えていくべき」という意識の改革がなされなければなりません。</p> <p>女性の人権を尊重し、あらゆる場面で男女が共に協力し、尊重しあえるよう、第5次男女共同参画基本計画の策定を期待します。</p>

168	女	70代	<p>日本は男女平等の取組がまだまだ遅れています。</p> <p>毎年発表される世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数にはっきりと表れています。政治家や社会の中で指導的立場にある人たちの意識がまず変革されなければならないと思います。</p> <p>家庭において、職場において、地域において男女が共に協力し合い尊重しあえるものになるよう第5次男女共同参画基本計画の策定を期待します。</p>
169	団体	団体	<p>第5次男女共同参画基本計画案が取り組まれますが、何年か経ても女性管理職人数が達成されないのと同じで計画倒れになっていることが多い。計画と実際とのすり合わせ、実行できるように政府自らが男女平等の責任を持って進めてほしい。</p>
170	女	60代	<p>日本というより東アジア圏で儒教思想が長い年月にわたって行き渡った地域では、男女平等施策がなかなか進んでいかない現状があると思います。</p> <p>私自身も60才を過ぎる今まで、男女各々の役割とか、まず家庭を第一にということで毎日過ごしてきた感があります。</p> <p>「もっと社会全体を」という意識を持つようになったのはつい最近のことです。女性にはそういう人が多いのではないのでしょうか？</p> <p>男性の意識はもとより、そういった私のようなものがまず率先して自覚ある行動をとっていくことが肝要であると考えます。</p>
171	団体	80代以上	<p>色々な生活場面で、“女”であることでダメだしされる。夫の名前だとOKのことが多い。女性の人権は低い。</p>
172	団体	団体	<p>この基本計画の書きぶりでは20年一日全身が見えない。なぜ17年経っても「202030」が実現できなかったのかの原因をはっきりすべきである。</p> <p>そのためには明確な施策が必要であり、目標とタイムラインが必要。</p> <p>実施状況の監視体制を強化することが大事。</p> <p>政府の本気度が問われている。このままではジェンダーギャップ指数は下がるばかりである。</p>
173	女	70代	<p>・第1分野の「男性中心型労働慣行等の変革と女性活躍」が消去されたのは、なぜか？</p> <p>①長時間労働の削減等の働き型改革 ②家事・育児・介護等への男性の参画の環境整備 ③男女共同参画に関する男性の理解促進 ④ポジティブ・アクションの推進等による男女間格差の是正等は、ほとんど解消されていない中で消去すべきでない。</p>
174	女	70代	<p>「第5次男女共同参画基本計画策定にあたっての基本的な考え方」に示されている基本的な方針、社会情勢の現状及び課題等実に微に入り細に入り、丁寧にまとめていただきました。</p> <p>○意見というより感想や思いを羅列してみました。</p> <p>I あらゆる分野における女性の参画拡大</p> <p>①男女共同参画社会は男と女という性に限られたことではなく、すべてのジェンダーが平等であり、個の意志を尊重する社会と考える。今後も男女でいいのか、他にいい表現はないかと考える。</p> <p>③結婚したくても結婚できない若者が多くなっている。経済的問題、介護、さらに女性とのコミュニケーションを図ることに不安が伴うためなどと結婚できない理由を聞く。</p>

175	団体	団体	内容が多すぎて全部読むことは困難です。もっとわかり易い文言で提案して下さい。
176	団体	団体	既存の価値観や慣習に囚われず、男女共にその人にとって最適な選択が当たり前に行える社会を求めます
177	団体	団体	全ての政策に言えることですが、目標を定めたならきちんと実行して、目標達成できなかったならその理由を分析して次にお役に立て頂きたいです。
178	団体	団体	結婚する/しないを選べる社会にしてください。どんな選択も尊重される社会になることを望みます。男の仕事女の仕事なんてないはずだからどんな仕事も好きなように選べるようになってほしいと思います。誰もが性別を選んで生まれてきているわけじゃないのだし、性自認が途中で変わってもいいのです。家事はみんながやるもの。男だから家事ができないのじゃないしないだけ。性別関係なくみんなが協力して仕事をして効率上げてそれぞれの時間を増やしたらいいのと思っています。
179	団体	団体	結婚=子供、子孫を残すという考えの見直し、長男の家督制度や主婦などジェンダーで様々な役割や押し付けをせずさまざまな家族の関係性を受け入れ、認めてくれる社会になることを望みます。
180	団体	団体	男女共同参画社会基本法が出来た背景は分かっているのですが、どうしても意識が「男」と「女」に向いていて、男にも女にもなりきれない(なれない、なりたくない、もしくは認識されない)わたしたちが阻害されているような気がします。未だ法律によって改善されていない部分を改善するために改正をするのでしょうから、せめてジェンダーに男や女と名前をつけられない人達への配慮も条文に記載していただきたいです。法律に男女とあるのは男と女以外の性別に和名がないからと納得できますが、多様化が求められる社会だからこそ目に見える形(条文など)で自分の生と多様化を感じたいです。どうかよろしくお願いします。
181	団体	団体	女性も自由に働ける社会にしてくれた先輩たちに感謝する一方で、働き出してから想像以上にハラスメントって身近だと感じます。上の世代の人たちを尊敬すると共に、意識が全然アップデートできてなくて絶望することもたくさん。「昔はこんなこと普通に言えたのに」「今はなんでもセクハラ/パワハラになる」「窮屈な時代だ」何度も何度も何度も聞きました。これからはどんどんそんな時代になっていくので、ついていけない皆さまはいつでもドロップアウトしていただいて構わない。女性が仕事一筋で何が悪いのだろう。男性が主夫をしているご夫婦だって素敵じゃない。自分の好きな人が自分を好きで、お互いが一緒になりたいなら結婚だってしていい！自分が好きなように生きるだけなのに周りにとやかく言われる必要性なんて全く感じない！意識もちろん制度も早くついてきてください。「男らしく」「女らしく」から「自分らしく」生きることができる日本に。
182	団体	団体	どんな選択も尊重される社会にしてください。将来は結婚して子供産まなきゃいけないと言われるのはもう嫌です
183	団体	団体	政府関係者の方々にもっと性の多様性を知っていただきたいです。少し前ですが、「LGBTは生産性がない」などの発言を報道で耳にしたとき、その方は国民の代表であるのにまだ女性を生殖器の器だと思っているのかと絶句しました。(生産性が?などと言う癖に晩婚化など“の生産性”に繋がりそうなことになんのアプローチも職場改善もしなくて何を言うのだと。)国民から選ばれている代表であるのに多様性を認められなくてどうするのかと思いました。海外からの渡航者を受け入れることや他の国の文化との融合だけが多様性ではありません

			せんから、代表である政府関係者の方々から性の多様性への理解(許容)を国民に示していただきたいです。また、性の多様性について学校(出来れば小学校)でもっと触れて欲しいです。小学校では性への教育、中学校では同和教育と言った具合にさせていただいて...性別はたくさんあって、自分を見つめるきっかけになるのだよということに若いうちから気づいてもらえると、悩む人も減るのかなと思います。全てを実施していただけたらいいとは思っていないのでせめて差別的発言を人前では控えるような社会にさせていただきたいです。
184	団体	団体	結婚出産するしないを選べる社会になってほしいです。しない方を選択する方が辛い思いをしないよう、どんな選択も尊重される社会になってほしいです。
185	団体	団体	性別に縛られるのは、もうやめませんか。私は体の性別は女性、心の性別は両方です。スカートをはきます。ネクタイを締めます。ロングヘアを編み込みます。一人称は「俺」です。性別に縛られるのは、もうやめませんか。好きな格好を、当たり前のようにできる。自分の人生を好きで満たすには、抑圧が多すぎる。そんな抑圧は、私たちの代で終わらせます。
186	団体	団体	性別にとらわれない選択肢が増えて欲しい。性差による適材適所の違いはあるかもしれないけれど、挑戦の機会すら得られないということもなくして欲しいです。
187	団体	団体	性教育や性被害、避妊に関しても「女性側の責任」と社会的に見なされることが多く、「女性が泣き寝入りしななければならない」ことが根強く残っている社会がとても生きづらいです。もちろん徐々に男尊女卑の傾向や様々なハラスメントなどが問題視されるようになってきて改善されてきています。しかし、潜在的に「女性は性的に見られることが多い」という社会の風潮や、「女性が泣き寝入りするしかない社会」、家事や育児は「女性が担う」ことがまだまだ中心となっている社会、結婚や出産が1つの社会的なステータスとなっている風潮(男女ともに)、性による結婚の自由の制限、女性参画といっても男女で賃金格差がある現状など、日常の至る所で感じている社会の風潮や力によって、未来に対する希望が持てず不安と諦めの気持ちしか持っていない自分がいます。「昔はこうだった」ではなく、変わりゆく時代に沿いながら、「誰もが生きやすい社会」を実現するためにより動いていってほしいです。私たち若者も学んでいます。問題意識を持ちながら疑問を持ちながら生きづらさを抱えながら必死に生きています。若者だから、大人だから、子供だから、ではなく、誰もが対等に、生きやすい社会を作っていきたいです、この社会全体で。一部の人ではなく。そのためには、上辺だけの改革や政策だけではなく、現場の視点から当事者の視点から考え試行錯誤を重ね、多くの人と協力し合いながら動いていくことが必要だと思っています。自らそうした活動をしていたり発信していたりする若者も多いです。どうか、政界の皆さまも、一丸となって取り組んでください。お願いします。様々な業務で多忙なことは承知していますし、様々な人の立場等でそう簡単に動けないことも承知しているつもりですが、一番伝えたいことは【現場の視点・当事者の視点】から出発してほしいということです。
188	団体	団体	「女の子は将来困らないように資格職に就く方が良い」。よく聞くけどそれっておかしくないですか？なぜ女に生まれただけで将来の選択肢を狭められなければならないのでしょうか？性別で制限されることなく自分のやりたい仕事に就いて、それで十分に生活が成り立つような社会になってほしい。
189	団体	団体	男女共同参画の男女って誰ですか？教えてください。二元論的な考え方を廃止してください。

190	団体	団体	個人の選択が尊重される社会になることを求めます。結婚・妊娠・出産、義務ですか。
191	団体	団体	子供の頃から思っていました、そもそも男だから、女だからと行動を制限したり、ダブルスタンダードで、男がやるといいけど女がやる批判されたりとか、差別する事がおかしい。個人が個人らしく生きられる社会になればいいと思います。例えば、配送ドライバーの募集で「50キロの荷物を運べる人」と条件をつけ、応募したい人が、男でも女でも条件を満たせば採用する。そういう簡単な事だと思います。女も男と同じ権利が欲しかったら男と同じ事しろ(例えば力仕事)とか、そういう事ではありません。競争とか力比べではなく、その人らしく生きられる世界、性差別による足かせを付けないという事。
192	団体	団体	男女二元論で語られている旨は変更できないものなのでは。「男性も女性も」と明記しているところもあれば「あらゆる性別の人が」「すべての人が」といった明記もある。前者はトランスジェンダー等のセクシュアルマイノリティを含めない表現に当たると思うが、後者は含まれると考えます。この差は何でしょうか。
193	団体	団体	努力目標が多く、従来通りの変化スピードでは目標は達成できず、他の先進国あるいは急進・発展途上国よりも遅れた状況になるのではないではないでしょうか。
194	団体	団体	決める側の人々がジェンダーの問題に理解がなかったりすると今若い世代と呼ばれる私達の世代が決める側になる時代までにならないと解決しないのかなと思います。歳と残された時間でしか決定権を持っている大人には勝てないと思っている。
195	団体	団体	フェミニスト=女の権利を主張する人間と思われるような気がして毎日 SNS を見ても辛い気持ちになっています。私は男女が平等になるべきだと思います。女性が差別されないようにと考えていると同時に男性も権利を強要されるべきではないと思っています。女性の社会進出があるなら、誰しもうも「しゅふ」になってもいいし、育休だって取るのが良い。結婚だっていつだれがだれとしてもいいし、そういう社会(会社)になってほしいと思います。全ての男女が等しく結婚や労働に関われるようになればと思います。
196	団体	団体	性別に関わらず、結婚/出産/妊娠/恋愛/子育て etc. を自由を選べるようになってほしい。私は女ですが、「女性だから」上記をおすすめされるのが嫌です
197	団体	団体	性別で全てが決まる社会であることが未だに不思議である。選んで生まれたわけでもないのに女性男性ということだけを基準として、個性が大事だと教育しながらも結局社会で既に生きている人たちはそれを知らないために性別による差別、選抜を受けている。これは今現在権力を持っているであろう 40 代以降の人が変えないと変わらない。私たち若者世代が声をあげても結局変えるのはその世代の人たちである。若者にもっと働いてほしい、子供を産んでほしいと思うのなら性別による扱いの不平等をなくすべきだ。別姓の選択、LGBT 問題、採用における女性社員の出産などに対する偏見や扱いなどがこれに該当するのではないだろうか。
198	団体	団体	性別に関わらず、結婚/出産/妊娠/恋愛/子育て etc. を自由を選べるようになってほしい。私は女ですが、「女性だから」上記をおすすめされるのが嫌です。男性なら、とか女性だから、というジェンダーロールは今なお根深く残っていると思います。結婚して家庭を築いていくというステップの中で、男性も当たり前のように育休を取れる世の中になってほしいし、女性だから結婚したらとか妊娠したら会社辞めちゃうのではありませんか？という意見が一般的ではなくなってほしいです。そのためにはもっと社会が働きやすくないといけないと思います。宴

			会の参加の強要、宴会での飲酒の強要(無言の同調圧力含む)や、長時間労働が評価される風潮のままでは社会で働いて評価されながら、充実した家庭生活を営むのは難しいと感じます。本当の意味での男女参画社会は男性にも女性にも優しい社会であってほしいです。
199	団体	団体	フェミニストは男性への重圧も救うのに、批判されがちですね。イコーリスト、とか、よりわかりやすい名称になるといいなと思いました
200	団体	団体	生まれてきた赤ちゃんへの色分けは、友達へのプレゼントだけでなく、実際に男の子には青いネームバンド、女の子にはピンクのネームバンドを付ける病院はいまだに多くあります。こんなことを言う男性が育ってしまう社会をどうにか、変えていきたいと思います。
201	団体	団体	私はバイ・セクシャルの女です。自分がバイ・セクシャルだと自覚する前から興味でLGBTQについて多少の知識を得ていました。色々考えることはありますが、日本の「性別」への認識を変えるべきだと思います。マジョリティが強い日本人にとって男女の2つの性別しか受け入れない日本は窮屈で苦しい思いをしているひとが沢山いると思います。それはLGBTQだけではなく、「男性はこうであるべき」「女性の仕事はこれ」のような固定観念が根深く残っている要因でもあり、少子化に繋がっていると思います。私は現在18歳で結婚を考えている男性の恋人がいますが、将来子どもを望みたいとは思っていません。まだ私は高校生ですが今後、経済的に子育てする余裕はないと思います。なによりこの先どうなるか分からない世の中に子を産み落とすのが産まれてくる子にとっていい事なのか分からないからです。自分たちの生活も安定しないまま次の世代に繋げられるものがあるのか分からないからです。
202	団体	団体	正直な話をすればあまり今後の日本にも世界にも期待はしていません。ただどこかの誰かが少しでも楽に生きられる制度を作って欲しいと思っています。その為のひとつの想いとしてこれを書きました。”
203	団体	団体	「少子化も人口減少も女性の社会進出や避妊に対する知識を得たことだ」と昔読んだ記事に書いてありました。子どもを産んでね、仕事もしてね、保育園空かないから自分でやってね、介護施設も空かないから親の世話もしてね、でも仕事はちゃんとやってね”少子化、人口減少 前に読んだ記事では「少子化も人口減少も女性の社会進出や避妊に対する知識を得たことだ」とありました。
204	団体	団体	私達女性が社会に出ることも自分のからだに対する知識を得ることも悪いことなのですか？少子化も人口減少も女性がすべての原因なのですか？社会進出がダメなら共同参画ってなんですか？”
205	団体	団体	女性に全てを背負わせようとしないでください。
206	団体	団体	女性が生きづらさに気づいて声を上げるのを、男性は未だに無視します。私は娘を生んで、女性が苦勞するニュースについて夫と話したとき、この子が生きづらい世の中で貴方はいいいのか、ときいたら、男に生まれなかったから仕方ない、と言いました。辛かったです。娘が大人になるまでに、少しでも生きづらさが、女性に対する差別がなくなしてほしい。どうにかしたいならお前がそういう運動に参加しろと言いました。女は女でどうにかしたらいいと。
207	団体	団体	「私はフェミニストです」とストレートに書くのは正直躊躇してしまいます。SNSでは、「緊急避妊薬を薬局でのツイートをリツイートしたり、高校がアメリカンスクールで、男性の先

			生が“everyone should be a feminist (皆フェミニストであるべきだ)”と言っていたエピソードを載せたりして、少しずつ周りにも伝われば良いなと思っています。
208	団体	団体	そもそも上の立場に立つ人は圧倒的に男性が多く、意思決定の場に女性が少ないから日本における男女差別の風潮が消えないと思う。日本は世界に比べて性の多様性への理解が足りなさすぎると思います。自分が異性を好きになれなかったり、自分の性が分からなくて苦しんだりしている人がいるということを知って欲しい。どう考えても、今の社会で女性と男性が平等なんて言えないし、結婚して妊娠して職場に復帰することが難しいのは事実。もっと女性が活躍出来る、偏見の目を向けられずに自由に活動できる社会にしてください。
209	団体	団体	女性が一度離職した後の再就職の難しさ、妊娠出産などを理由に能力があっても職場で期待されるのは男性というつらさ、隠しもせずどうせ辞めるんだろと圧力をかけてくる男性社員の態度。それを正そうとしない会社の姿勢、生理に関する知識と理解が足りていない人の多さ、婦人科に行ったと言っただけで妊娠を疑われてしまう、そもそも女性の肉体について理解の足りてない人の多さ、総括して、性教育以前の生物的な女性の肉体を理解していないことから生じている誤解の多さ、認識のギャップが存在することの苦痛さこの社会には男女どちらの性も、それ以外の性の人、すべてが存在しているのに、デメリットばかり挙げて協調しない男性主導の現状は良くないと思っています。ジェンダーギャップ指数の順位を上げることが目的になってはいけないと思います。
210	団体	団体	男女共同参画社会基本法が施行されてから 20 年以上です。日本はまだ男女平等とは言えません。もっと正確に言えば、ジェンダー平等が守られている国とは言えません。どんなジェンダーの人でも安心して、ジェンダーの違いで不利益を被ることのない、そうした社会を目指すことが求められます。早期からの性教育および拡充(より具体的に踏み込んだ内容)、同性婚の法制化、ジェンダー問わず育休を取りやすい法制度、管理職クラスのジェンダー多様性の実現、これが日本の 1 人の若者の声です。まだまだ思い付くことはありそうですが、特に願うものを挙げました。全ての人にとって、日本がもっと素敵で素敵な社会になりますように。以上よろしく願い申し上げます。
211	団体	団体	日本、世界の将来に希望が持てません。私は女性ですが、今の状況でこの国で子供を産み育てる気は全くないし、なんなら生まれてきたくなかったです。男女平等は全く実現されておらず、女性の人権が軽視されていると感じることばかりです。歪んだ大人たちの邪気にあてられ、若い世代も歪んだ価値観を継承しています。なぜ今のままではダメだを数十年続けてきたのですか？毎日毎日目を疑うようなニュースや話題で溢れています。もう無理です。
212	団体	団体	学校にしる職場にしる政治にしる、「その人の性別が何か」を意識し過ぎていないでしょうか。その人に何ができるのでしょうか、その役割にはどんな人が適任でしょうか。それは星座や血液型で判断できないように、性別では判断できないはずですが。そもそも体と心の性が違う場合や男でも女でもない場合はどうするのでしょうか？みんなきつと、これまでの慣習や伝統的偏見に染められているだけではないでしょうか。本質を見極めてほしいと思うのです。私たちが生きているのは 21 世紀。私が 25 歳になる前にこれらを実現してくれたなら、私はあなたたちに対して、そしてこの国に対して、希望が持てます。
213	団体	団体	みんなが自分らしくプライドを持って安全に、皆が同じチャンスをもたらえる社会を求めます。機会平等を実現するためには社会の仕組み教育が大切です。

214	団体	団体	困っている人の立場に自分の大切な人が置かれていると想像して真剣に考える社会みんなが自分に自信を持って輝ける社会の実現を求めます。
215	団体	団体	ありのままの姿を受け入れ、お互いのことに干渉し過ぎず助け合って生きられる社会ジェンダー関わりなく個人として尊厳が守られる社会を求めます。
216	団体	団体	なぜ男女平等は実現してなくて、あらゆる差別が存在したままかという、それは人間の生き方に正解があるという意識があるからだと思います。
217	団体	団体	「日本人のトップは、日本人らしい見た目、異性愛者の、日本人男性。それ以外は差別していい。異性愛者の日本人男性以外は人権もない下層のモノ。」という意識を無くすことが最重要だと私は思います。その「正解」から外れた人々が、モノ扱いされ、迫害され、生きる選択肢を狭められています。家父長制の撤廃と、人権教育が重要かと思います。
218	団体	団体	弁護士・教師・裁判官・医者・政治家・など、女性が自分の肉体と精神を預けなければならない職業に人権教育をしてほしい。(ツイッターには女性軽視発言を繰り返す男性医師がわんさかいます。それだけで、選択肢が狭まる。)少しでも人々が生きやすい社会になることを願います。”
219	団体	団体	性別に依る選択を自分の意思が最も尊重された形で実行していける社会。子宮を持っているから、妊娠の選択ができることを、本当に選びたい時に社会に邪魔されないこと。妊娠の選択ができるからこそそれを選ばない時にも尊重されることを願います。
220	団体	団体	現在、日本に生きることに全く希望を持ってません。このまま自分が搾取されるだけかと思うと堪らない気持ちになる。海外に移住するのも1つの手と考えています。自分もこの社会から逃れたいし、自分の子供にも同じ思いはして欲しくないからだ。日本に住む人材、社会を維持するための人口を確保するために、国はいよいよ真剣に、即効性のある施策を打ち出さなければならない時期にあると思います。どうかどうか、性別や年齢、障害の有無その他の差異に拘らず、差別や貧困など多様な脅威に怯えることなく過ごせる社会になりますように。どうぞよろしく願いいたします。
221	団体	団体	「結婚をしたくない」と言っても「おかしい」などと否定されない社会になってほしいと思います。
222	団体	団体	私はジェンダー平等な社会に向けて学生グループで活動しております。日本がジェンダー平等で121位と言う結果には驚きませんでした。現状が「普通」と受け入れてしまって人が多い日本はまだ遅れています。女性に高い地位を与えるのではなく自由が欲しいのです。「女らしい」言葉遣い、振る舞いや仕事のプレッシャーをなくし性別問わず自分らしく生きられる社会へ。差別と感じない人が多いのは社会やメディアがそれを普通にしてしまったから。男はこうあるべきで女はこう。学校、家庭、職場などで常にこのプレッシャーがあります。私はアメリカ育ちなのですが、日本に来てから性差別を感じました。「いいお嫁さんになるね」「女子力あげなさい」「男の子なのに料理ができるの？」と耳に入ってきました。問題視されていないのが問題だと思います。
223	団体	団体	男女共同参画基本法が、できましたが、男尊女卑の空気は殆ど変わらず、時間だけ経ちました。罰則や何かのペナルティーが、無ければ、社会は変わらないのだと思います。
224	団体	団体	ジャンダーギャップ指数の低迷が毎年話題になるにもかかわらず、未だに男女共同参画計画に「ジャンダーギャップの解消」が明文化されないのはなぜでしょう？明文化を求めます。

225	団体	団体	日本はどこに男女格差があるのか認識できていない人が多いから遅れているのかもしれない。男性女性共にこれが普通だと思って疑問に思わず格差に気づけない。
226	団体	団体	男女平等じゃなくて、本当は「ジェンダー平等」
227	団体	団体	男女関係なくすべての人が自由に、そして幸せに生きられる社会を望みます。
228	団体	団体	そもそも「男女」共同参画という言い方にも違和感を覚えます。ジェンダーの課題というと、やはり女性が重視されがちですが、セクシュアルマイノリティの方たちのこともしっかりと視点にいった政策を作りたいです。
229	団体	団体	今や「男女」のみの平等を目指すのは、古いと思います。ジェンダーは男女のみではないのだから。すべての人が自分らしく生きやすい社会にするためには、「男女共同参画」ではなく「ジェンダー共同参画」にするべきではないかと思うからです。
230	団体	団体	このご時世に女性登用30%も達成できず目標を変える人たちが国のトップに居続けていることに、疑問を覚えます。政策は達成するためにあるもので、自分たちの支持率確保のための嘘ではないはずです。
231	団体	団体	結婚することや、子供を産み、育てることが至上のことであるかのように語る社会を変えてほしいです。結婚も、出産も、個人の自由であって、誰かに強制されるものではない。出生率の低下や、人口の減少を心配するなら、誰かの尊厳を脅かすような、個人に責任を押し付けるような方法ではなく、社会が、国が、労働状況を改善したり、賃金を上げたり画策すべきです。結婚したくても出来ない人は、それで結婚するし、子供だってそのうち産むだろう。結婚したい人と結婚したくない人の両方の自由意思を守ってほしいです。
232	団体	団体	男女共同参画は男女の性差を無くすための概念ではなく、生物学的に男女がそれぞれ持つ特徴を補い合うためのものだと考えています。個々人で仕事や家庭・余暇活動への意欲は異なっていることを前提に、誰もが過ごしやすく生活できるための概念として機能してほしいです。
233	団体	団体	男性だから長時間労働に耐えなさいだとか、女性だから能力があっても大学に合格させないだとか、性別のせいだ誰かが損をするような仕組みをなくしてほしいです。男女平等になることによって、今の便利さが少し損なわれるとしても、それはしょうがないと思います。
234	団体	団体	結婚しない選択をしてもいいような風潮にして頂きたいです。
235	団体	団体	男女という区分ではなく、人間という生命体に特化した法律にしてほしいです。
236	団体	団体	性別で役割を決めてしまう世界を排除してほしいと思います。（生物学的上、出来ないことを除いて）
237	団体	団体	目の前に生きている人間を、属性と偏見に拠ってでなく、「其々が思考と意見と感情を持つ人間である」という絶対的前提に拠って扱う社会にしていきたいです。していきましょう。女性は対等な人間です。優秀であろうとなかろうと、人間であるという一点に於いて、完全に対等です。性別に限らず、人種、障害、性的指向、貧困…全てのマイノリティは、運良くマジョリティに生まれた貴方方と（或いは我々と）全く対等の「人間」です。

238	団体	団体	結婚して女性が苗字を変えるのが普通という考えが理解できない。家事や育児を一方に押し付けるのも変。女性をアイキャッチャーとして性的に広告等に出演させるのが嫌い。女性にばかり外見を気にさせて細くあること、体毛がないこと、胸が大きいこと等をステータスとし、化粧やスカート、ハイヒールを強要するのがおかしい。「男だから～」「女だから～」で始まる常套句はなくなるべき。それ以前に一人一人が唯一の個人だから。これまでの価値観に囚われて無理して生きる必要なんてない。自分のやりたいことややりたい姿を見て目指していけば良いと思う。
239	団体	団体	男側の「こうあるべき」制約も解く必要がある男性が主夫になること、子供を育てること、妻に昇進のタイミングを譲ることなどが、その男性の男性性を否定したり、一段下に見たり、男らしくないなどと言わない社会にするべき。
240	団体	団体	私が提出したコメントを読んでください。どのように政策に反映するかかんがえてください。意見集めてもちゃんと実効性のある計画にしなければ意味がないし、計画したなら達成できるようにルール作りをして、達成しなければ意味がないのだよ！！（2030 達成しなかったけど先延ばしになったただけだよ）
241	団体	団体	若者の教育に力を入れたいのは伝わってきましたが、意思決定権のある上の世代が変わらなければ社会に変化は起こせません。どのように上の世代の意識改革を行っていく予定ですか？上の世代、特に意思決定権を持つ立場の人への意識改革を求めます。
242	団体	団体	男女以前に個人として、一人の尊厳ある人間として尊重し合うことがいかに大事なことで、また、それが保たれる世界/社会がいかに生きやすいのか、子供の頃から知れたら良かったと思います。もっと共有されて欲しいです。
243	団体	団体	女性にとって日本は、まさに地獄といっても過言ではないと思います。性犯罪に遭遇しても救済されず批判され、家庭を持って役割に押し込められ、経済的自立もできない。私は女性を優遇してほしいとは思っていません。ただ、女性が人間として働き、人間として生活し、人間として自立する社会が当たり前になってほしいだけです。
244	団体	団体	ジェンダーギャップ指数 121 位の日本。一刻も早い性差別の解消を望みます。女性の経済的地位の向上、性犯罪の厳罰化、男性の育児の権利の保証。義務教育段階での人権教育、性教育の充実。プライベートが疎かになる長時間労働の規制。夫婦別姓と同性婚を認める法律を作る。保育士、介護士等ケアワーカーの賃金格上げ。やらなければならない事は山ほどあります。他の国の政治から学んで欲しいです。日本は多様性を認めない、女性差別が根強い文化であるということを感じ、政治の立場から改善してほしいです。
245	団体	団体	女性として産み落とされたことを、ずっと恨みながら生きています。いまの日本が変わらないなら、こんな日本で生きていきたくないし、ましてや絶対に子どもを産みたくない。子どもが女の子だったら、私と同じように、親に対して、自分を女性に産んだことを恨むと思うから。口だけの男女共同参画社会で、少子化が進まないわけがない。
246	団体	団体	女性を優遇してほしいのではなく、男女で同じ権利を持っているはずの社会の中で同じように生活したいです。
247	団体	団体	ジェンダーギャップ指数の低い国に暮らすのが辛いし恥ずかしいです。女性の扱いが悪い場合自己責任論に逃げるのではなく社会的構造を把握し批判できる男性を育成するべき。男性の生きづらさを作ったのは男性。

248	団体	団体	女性の中の多様性、男性の中の多様性を当たり前とする社会へ男女という二元論を前提としない社会の仕組みをつくってほしいです。
249	団体	団体	生まれ持った性別で差別されたくないです。
250	団体	団体	どこをみても、管理職には男性ばかり。女性推進課の長が男性だったりする。女性の避妊の手段が少ない。性暴力の被害が後をたたない。会社の上層部や政界において女性の比率が少ないのは、女性が男性より劣っているからでは絶対にありません。また、女性には墮胎の権利を認め、海外からの技能実習生への適切な取り扱い(女性だけが責められるのではなく、妊娠させた側への罰則が必要です。一方の性にシワ寄せするのは不公平で。)、シングルマザーとなる可能性のある女性への配慮や補償を求めます。男性が作り上げるコミュニティや文化に屈するしか無いからです。女性が妊娠子育て家事の役割を大いに背負っている日本社会で、十分な保障なしに女性も社会進出してほしい、というのは無理があります。いつまでジェンダーギャップ指数 121 位またはそれ以下に墮ちるつもりでしょうか。これ以上の希望がないなら、私は日本にいることはできません。
251	団体	団体	国・政府がもっとジェンダーギャップ指数に対して敏感になってほしいです。既存の社会で優位にいる男性権力者は権力に胡座をかくのをやめてほしいです。
252	団体	団体	現在の日本の制度では、安心して妊娠、出産や子育てができません。誰かの娘、妻、母としてではなく一人の人間として社会に参加したいです。
253	団体	団体	”「女性の社会進出」が話題に上げられるようになり、十数年が経ちました。しかし、それ以前にも「会社勤めの女性(独身・既婚・子持ち問わず)」は居ましたし、未だに「社会人」として認められにくい「自営業の女性」も存在しました。加えて「アルバイト等、非正規雇用の女性」「会社勤めでも自営業でもない専業主婦の女性」も社会に関わり、社会の中で生きているにもかかわらず「社会進出していない」ものとして扱われている状況は今も変わりません。「男は社会人だから」「男は働いているから」「男は子作りできるから」偉いのですか？いつまで「男は女というゴミに人権を“与えてやっている”」という意識なのか？性別や職業を問わず、全ての人が「社会人(社会と関わる人)」と認められ、「女性にも男性と同じ人権がある(それは男性様に頭を下げて認めて頂かなければならないものではない)」ということが、広く理解される社会になる。それが今、必要なことであると私は考えます。
254	団体	団体	女であるといわゆる「女らしさ」を求められる。人として扱われたい、性別でどうこうしないでほしいです。
255	団体	団体	「昔は違ったが、今はもう日本では男女差別なんてない」と言う人をたまに見かけますが、日本の現状が見えていないだけだと思います。そうでなければ、女性だけが入試で大学側に減点される筈がない。教育機関で、ありとあらゆる場所で男女差別が起こっている。今の日本は男女差別が溢れていると言うことを理解した上で、改善する必要がある。もちろんそれは男性の人権や権利が損なわれることではない。女性を尊重するのと同時に、男性も、すべての性の人が尊重されるべきである。しかし、今の日本では女性はあまりにも蔑ろにされている。政府や現職の議員の打ち出す政策には、女を人間とも思っていないような表現、政策があまりにも毎日溢れている。ふざけるな。女性は男性と同じ人間である。蔑ろにされる存在ではない。玩具や物ではない。理解しろ。勉強しろ。今の政府など、中枢にいる人間がそ

			れを分かっていない。アフーマティブ・アクションを推進すべき。管理職に女性がなれないのは努力が足りないからじゃない、評価する側の人間に男性しかおらず、女性が管理職につくことを当たり前とっていないからだ。いい加減にこの国は変わるべきだ。国民の約半分を大事にしない国で、どうして発展や健やかな生活が望めるのか？
256	団体	団体	同棲でも結婚ができること、男女問わず育児休暇が取りやすくなること、すべての人が性別によって期待される役割から解放されることを求めます。
257	団体	団体	20年後・30年後のU30世代に「何それ古い」「2000年代も半世紀っていうこの現代で、そんなこと言うのダサい」と言われているような未来を希望します。私たちが今まで受けてきた性差別や選択肢の無さによる息苦しさを、次世代に継がせないためにも、今から今日から確実に変わっていくことを、国が率先して推し進めていただきたいと思います。
258	団体	団体	女性が自分の性別に負い目を感じない社会になることを求めます。
259	団体	団体	育児、家事は女のやることという固定概念がなくなってほしいです。
260	団体	団体	勝手に決められた男性像、女性像に近くないと変わっているとされる社会でなくなってほしいです。
261	団体	団体	性別という枠組みを取り払い互いに「人」として扱うのが当たり前な社会になってほしいです。
262	団体	団体	子育ては女性がすべきものという因習をどうにかしてください。
263	団体	団体	性別で隔たりのない社会を実現させて下さい。
264	団体	団体	うわべだけでなく、本当の意味での平等を求めます。
265	団体	団体	男女の体の違いから起きる生きづらさの違いは確実にあり、それらは当事者がもって提示することができる。とにかく形だけでもいいから、女性の声を聞く意志がこの日本にありますという姿勢を見せて欲しい。よくも軽々しく10年も先送りにしやがって、男性が席を譲ればすぐに出来ること。その汚いお尻をさっさとどかしてください。お願いします。男女ともに生きやすい社会にしたいです。協力すれば絶対に出来ます。上がしっかりすれば国民は絶対についていきます。今の息苦しさは異常です。今の若い子たちにこれ以上負の遺産を受け継がせていきたくありません。絶対に出来ます。
266	団体	団体	これらの不平等が“女性の力不足”と認識される風潮に納得がいきません。政府がこの構造を理解しないままにいることにも腹が立ちます。
267	団体	団体	全体を通して、数値目標や施策実施目標には、目標到達期限を設けてほしい。女性管理職割合向上が10年も先送りされたのは非常にショックでした。
268	団体	団体	女性でなくても、「みんなで」考える必要のあることだと思っています。
269	団体	団体	私たちが今まで受けてきた性差別や選択肢の無さによる息苦しさを、次世代に継がせないためにも今から今日から確実に変わっていくことを、国が率先して推し進めていただきたいと思います。

270	女	70代	<p>前の計画には「男性中心型労働慣行の変革」が書いてありましたが、今回は書いてないですよ。長時間労働を改善しないと、ワークライフバランスの実現は無理なので、「男性中心型労働慣行の変革」を書く必要があると思います。</p>
271	団体	団体 1	<p>当団体は、「第5次男女共同参画基本計画」基本的な考え方について賛同するとともに、第5次男女共同参画基本計画に以下の事項について、盛り込むことを強く要望します。なお、これらは当団体が実施した調査に寄せられた全国の女子高校生や女子大学生からの意見を元にしています。</p> <p>&lt;意見&gt; 男女共同参画という名称を、将来的に変更することを明記してください。</p> <p>第1部 基本的な方針の定義にある男女の性別記載について：1ページをはじめ、さまざまなところで使用されている「男女」という表現が現在の社会では適切でないと感じます。文中からは、多様な人が共生することまで視野に入れられていることは理解できます。しかしながら、男女共同参画という名称は、「性別にとらわれない社会の実現を目指す」には不適切に感じます。女性の置かれている現状などから名称変更には時期尚早と理解できますが、2020年代に30%が実現するときには、「男女共同参画」という名称から、新たな名称に変更できるよう5次計画から、変更の可能性について明記してください。</p> <p>当団体は、「少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人となれるようにする」ことを使命としており、SDGsについても少女や若い女性をはじめとする一人ひとりの会員が、市民社会の一員として2030年までにSDGsを達成することを目指し、さまざまな取り組みをおこなっています。特に、SDGsの「目標5 ジェンダー平等を実現しよう」については、性別にかかわらず誰もが生きやすい社会にするためには欠かせない目標と考えており、「第5次男女共同参画基本計画策定にあたっての基本的な考え方」は、少女や若い女性の未来にかかわる重要な計画だと考えています。</p>
272	女	30代	<p>第5次計画をほんとうに実効あるものにするために、まず第4次計画のうち何が進み、何ができなかったかをしっかり検証してください。</p> <p>202030が達成できず、ジェンダー・ギャップ指数が153か国中121位とは、男女共同参画を着実に進めてこれなかった結果であると謙虚に受け止め、今後の数値目標をはっきり打ち出し、取り組んで欲しいです。お願いします。</p>
273	団体	団体	<p>今年は女性差別撤廃条約の批准から35年、戦後75年の節目にあたります。日本がジェンダーギャップ（男女格差）指数121位と世界から大きく立ち遅れている原因を深く分析し、女性差別撤廃条約などの国際基準と、両性の平等を定めた日本国憲法を土台に据え、女性たちの切実な願いに正面からこたえた内容にする必要があります。多様な性のあり方を認め、LGBTs（性的少数者）に関する差別の撤廃と権利擁護を含むものにも望まれます。</p> <p>また、コロナ危機は、日本の深刻なジェンダー格差を改めて浮き彫りにしています。女性労</p>

				働者が多くを占めるパート・派遣で雇い止めが広がりました。一律休校による子どもたちのケア負担も女性に集中しました。10万円給付金の受取人を世帯主にしたことも問題になりました。第5次計画で、日本社会のあらゆる面でジェンダー平等を推進する方針を打ち出すことは、極めて切実な課題です。
274	女	60代		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体的な構成について</li> <li>● 「我が国が主体的にしてきたジェンダー平等に係る多国間合意の履行の観点から」と書いているが、政府が履行・批准・遵守すべきは多国間合意などではなく「女性差別撤廃条約」ではないか。本質がずれています。</li> <li>● 仕事と生活の調和の部分。第4次のときには入っていた「男性中心型労働慣行の変革」が問題であることが、この第5次では削られてしまった。しかし最も問題なのは、男性中心型労働慣行が続いていること。この点が削られたのは認識不足。</li> <li>・ 「社会情勢の現状及び課題」へに対して</li> <li>● 202030の目標を「必ずしも社会全体で十分共有されなかった」と書いているが、掲げたときの志はどこへ行ったのかと思うほどのそっけなさで驚く。そもそも政府や自治体の施策が不十分だったことなど分析や説明がされるべきではないか。</li> <li>● 政治や経済分野で男女共同参画が遅れたのは、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みによると書いているが、これは意識の問題ではなく、男性中心の労働慣行や税・社会保障制度など社会システムがまったく変革されないことが問題だろう。</li> <li>● 「頻発する大規模災害・世界規模の感染症」の項目では、女性が7割を占める医療従事者、9割を占める介護労働者への影響が大きいことを追加すべき。</li> </ul>
275	女	40代	26	第4次には、「男性中心型労働慣行の変革」がありましたが、これが削られています。是非とも加えて頂きたいです。女性が多く短時間労働に従事しているのは、男性の労働時間が長すぎ、男性が家事に参加できないからと言うのが主たる理由です。男性が家事や子育てに参画するためには、男性の産休・育休のみならず、普段から、男性の労働時間を減らす必要があります。
276	女	50代	9	<p>性自認に関することは、男女共同参画で行うことではありません。</p> <p>性自認に関すること、特にトランスジェンダーへの対応については、それはそれで必要なことですが、それは男女共同参画計画で行うことではありません。</p> <p>男女共同参画事業は、あくまでも「身体が生物学的な女性である人の置かれている差別や状況改善を行うことがメインの考え」であるべきです。これは、CEDAWでも明確に「生物学的な性別に基づく差別」を対象にしていると書かれています。</p> <p>SDGsで「ジェンダー平等」が挙げられていますが、それを拡大解釈して、トランスジェンダーで女性を自認している人などの「生物学的な男性」までも対象にするべきではありません。</p> <p>もちろん、トランスジェンダーで女性を自認している人を救済する措置も必要ですが、それを男女共同参画に混ぜ込むのは問題です。</p>

			<p>原点に戻ってください。</p> <p>男女共同参画事業は、sex-based の考え方で進めていくべきです。gender-based の考えを取り入れてしまうと、それは生物学的女性が、もっとも脆弱な存在として放置されてしまいます。生物学的女性が、対象として消去されてしまいます。</p>
277	男	50代 1	<p>男女共同参画社会基本法が制定されて20年経ったが、この20年の取り組みの結果は、GGGI 121位という、日本は世界の中で極めて人権が尊重されない国になったということだと感じます。様々な取り組みがされてきたはずなのですが、依然として近代日本の男女のありようであった男性中心の社会は改善されていないように思えます。男女共同参画は、女性の権利や立場を男性と対等にするものだと認識しているのですが、弱い立場の者を引き上げるには強い立場にある者が意識して積極的に改変を図らなくては難しいことが多いのです。私たちの国の男性にその気概があったのでしょうか。男女共同参画の意義や到達点を、すべての国民が周知し、女性の権利や立場を向上しようと積極的に行動してこなかった20年間だと思います。</p> <p>第5次男女共同参画基本計画を策定するのであれば、政府が全国民にむけて確固たるメッセージを送り、本気で女性の権利や立場を男性と対等のものとし、男女共同参画社会を目指していただきたいと願います。</p>
278	女	50代	<p>「意見」第4次男女共同参画基本計画に記載されていた「男性中心型労働慣行等の変革」は達成されておらず、今期計画にも明記し引き続き働き方改革に取り組むこと。</p>
279	—	50代	<p>男女平等を進めることは、人権尊重のうえで必要不可欠です。したがって、計画策定自体には賛成です。長々といろいろ書かれていますが、まず、これまで、第1次から第4次までの男女共同参画基本計画がなぜ達成できなかったのかの分析と対策が必要だと思います。</p> <p>諸外国が急速にジェンダー平等を達成しているのは、人々の意識変革を促すために、実効性のある措置をとってきたからではないでしょうか。</p> <p>指導的立場にある女性の割合を増やそうとするなら、あらゆる分野において、何年間かの期限を設けて積極的差別是正措置を取り入れるなど、具体的な数値とスケジュールを設けて取り組んでいくべきだと思います。</p>
280	団体	団体 1	<p>第5次計画をほんとうに実効あるものにするために、まず第4次計画のうち何が進み、何ができなかったかをしっかり検証してください。202030が達成できず、ジェンダー・ギャップ指数が153か国中121位とは、男女共同参画を着実に進めてこれなかった結果であると謙虚に受け止め、今後の数値目標をはっきり打ち出し、女性の社会参画を阻む、労働慣行の変革、税制を世帯から個人対象へと改正する具体策などを提示してください。女性の雇用の非正規化が進んだため、益々拡大してしまった男女間の賃金格差の解消への具体策はなにか、性別役割意識をなくしていくためにいったい何をするのか、防止措置義務だけではなくならない女性に対するセクハラ防止はどうするのかなどの他、先進諸国と比べると遅れていると言わざるをえないDV加害者対策などについて思い切った施策を望みます。なお、内閣府は各省より一段高い立場から、国政上の重要な政策について企画立案・総合調整等を行うと</p>

			<p>ころです。建前だけではないことを望みます。</p> <p>第5次計画では、SDG5の「ジェンダー平等」とその他すべての目標を達成するための手段として「ジェンダー主流化」が掲げられています。ジェンダー主流化をどのように実現するのか、もっと具体的に示してください。また国連の「女性差別撤廃条約」を批准している以上、批准国としての責務を果たしてください。長年国連から繰り返しされている勧告に向き合い、取り組む姿勢を明確に見せてください。</p> <p>台湾はアジア諸国の中で、ジェンダー平等を進めるのに成功しています。「ジェンダー平等教育法」を作り、その17条では、教育機関は生徒がその能力を活かすことを促す課程を導入し活動をするものとし、教育機関が生徒に対しその性別によって異なる扱いをすることは許されないと規定しています。小中学校は、毎学期、ジェンダー平等教育に関する課程と活動を少なくとも4時間実施することに加えて、性暴力予防に関して、生徒たちは全ての学年で、毎年4時間かそれ以上の講座を受けなければならないことになっています。高校などでは最初の3年間に、ジェンダー平等教育をその課程に組み込まなければならないとされています。「台湾に学べ」です。</p>
281	男	60代	<p>今回の第5次基本計画においては、残念ながら男性を対象にした具体的な男女共同参画施策が弱いように思います。国連やEU、さらに台湾や韓国など東アジアにおいても、男女共同参画を推進する上での「男性・男児」の役割は強調されており、それぞれ政策が進められています。日本政府においても、(1)男女共同参画の本格的な推進にあたって、男性・男児の「巻き込み」の重要性をもっと明確に強調すべきだと思います。(2)他方で、近年アメリカ合衆国などで問題化されているToxic Masculinity（有害な男性性）のように、ジェンダー平等に向かう社会に適応しきれないことから生じる男性がひきおこす社会病理現象が目立ち始めています。男性がかかえるジェンダー課題をきちんと把握し、それへの対応策を準備すべきです。その意味で第三次計画の「男性・子ども」分野で示された「男性相談」の展開を、地方自治体だけにまかせず政府としてもそれを推進・支援する方向を明確に示すべきではないでしょうか。</p>
282	女	50代	<p>個人にとっては、自らの意欲・能力が十分に活かさない、自ら人生設計することが難しく、生きづらい、幸福感が低いといった状況になりかねない。</p> <p>⇒『個人にとっては…幸福感が低いといった状況』は、なりかねないのではなく、すでにあるものと考えます。現状がそうであって、女性にとって幸福感が低い国になっているという認識が妥当だと考えます。</p> <p>&lt;固定観念&gt;や&lt;偏見&gt;という表現も他で見られますが、偏見と言うよりは、現実的には&lt;差別&gt;に近いのではないのでしょうか。より一層の問題意識と、変革する緊急性を盛り込むことを望みます。</p>
283	団体	団体	<p>女性の地位向上および女性問題の解決のためには、女性の社会参画促進の一方で、現状社会においていまだ主導権の多くを握ってきた(アンコンシャス・バイアスを含む)男性たちの意識と生活スタイルの根本的な改革が必須である。また、従来の固定的なジェンダー構造のもとで男性も様々な困難に直面している。これらに対応するためには、男性に焦点を当てた施策の充実が不可欠である。国際社会も、21世紀に入って以後、国連を軸にジェンダー平等の</p>

				<p>達成に向けた「男性・男子の役割」に注目し、EU などにおいても社会調査を含めて「男性・男子の役割」をめぐって、さまざまな提言がなされている。</p> <p>ところが、今回示された第5次男女共同参画基本計画（素案）では、第3次計画以降設けられていた男性に焦点を当てた分野がなくなっているばかりか、各分野の基本認識においてさえも男性に焦点を当てた項目がほとんど見られない。男性に関していくつかの分野で共通して指摘されているのは男性の育児休業取得や子育て参加であるが、その重要性については述べられているものの、具体的な取組についてはあまり触れられていない。ジェンダー主流化の流れに鑑みれば、今次の基本計画は、あらゆる社会の領域における男女の関係性を変革していく総合的な男女共同参画政策から、むしろ女性政策という特殊政策へと後退している印象さえ受ける。</p> <p>性別に特化した記述がない項目や、「男女」と書かれているすべての項目には女性だけでなく男性も対象に含まれているという意図なのかもしれないが、国民や行政関係者の大半は、いまだに男女共同参画やジェンダー問題といえば女性の問題という意識が強いいため、明確に男性に働きかけて男性の変化を促す意図を書き込まなければ、結局は従来の男性のあり方を標準としみなして問い直すことのないまま、それに女性を近づけるだけのいびつな男女共同参画になりかねない。</p> <p>男女共同参画がより実質的かつ効果的に推進されるためにも、明確に男性に焦点を当てた項目の追加、ならびに記述の充実を要望する。特に、第3次基本計画と同様、国際基準にたつて、「男性・男子」対象の男女共同参画の計画を、「見える化」することや、地方自治体ですでに進んでいる男性相談の政府による支援（相談員の育成支援等）は、重要な意味をもつと考えられる。</p>
284	女	60代	2.3	<p>日本のジェンダー・ギャップ指数は世界121位まで落ち込み、恥ずかしい限りです。素案で日本の推進状況が非常に遅れたものになっていると認めてはいるものの、近年の後退の状況に関する分析や検証がなされていません。</p> <p>現在のコロナ禍では、さらに女性の失業率の悪化など社会経済的弱者化がさらに進行しているのが実態です。</p> <p>ジェンダー・ギャップ後退の真の分析無くして、男女共同参画の前進はおろか後退に歯止めをかけることすらできません。</p> <p>しっかりした分析と検証の追加記載を望みます。</p>
285	女	60代		<p>男女平等に関して、本気度が見えてこない。70年近く生きてきて、古い考えの男性たちがのさばっていて、女性の活躍どころか、自由な言動を抑えられていると感じることが未だに多すぎる。それは、海外を旅行していても痛感する。日本だけ、本気で取り組んでいないからだと思う。もう、そろそろ、目に見える進展が欲しい。</p>
286	女	60代	3	<p>計画全体に言えることであるが、男性も女性も表現を、男性も女性も「全ての人」を加えていただき、LGBTの人への配慮をした表現に変更すべきと考える。</p>
287	女	60代		<p>女性のおかれた状況を分析されていますが、表面的にとらえただけに終わっている気がします。「アンコンシャス・バイアスが大きな障壁」であることは言うまでもありません。税制（配偶者控除）や社会保障（年金の第3号被保険者）が、固定的性役割分担を当然のものとして受け入れていることが女性にとって本当の意味での優遇措置ではないということにふれるべきです。配偶者控除を受けて働く女性労働者が1000万人もいるのに、労働者とし</p>

			<p>て存在していない、つまり分析対象になっていないことに大きな疑問を感じます。</p> <p>また世界でもまれな同姓を強制する婚姻制度により96%の女性が姓を変更して男性の戸籍に入り「嫁」と呼ばれています。当然男性は戸籍筆頭者であり世帯主です。</p> <p>「戸籍筆頭者であり、世帯主である男性」と「男性の家に入った嫁」という男女には経済的な問題も含めて力関係が存在し、DV夫が「誰に食わせてもらっているのだ！」と妻を追い詰めるのはよくある話です。</p> <p>ジェンダー平等を進めるには、性別役割分業を是とする制度を見直していく必要があります。</p> <p>DVや虐待など、家庭が必ずしも女性や子どもにとって安全な場所ではない現実を直視し、家単位ではなくすべての個人にとって公平で安全な社会の在り方を模索すべきです。</p>	
288	女	60代	23	<p>第4次計画の第1分野「男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍」がなくなったのは非常に残念です。</p> <p>雇用等における男女共同参画の推進と仕事と生活の調和の実現には、男性中心型労働慣行等を見直すことが必要で、第4次計画にあった「男性中心型労働慣行等の変革」の強いメッセージがなくなると、女性の参画拡大が進まないのは、女性の自己責任になってしまいかねない。</p>
289	女	50代		<p>「男性中心型雇用慣行の是正」の文言が第四次から抜け落ちています。もはや「男性中心型」というステージは終わった、転勤、残業を前提とするメンバーシップ型～といった表現のほうがふさわしいという趣旨かと思いますが、男性中心型雇用慣行はいまなお続き、それを社会保障制度、税制が補完している状況に変わりはありません。いまなお残る課題を明確にするためにも、この文言は残した方がいいかと思います。</p>
290	女	40代		<p>政治家こそ、男女共同参画への理解を深めるべきだと思います。</p> <p>あまりに女性蔑視が過ぎます。</p>
291	女	30代		<p>LGBTQ セクシャルマイノリティの生きやすさへの活動も入れてほしい。</p> <p>「男女参画」という名前ですが、「男女」の枠に入らない人のことも含める必要があるはずです。</p> <p>全ての国民の生きやすさにつながりますように。</p>
292	団体	団体		<p>今回の基本的な考え方は「政府が行うあらゆる取り組みにおいて常にジェンダー平等及びジェンダーの視点の主流化を確保し、施策に反映していく」としている。</p> <p>また我が国のジェンダー平等の推進が政治分野や経済分野で非常に遅れたものとなっているという現状とその要因に性別役割分担やアンコンシャス・バイアスなどの存在があるという。</p> <p>ジェンダー主流化や現状についての異論はない。しかしジェンダー不平等や性別役割分担意識や非正規労働に多くの女性が従事している通実の背景には、家制度が社会の根幹のしくみとして存在していることが大きな要因ではないかと考える。</p> <p>世界でもまれな同姓を強制する婚姻制度により、96%の女性が姓を変更し、男性の戸籍に入</p>

			<p>る。戸籍筆頭者と世帯主は圧倒的に男性が占める。</p> <p>そして税制や社会保障は「夫が家族を養い、妻がケア労働を無償で行う」という家族形態をモデルに設計されている。</p> <p>この男性世帯主モデルこそが、家庭内性別役割分業を固定化し、女性のワークライフバランスを片寄ったものにし、非正規労働に誘導するしくみとなっている。</p> <p>コロナ禍の特別給付金も世帯主への一律給付であった。DV や虐待被害者だけではなく、ギャンプル依存の世帯主を抱えた家族や多くの女性たちからも「#個人に給付して！」という声があがった。</p> <p>またテレワークでの家族のケアも女性に重くのしかかった。</p> <p>憲法 24 条の「家庭のなかでの本質的平等」や女性の人権が実現していないのは、社会の仕組みが世帯主＝戸籍筆頭者に権限を与え、それが家庭内での男女の力関係になっているからではないだろうか。・</p> <p>女性が家族の中で「嫁」としてではなく、男性と平等に尊厳を持って個人として生きることができる社会を望む。そのためには、女性が男性の家に入らなければならない「夫婦同姓の家制度」の強制をやめ、選択的夫婦別姓を実現することが必要である。</p> <p>そして、「男性世帯主モデルという家族形態」ではない女性や男性たちにも公平な税制、社会保障を個人を基本に作り直していくことである。</p>
293	団体	団体	<p>この 8 月、独立行政法人「国立女性教育会館」の調査報告があり、大企業で働く入社 5 年目の女性正社員のうち、管理職への意欲を持たない女性は 59.2 %を占めるということがわかりました。女性活躍推進法の成立もあり、積極的な登用が呼びかけられていますが、仕事と家庭の両立への不安が大きな理由になっていて、「管理職を旨したくない」、「どちらかという目指したくない」がこのような数値になりました。</p> <p>共働きをしている家庭の女性の家事労働時間は男性に比べて圧倒的に長いです。男性が女性だけに家事を押し付ける、協力しないでいいものだという思想は、古い悪しき家制度の名残です。男性の家事労働時間が増えれば、女性がキャリアを生かしながら働き続けることができます。</p> <p>男女共同参画は、男性にとっても重要（男性がより暮らしやすくなるもの）であり、男女が共に進めていくものであるということをもっと強調していただきたいです。あらゆる場面で男女が共に協力し合い尊重しあえるものになるよう、第 5 次男女共同参画基本計画の策定を期待します。</p>
294	女	70 代	<p>昭和の戦後教育の中で育てられた団塊の世代の私たちは、自由・平等・人権・平和・三権分立の教を頭の中では理解してきてはいるが、現実には古風な男性優先・縦社会の道德観が染みついてしまっている。</p> <p>夫婦、家族、職場、多くの社会生活は当然のように男性主体で営まれている実情は相変わらず続いている。特に政治経済の分野で。</p> <p>自然界も人間社会も想定外の状況に陥ることが否定できない。これからの時代、生物学的な男女差を互いに尊重し理解し、対等な立場で意見を出し合える制度の構築こそ急務と思われる。</p> <p>両性の知恵と特性を結集して初めて日本・世界・地球の安全と平和が守られるのだと考える。</p>

295	女	70代	<p>日本は男女平等の取組が非常に遅れていると思います。毎年発表される世界経済フォーラムジェンダーギャップ指数に表れています。政治家の皆様や社会の指導的立場にある人たちの意識がまず変革されなければならないと思います。男性は女性を見下すことなく何よりも男女平等に物事を決定してほしいものです。日本で男女平等施策がなかなか進まないのは、男性の意識中にある男優先の思想だと思います。長い間の家長制度、戸主制度これらの理不尽な制度の中で育った前時代的な考え方を引きずっている男性がいかに多いことか。女性が平等を求めようとするとき抵抗しそれを阻止しようと権力を使うのは常に男性です。第5次男女共同参画基本計画で、現在の世界レベルに少しでも近づいてほしいです。共働きをしている家庭の女性の家事労働時間は男性に比べて圧倒的に長いです。女性だけに家事を押し付け協力しないでもいいという思想は古い家制度の名残りでしょう。あらゆる場面で男女が共に協力し合い尊重しあえるようになるよう、第5次男女共同参画基本計画の策定に期待しています。</p>
296	団体	団体	<p>日本は男女平等の取組が遅れていると思います。毎年発表される世界経済フォーラムジェンダーギャップ指数にもはっきりと表れています。政治家や社会の中で指導的立場にある人たちの意識がまず変革されなければならないと思います。男性は「女に何ができるか」という意識を捨て何よりも男女平等に女性の人権を尊重して物事を決定してほしいと思います。あらゆる場面で男女が共に協力し合い尊重しあえるようになるよう、第5次男女共同参画基本計画の策定を期待します。</p>
297	女	80代以上	<p>第5次男女共同参画基本計画策定にあたっての基本的な考え方について意見を述べます。2000年から5年ごとに4回にわたって策定され、今回5回目となるこの基本計画が、メディアでも「女性登用先送り」と報道されたことからわかる通り、この分野での日本の後進性、遅れは著しいものがあると思います。</p> <p>“立場が人を育てる”という言葉があります。指導的な立場、責任ある立場におかれた人は、急速に見識、能力、指導力を身に着け、その分野で責任ある仕事で見事に能力を発揮することが出来ます。ひと昔前までは、男性の職業と考えられていた職種のひとつすべての分野で堂々と活躍する女性が急速に増えました。それも、特別に能力、条件に恵まれた女性が特殊例外的な存在としてではなく、一般的なものになってきたと言えるでしょう。</p> <p>女性のあらゆる分野での登用、活躍を可能にするために必要で重要なことの1つとして、子育てを社会が全面的に支援する姿勢、制度が不可欠だと考えます。子どもは次の社会を担う大事な社会の宝なのです。子育ては社会が責任をもつ。当然のことではないでしょうか。出産以外に子育てで女性にしか出来ないことはないと思います</p> <p>出産という人類にとって最高に大切な仕事(?)を引き受けている女性に対し、社会はもっと敬意を表することが必要なのに、逆に評価を下げ、社会的地位を低いところに押し留めてきた悪い習慣を今こそ断ち切るべきではないでしょうか。</p> <p>国際社会において全く恥ずかしい地位にあり続けてきた日本の状況を急速に改善することがどうしても必要です。</p> <p>それには、期限を切った数値目標を決め、これを着実に達成していくという構えが不可欠だと考えます。</p> <p>これまでのわが国には、目標を必ず達成していく。この構えが欠けていたと言わざるをえま</p>

			<p>せん。</p> <p>急速な改善を求めます。</p>
298	女	70代	<p>1. 身近なところから進める</p> <p>家庭内で家事分担は女性の分担割合は男性の5倍だそうです。(6歳未満の子を持つ夫婦の家事育児時間H28) 男性に「家事を手伝っている」「手伝ってやっている」という思いがあり、女性にしても「〇〇は男の仕事」、女性はその分炊事洗濯を受け持ちます。〇〇とは、力仕事、雪深い当地としては、雪はき、屋根の雪下ろしなどです。育児においては、授乳(母乳)については男性には出来ない仕事です。しかし男でなければ、女でなければ出来ない仕事、役割はそんなに多くはないと思います。男女それぞれふさわしい役割分担を話し合う、理解し合うということが大切です。</p> <p>もう少し女性に時間的に解放する方策を見い出していきたい、そのためにも第5次男女共同参画基本計画の策定を期待します。</p> <p>2. 男女ともに意識改革を!</p> <p>セクハラ、家庭内暴力、子どもの虐待・・・夫の、男性の暴力行為が事件に発展しニュースになりました。そもそもこれらの行為はどのようにして後を絶たないのでしょうか。男性は腕力に優れ、運動能力が高い、男性の特質が女性を一段低くみる習性が生まれるのでしょうか。女性の側にも男性に寄りかかっていたら安泰と思うところがあると思います。</p> <p>歴史的にみても封建的風土の中で男尊女卑の慣習が男女それぞれに身に付いてしまっているのだと思います。女工哀史、女人禁制、人気テレビの「おしん」の身売り話など遠い昔の話ではありません。</p> <p>女のくせに、女だてらに、女にしておくのはもったいない・・・等の言い方をします。何年か前になるが、大相撲の千秋楽で大阪の女性知事が優勝力士への表彰のため土俵の上がることを拒否されるということがありました。女性が土俵に上がることで「土俵を汚す」ことがあるのかどうかそんなことはないと思います。</p> <p>真に「男女がいたわり合い、尊重し会える関係を築いていくことが大切。」女性の人権を尊重して物事を決定してほしいものです。</p>
299	女	80代	<p>1 「男女共同参画基本計画」は基本的な理念を明確にし、意識・意見等の民意を具現化する規定として作成されたい。</p> <p>2 女性が活躍できる社会作りの政策を称えてはいても政権も企業も改革は達成されていない実状であると思う。先ず現実に脚を据えた基本計画として欲しい。</p> <p>3 女性や若者の貧困の問題も不安定な非正規は大きな原因であると思う。この点で男女共同参画計画に、十分な考慮が重要ではないかと考える。</p>
300	女	70代	<p>日本がジェンダー平等先進国となるよう、私たちも一緒に取り組みたいと思います。</p> <p>条約の日本語訳について</p> <p>女子差別ではなく女性差別と改めてください。</p> <p>私は女性差別撤廃条約と常日頃言っていますのでコメントも「女性差別・・・」と書いています。</p>
301	団体	団体	<p>「第1次男女共同参画基本計画」が策定されて20年。この間、政府は、法律・制度を整備し、日本での男女共同参画は一定の成果を上げてきた。しかし、男女の性別に基づく格差は正については、諸外国が著しい成果を上げているのに対して、日本の進捗は全般的に見て、</p>

			<p>大きく遅れていることをデータが示している。</p> <p>* 女性比率の順位日本／対象国数</p> <p>GGI=121/153 (経済・政治・健康を含む) IPU=165/193(議会) OECD=33/ 34(賃金)</p> <p>なぜ、諸外国と比べて日本の男女格差の解消がこれほど遅れているのか、真摯に検証する必要がある。</p> <p>2030年までに完全なジェンダー平等(50-50 フィフティ・フィフティ)の実現を目指すSDGSの採択にあたって日本は賛成票を投じた。その目標年まであと10年。2030年までに男女50-50実現をめざす「203050は、日本政府の世界的公約」といえよう。</p> <p>「あらゆる分野のあらゆるレベルでの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保すること」を目指す「203050の実現」にむけて、現・第4次基本計画よりさらに踏み込んで、強力で効果的な第5次男女共同参画基本計画を策定すべきである。」</p>
302	団体	団体	<p>★「分野の構成」についての意見</p> <p>★第4次計画の第1分野「男性中心型労働慣行等の変革と女性活躍」が消去されたのは、なぜか？</p> <p>「①長時間労働の削減等の働き型改革 ②家事・育児・介護等への男性の参画の環境整備 ③男女共同参画に関する男性の理解促進 ④ポジティブ・アクションの推進等による男女間格差の是正等」は、ほとんど解消されていない。</p> <p>★環境問題はグローバルな問題であり、3第分野「地域」にあるのはおかしい。気候変動など災害・環境でまとめる。</p> <p>★教育とメディアはジェンダー平等の実現のために極めて重要であり、それぞれ独立した分野とすること。</p>
303	団体	団体	<p>13</p> <p>第2部 政策編の「具体的な取組」として最初に「政治分野」を掲げてこの法に基づく施策について理解を広げ、実施への取組みを促進させるよう政治団体や国、地方公共団体の課された責務を明示し、また具体的な課題について言及していることを評価いたします。</p> <p>計画の実施の中で確実に成果があがるようにするために、各分野での取組み組織の充実(政治団体における男女平等促進局の設置など)の促進と独立した評価機関の設置、情報提供を担う組織のさらなる強化が必要です。また、女性議員の割合の増加とともに、確実にジェンダー平等施策の充実が図られるようになることが重要です。単に女性議員の数のみでなく、平等な諸施策に反映していく視点を政党や国、自治体に浸透させ、成果として「見える化」とすることを明記してください。</p>
304	女	30代	<p>女性が結婚やパートナーを伴わない生活をする選択をした場合に一生涯暮らしていけるよう性別における賃金の格差をなくなっていく社会にして欲しいです。地方による格差もできる限り減らしてください。</p> <p>若者が田舎にとどまらず都会に出る理由のうちの一つに賃金格差があると考えます。都心のほうが仕事も職種も幅広く、基本給が高いからです。</p> <p>住んでいる地域、性別関係なく平等な給与がもらえる社会を望みます。</p> <p>女性政治家、若い世代の議員の意見を取り入れやすい環境を作ってください。</p> <p>日本は先進国の中でも女性の議員登用率と役職についている女性政治家が極めて低いです。</p>

			<p>今全世界に蔓延しているコロナウイルスの対策において優秀な実績をあげているのは女性の首相や官僚がいる国というニュースも見ます。</p> <p>女性が男性より優れているということを言いたいのではなく、様々な視点で国全体、国民全体の生活を考えることが必要だということをお伝えしたいです。</p> <p>40代、50代はたまたそれ以上の年齢の男性政治家のみで討論した政治は果たして全ての国民に寄り添っているでしょうか。視野の広い政治を期待しております。</p> <p>性暴力に対しての処罰をもっと厳しくしてください。</p> <p>先日の福岡での女性殺傷事件、この事件はいわゆる「フェミサイド」であると思います。しかしそのほとんどは「フェミサイド」であると断定されないまま処罰を受けていきます。このような事件を「フェミサイド」であるとメディアや政治を通して発信をしていく必要があると思います。男性が女性に対し無差別に危害を加える事件が本当に多いです。</p> <p>また、教員による性暴力が発覚した場合、教員としての復帰を許してはいけないと思います。いつまた同じ過ちを繰り返すかわかりませんし、被害者側からすれば自分に危害を与えた人が再び教員としてどこかで生活していることは恐怖でしかないと思います。懲戒免職処分という厳重な処罰を科してください。</p>
305	女	30代	<p>女性が結婚やパートナーを伴わない生活をする選択をした場合に一生涯暮らしていけるよう性別における賃金の格差をなくなっていく社会にして欲しいです。地方による格差もできる限り減らしてください。若者が田舎にとどまらず都会に出る理由のうちの一つに賃金格差があると考えます。都心のほうが仕事も職種も幅広く、基本給が高いからです。住んでいる地域、性別関係なく平等な給与がもらえる社会を望みます。女性政治家、若い世代の議員の意見を取り入れやすい環境を作ってください。日本は先進国の中でも女性の議員登用率と役職についている女性政治家が極めて低いです。今全世界に蔓延しているコロナウイルスの対策において優秀な実績をあげているのは女性の首相や官僚がいる国というニュースも見ます。</p> <p>女性が男性より優れているということを言いたいのではなく、様々な視点で国全体、国民全体の生活を考えることが必要だということをお伝えしたいです。40代、50代はたまたそれ以上の年齢の男性政治家のみで討論した政治は果たして全ての国民に寄り添っているでしょうか。視野の広い政治を期待しております。性暴力に対しての処罰をもっと厳しくしてください。先日の福岡での女性殺傷事件、この事件はいわゆる「フェミサイド」であると思います。しかしそのほとんどは「フェミサイド」であると断定されないまま処罰を受けていきます。このような事件を「フェミサイド」であるとメディアや政治を通して発信をしていく必要があると思います。男性が女性に対し無差別に危害を加える事件が本当に多いです。また、教員による性暴力が発覚した場合、教員としての復帰を許してはいけないと思います。いつまた同じ過ちを繰り返すかわかりませんし、被害者側からすれば自分に危害を与えた人が再び教員としてどこかで生活していることは恐怖でしかないと思います。懲戒免職処分という厳重な処罰を科してください。</p>
306	女	30代	<p>女性が結婚やパートナーを伴わない生活をする選択をした場合に一生涯暮らしていけるよう性別における賃金の格差をなくなっていく社会にして欲しいです。地方による格差もできる限り減らしてください。</p> <p>若者が田舎にとどまらず都会に出る理由のうちの一つに賃金格差があると考えます。都心の</p>

		<p>ほうが仕事も職種も幅広く、基本給が高いからです。 住んでいる地域、性別関係なく平等な給与がもらえる社会を望みます。</p> <p>女性政治家、若い世代の議員の意見を取り入れやすい環境を作ってください。 日本は先進国の中でも女性の議員登用率と役職についている女性政治家が極めて低いです。 今全世界に蔓延しているコロナウイルスの対策において優秀な実績をあげているのは女性の首相や官僚がいる国というニュースも見ます。 女性が男性より優れているということを言いたいのではなく、様々な視点で国全体、国民全体の生活を考えることが必要だということをお伝えしたいです。 40代、50代はたまたそれ以上の年齢の男性政治家のみで討論した政治は果たして全ての国民に寄り添っているでしょうか。視野の広い政治を期待しております。</p> <p>性暴力に対する処罰をもっと厳しくしてください。 先日の福岡での女性殺傷事件、この事件はいわゆる「フェミサイド」であると思います。しかしそのほとんどは「フェミサイド」であると断定されないまま処罰を受けていきます。 このような事件を「フェミサイド」であるとメディアや政治を通して発信をしていく必要があると思います。男性が女性に対し無差別に危害を加える事件が本当に多いです。 また、教員による性暴力が発覚した場合、教員としての復帰を許してはいけないと思います。いつまた同じ過ちを繰り返すかわかりませんし、被害者側からすれば自分に危害を与えた人が再び教員としてどこかで生活していることは恐怖でしかないと思います。懲戒免職処分という厳重な処罰を科してください。</p>
307	団体 団体	<p>今回の基本的な考え方は「政府が行うあらゆる取り組みにおいて常にジェンダー平等及びジェンダーの視点の主流化を確保し、施策に反映していく」としている。 また我が国のジェンダー平等の推進が政治分野や経済分野で非常に遅れたものとなっているという現状とその要因に性別役割分担やアンコンシャス・バイアスなどの存在があるという。 ジェンダー主流化や現状についての異論はない。しかしジェンダー不平等や性別役割分担意識や非正規労働に多くの女性が従事している通実の背景には、家制度が社会の根幹のしくみとして存在していることが大きな要因ではないかと考える。 世界でもまれな同姓を強制する婚姻制度により、96%の女性が姓を変更し、男性の戸籍に入る。戸籍筆頭者と世帯主は圧倒的に男性が占める。 そして税制や社会保障は「夫が家族を養い、妻がケア労働を無償で行う」という家族形態をモデルに設計されている。 この男性世帯主モデルこそが、家庭内性別役割分業を固定化し、女性のワークライフバランスを片寄ったものにし、非正規労働に誘導するしくみとなっている。 コロナ禍の特別給付金も世帯主への一律給付であった。DVや虐待被害者だけではなく、ギャンプル依存の世帯主を抱えた家族や多くの女性たちからも「#個人に給付して！」という声があがった。 またテレワークでの家族のケアも女性に重くのしかかった。 憲法24条の「家庭のなかでの本質的平等」や女性の人権が実現していないのは、社会の仕</p>

				<p>組みが世帯主＝戸籍筆頭者に権限を与え、それが家庭内での男女の力関係になっているからではないだろうか。・</p> <p>女性が家族の中で「嫁」としてではなく、男性と平等に尊厳を持って個人として生きることができる社会を望む。そのためには、女性が男性の家に入らなければならない「夫婦同姓の家制度」の強制をやめ、選択的夫婦別姓を実現することが必要である。</p> <p>そして、「男性世帯主モデルという家族形態」ではない女性や男性たちにも公平な税制、社会保障を個人を基本に作り直していくことである。</p>
308	女	70代		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市町村防災会議、都道府県防災会議に「5割の女性委員の配置を義務付ける」など具体的な提示をすること。</li> <li>・ 東日本大震災の復興について、現状を詳細につかみ、あきらかにすること。その現状にもとづいた復興計画を具体的に進めること。</li> <li>・ 防災計画、復興計画を進める際に、憲法 25 条生存権、「健康にして文化的な最低限度の生活を営む権利」を国民に保障し、実現していくこと。国は生存権を保障する義務を負っていることを自覚すること。</li> <li>・ 第 5 次男女共同参画基本計画全体に言えることであるが、憲法にもとづいた国民の権利を実現する姿勢を明確にすること。</li> </ul>
309	女	40代	33	<p>【基本認識】 (P33)</p> <p>○ 地方出身の若い女性が東京で暮らし始めた目的や理由として～。その背景として、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が強く存在しており</p> <p>[意見]</p> <p>「アンコンシャス・バイアス」という用語は「無意識の偏見」と訳されることが多い。「偏見、アンコンシャス・バイアス」はどちらも同じ意味であり、重複は避けるべきである。本文には「4 地域活動における男女共同参画の推進」(P37)に「固定的な性別役割分担意識が根強く残っていることから～」と記述があり、「アンコンシャス・バイアス」という用語は用いていない。基本認識から「アンコンシャス・バイアス」を削除すべき。</p>
310	女	60代	8	<p>SDGs 全体の達成が何より出発点であることを明示してください。</p> <p>→ゴール 5 を含む SDGs 全体の達成に資するために、ジェンダー平等及びジェンダー主流化の視点をあらゆる施策に反映し、政府機関、民間企業、市民社会など、全てのステークホルダーが連携して取組を進めるよう第 5 次計画を定める。そうすることによって国際社会と協調して我が国の責務を果たし国際的な取組の推進に貢献することができる。</p>
311	団体	団体		<p>かつての日本では祖父母と共に暮らし、祖父母と母が家で子どもを育てていたが、現代は核家族化が進み、時代と共に子育てのありかたも変化するべきである。時代を先読みした取り組みを求めます。</p>
312	団体	団体		<p>基本認識において、男女平等参画の視点からの防災・復興の取組が十分に浸透しているとは言いがたい状況である。とあるが、頻発する大規模自然災害が起こる中、女性と男性が受ける影響の違いを考慮し、早急に取組の促進を期待する。</p> <p>特に災害対応にあたる地方公共団体において、意思決定の場に女性委員の参画拡大を要請す</p>

			<p>る。また、新型コロナウイルス感染症対策に係わる各種対策会議等において、女性が抱える社会的不安を防ぐためにも政策決定の場に女性の参画を要請する。</p>
313	男	40代	<p>第5次男女共同参画基本計画策定に当たっての基本的考え方（素案）について、意見を申し述べます。この計画は、第3次、第4次、第5次と人権確立という目的から徐々に後退しているように感じます。性差別解消がなかなか進まない現状に対していかに人権確立を実現するか、という視点で基本的な方針を中心にコメントをいたします。</p> <p>★基本計画の目的は、女性差別を撤廃し人権確立と真の男女平等を目指すものであり、基本法の第1条目的を明記し、それに立脚した内容にすべきである。</p> <p>★日本のジェンダー平等の現状について明示し国際基準である女性差別撤廃条約、北京行動綱領を踏まえた分析、及び検証内容について明らかにすること。ジェンダーギャップ指数（GGI）は153カ国中121位、GGIが初めて発表された2006年は115カ国中80位、2010年104位、ついに144位と下がり続けている現状及び理由について分析が必要。</p> <p>★基本計画を実効性のあるアクション・プランとするために具体的な数値目標やスケジュールを明確に設定し、その達成状況について定期的にフォローアップを行うこと。</p> <p>★「1男女共同参画基本計画の目指すべき社会」の中で、第4次計画の際には優先課題として記載されていた、目指すべき社会の3. に位置づけられている「男性中心型労働慣行の変革」を入れる。</p> <p>★「2社会情勢の現状及び課題」の中で「2020年までに、指導的地位に女性が占める割合が、少なくとも30%程度となるよう期待する」との目標を掲げ取組を進めてきたが、この目標は必ずしも社会全体で十分共有されなかった。」とあるが、なぜ達成できなかったのか。検証が不十分であり政府や自治体より緻密な分析と説明が必要ではないか。</p>
314	男	40代	<p>性別、LGBT、に対して日本国としての意見、賛成、反対など支援方針や立場を明確にして欲しい。</p> <p>それを規模大きく発信し続けて欲しい。</p>
315	女	80代以上	<p>追加として各分野における目標・成果目標を取り入れてほしい。今後5年間の推進状況把握のためにも示してほしい。</p>
316	女	60代	<p>○第4次では極端に使われていませんでしたが、今回は「社会的・歴史的に形成された性差をなくしていく」という意味を正確に伝える「ジェンダー平等」という文言が使われていることを評価します。</p> <p>○第5分野「女性に対するあらゆる暴力の根絶」では、性犯罪・性暴力対策の強化や、セクシュアルハラスメント防止対策の推進等において、具体的な取り組みが計画されていて、大きく前進したと評価します。</p>

317	女	60代	<p>第1次の計画策定時には議論がありました。名称は「男女平等（社会）基本法」にし、多くの差別の実態の中で苦しむ女性が、自らの考えと行動で人生を送れる社会を目指す計画であって欲しいと思います。「男女共同参画」だけでは弱すぎるのではないのでしょうか。</p>
318	女	60代	<p>各自治体に対しての計画の達成に対しての予算面について、どのように推移しているのかわかりません。各自治体に「男女共同参画条例」が策定され、女性センターが建設されたところは様々な取り組みがありました。現状はどうでしょうか？専門の職員配置が無くなったり、発信事業が減ったりしていませんか？ただの貸し館業務になっていないか気になるところです。ぜひ、第5次計画策定と共に、予算面の充実を要請します。</p>
319	団体	団体	<p>ジェンダー平等度が下がり続け、日本は「世界121位」、過去最低のショッキングなランキングです。ジェンダー平等をすすめる、ランキングを上位にあげるには、従来の制度を改め、ジェンダー平等が進んでいる欧州などの施策を学び、取り入れ、法制度の確立をするなど、具体的な施策、しかも、スピードもっての、とりくみが急務であると、考えます。</p> <p>第1部基本方針1には、4つの目標がありますが、④SDGsが、位置づけられたことは、歓迎です。が、第11分野最終章ではなく、①番目に掲げることがを希望します。また、政策編にも冒頭に掲げることがを、要望します。国際的には、特に21世紀になってから、急速にジェンダー平等が進んでいます。国連では2016年～2030年の国際社会の目標であるSDGsが重要課題としています。2019年SDGs達成度は、日本は162か国中15位でしたが、ジェンダー平等、生産消費、気候変動、グローバル・パートナーシップは、17目標のうち、最も低く、警告が発せられています。ジェンダー平等が重要な支柱となっているSDGs目標と実現を、冒頭に掲げてください。</p> <p>ジェンダー平等を貫くのは、「個人の尊厳」、「尊重」です。日本国憲13法条、14条、24条を、素案の中に明記してください。とりわけ、24条は、世界に先駆けて男女平等を24条で実現した、誇りある条文です。第5次男女参画計画基本法の中に明記し、生かしてください。</p>
320	女	20代	<p>ジェンダー平等、というのは、性規範を強化すると思います。</p> <p>女らしさ、男らしさのないジェンダーなど存在しません。</p> <p>性規範の強化は女性に女らしさを、男性に男らしさをより与えるものになり、女性はより抑圧され、男性はホモソーシャルにより深く関わらなければならなくなると思います。</p> <p>国際的にジェンダー平等の空気はありますが、英国では安易な性転換手術によりこどもが苦しんだり、トランスジェンダーの子がいるトイレにいけない女の子が病気になったり、本来守るべき対象のこどもに大きく弊害がでています。</p> <p>もちろん、トイレや温泉でも実被害はでています。</p> <p>身体的女性と身体的男性の平等を実現してください。</p>